

第2次東御市都市計画マスタープラン 東御市立地適正化計画

[資料編3（まちづくりアンケート結果）]

東御市

※本資料は計画策定の過程で行った調査・分析をまとめたものであり、記述内容や表現が
計画本編と異なる場合があります。

《 目 次 》

1 調査の概要.....	1
1-1 調査目的.....	1
1-2 調査概要.....	1
1-3 集計上の留意点.....	2
2 アンケート結果.....	3
2-1 回答者属性【質問1～5】.....	3
(1) 性別【SA】.....	3
(2) 年齢【SA】.....	3
(3) 居住地区【SA】.....	3
(4) 居住年数【SA】.....	4
(5) お住まいの形態【SA】.....	4
2-2 居住地区の住みやすさについて【質問6～7】.....	5
(1) 居住地区の住みやすさに関する満足度・重要度【SA】.....	5
(2) 居住地区での快適な生活において大切だと思うこと.....	9
2-3 日常の主な行き先や移動方法について【質問8】.....	17
2-4 日常生活を支える施設のあり方について【質問9～10】.....	44
(1) 市役所から田中駅周辺における施設のあり方等について.....	44
(2) 居住地区における施設の利用状況と必要性について【SA】.....	49
2-5 安心・安全なまちづくりについて【質問11～12】.....	56
(1) ハザードマップについて【SA】.....	56
(2) 近年、頻発・激甚化する自然災害について.....	58
2-6 東御市における人口の定着の取組みについて【質問13】【MA】.....	64
2-7 今後のまちづくりに関するご意見・ご要望など【問14】.....	67
(1) 東御市全体（意見件数：472人）.....	67
(2) 田中地区（意見件数：138人）.....	68
(3) 滋野地区（意見件数：81人）.....	69
(4) 柵津地区（意見件数：71人）.....	70
(5) 和地区（意見件数：95人）.....	71
(6) 北御牧地区（意見件数：78人）.....	72

3	【参考】第3次東御市総合計画にかかる市民意識調査.....	73
3-1	過年度アンケート調査の再集計について.....	73
3-2	過年度アンケート調査の概要.....	73
3-3	アンケート結果.....	74
	（1）理想の東御市イメージ【SA】.....	74
	定住意向【SA】.....	81
4	資料編.....	82
4-1	アンケート依頼文.....	82
4-2	アンケート調査票.....	84

1 調査の概要

1-1 調査目的

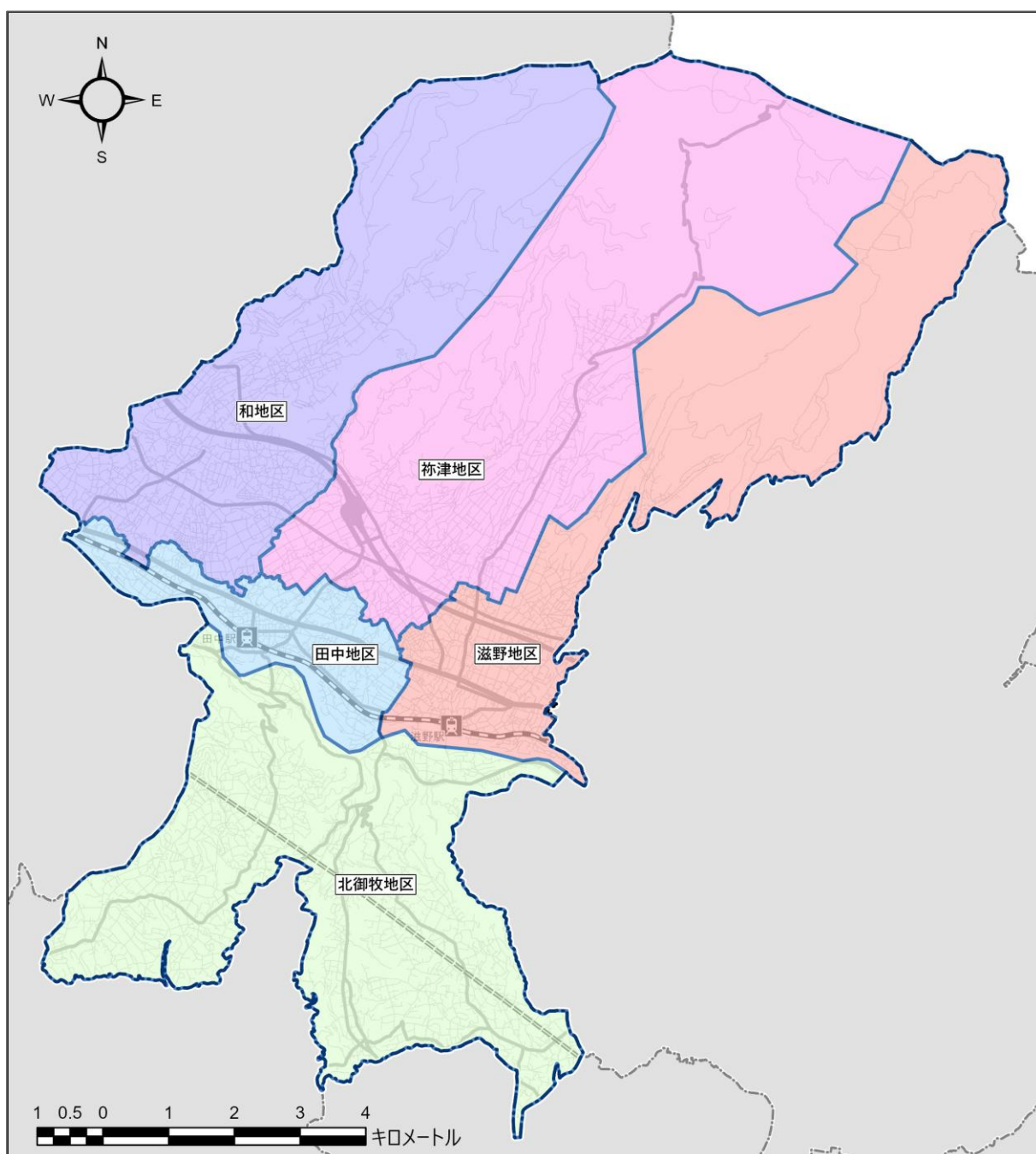
近年、全国的に少子高齢化や人口減少などが進み、社会情勢は大きく変化しつつあります。東御市においてもこのような状況に対応していくため、「東御市都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」の見直しに着手しているところであり、これらの検討にあたり、まちづくりに対するご意見やご要望などを把握し計画に反映するため、アンケート調査を実施しました。

1-2 調査概要

調査名	東御市のまちづくりに関するアンケート調査票
調査対象者	東御市内在住の16歳以上の方 3,500人
対象者の抽出方法	無作為抽出
実施期間	配布：令和6年(2024年)9月13日(金) 回収期限：令和6年(2024年)10月4日(金)
配布・回収方法	配布：郵送による配布 回収：① 郵送による回答(回収) ② インターネット(Web)による回答(回収) ※インターネットによる回答は「Google フォーム」を使用した。
配布・回収数	配布数：3,500票 回収数：1,104票(回収率31.5%) ・郵送回収：840(76.1%) ・Web回答：264(23.9%)

1-3 集計上の留意点

- 回答率（％）は、小数点第二位を四捨五入して小数点第一位までを表示しているため、合計が100%にならない場合があります。
- グラフ中の「n=〇〇」は、有効回答数を示します。
- クロス集計では「無回答」を除外して回答率を算出しているため、単純集計結果の割合と異なる場合があります。
- クロス集計における「居住地域」の単位については、都市計画マスタープランの地域別構想検討にあたっての基礎資料とするため、「5地区（田中地区、滋野地区、祢津地区、和地区、北御牧地区）」で集計を行いました。



居住地域の集計単位：5地区

2 アンケート結果

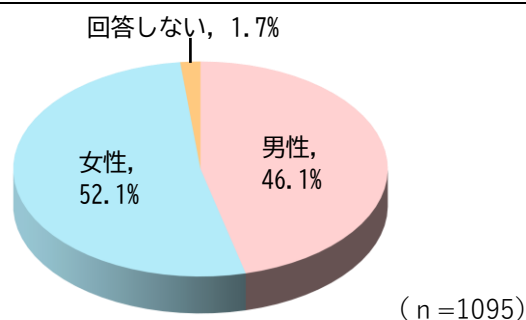
2-1 回答者属性【質問1～5】

本アンケートに回答された方の属性（性別、年齢、居住地区、居住年数、お住まいの形態）は以下のとおりです。回答者属性のうち、「年齢」、「居住地区」については、各設問のクロス集計に使用しています。

(1) 性別【SA】

質問1	性別を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください。)
-----	----------------------------------

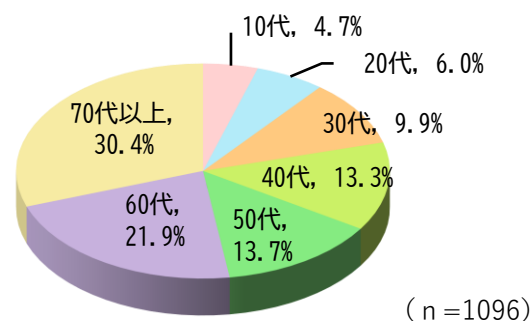
回答者の性別の構成は、「女性」(52.1%)の割合が最も高く、次いで「男性」(46.1%)の順となっています。



【質問1】単純集計結果

質問2	年齢を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください。)
-----	----------------------------------

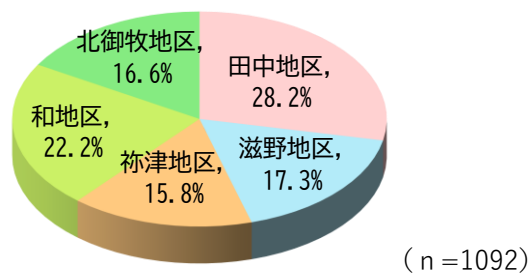
回答者の年齢構成は、「70代以上」(30.4%)の割合が最も高く、次いで「60代」(21.9%)、「50代」(13.7%)の順となっています。



【質問2】単純集計結果

質問3	居住地区を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください。)
-----	------------------------------------

回答者の居住地区は、「田中地区」(28.2%)の割合が最も高く、次いで「和地区」(22.2%)、「滋野地区」(17.3%)の順となっています。

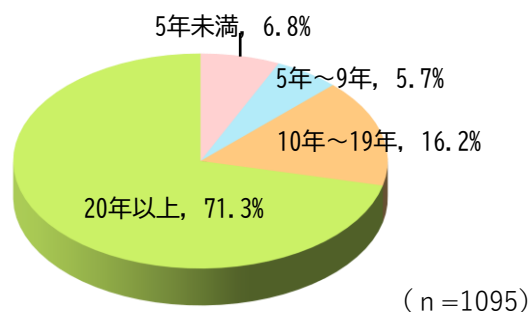


【質問3】単純集計結果

(4) 居住年数【SA】

質問4	東御市に何年くらいお住まいですか。 (該当する番号1つに○を付けてください。)
-----	--

回答者の居住年数は、「20年以上」(71.3%)の割合が最も高く、次いで「10～19年」(16.2%)、「5年未満」(6.8%)の順となっており、居住年数10年以上が約9割を占めています。

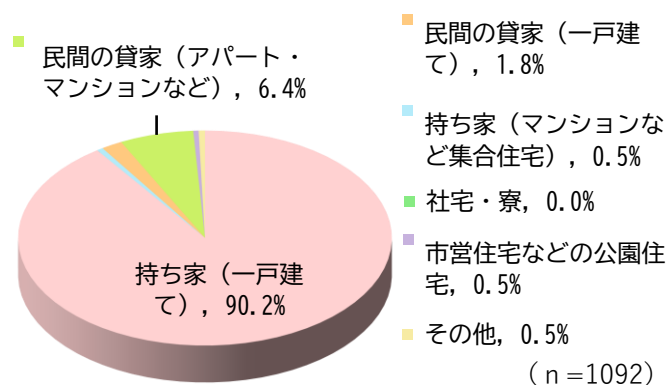


【質問4】単純集計結果

(5) お住まいの形態【SA】

質問5	現在のお住まいについて教えてください。 (該当する番号1つに○を付けてください。)
-----	--

回答者のお住まいの形態は、「持ち家[一戸建て]」(90.2%)の割合が最も高く、次いで「民間の貸家[アパート・マンションなど]」(6.4%)の順となっており、持ち家が9割を占めています。



【質問5】単純集計結果

【質問5】「その他」回答一覧

その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 実家 ● 姉の持ち家 ● 親戚からの借家 ● 間借り
-----	---

2-2 居住地区の住みやすさについて【質問6~7】

(1) 居住地区の住みやすさに関する満足度・重要度【SA】

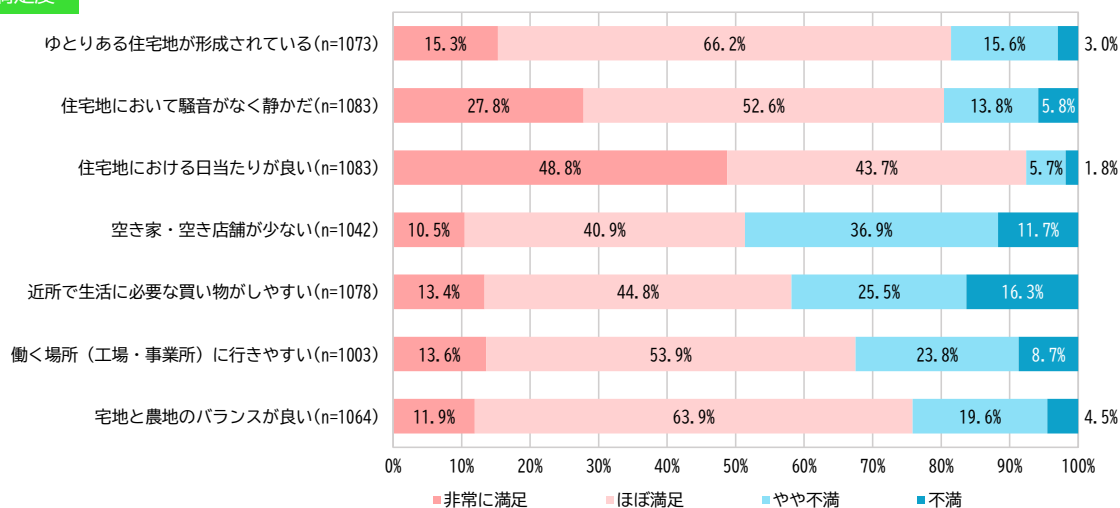
質問6	「あなたの居住地区」における「住みやすさ」について、どの程度満足しているか（満足度）、どの程度大切と考えているか（重要度）を教えてください。 （○を満足度・重要度に1つずつ付けてください。）
-----	--

① 単純集計

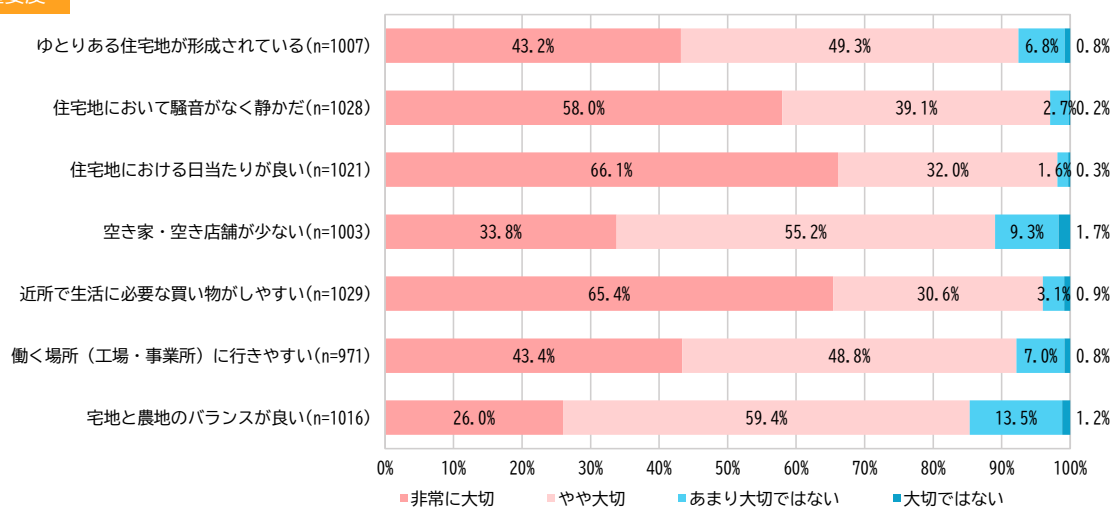
各分野（土地利用・居住環境、道路・交通、公園・緑地、景観、安全・安心、市民参画等）の満足度・重要度の結果は以下のとおりです。

土地利用・居住環境

満足度

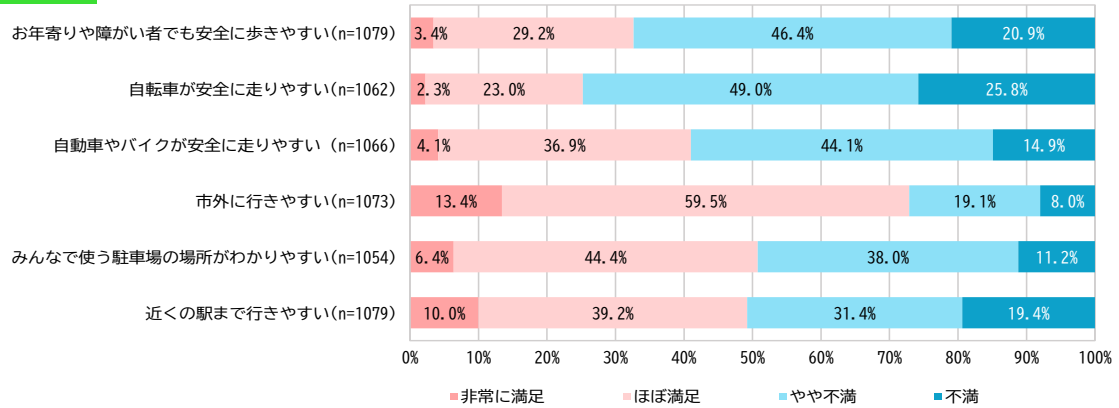


重要度

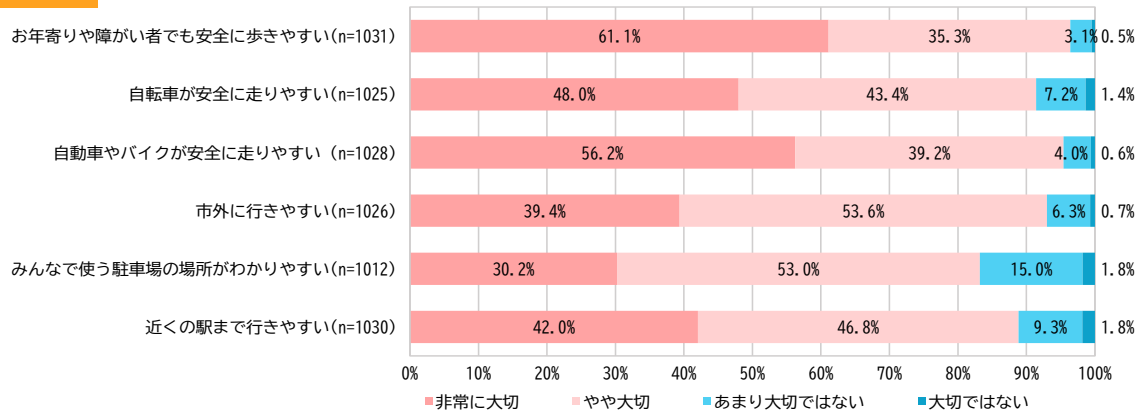


道路・交通

満足度

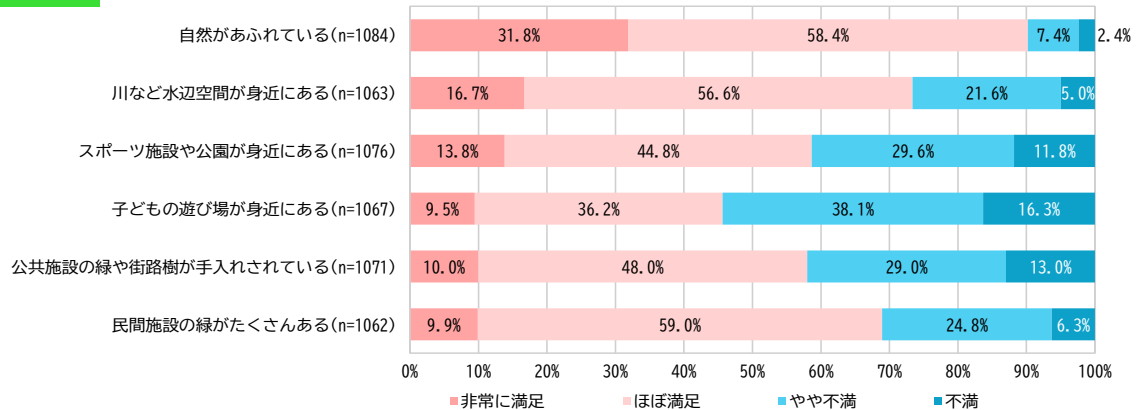


重要度

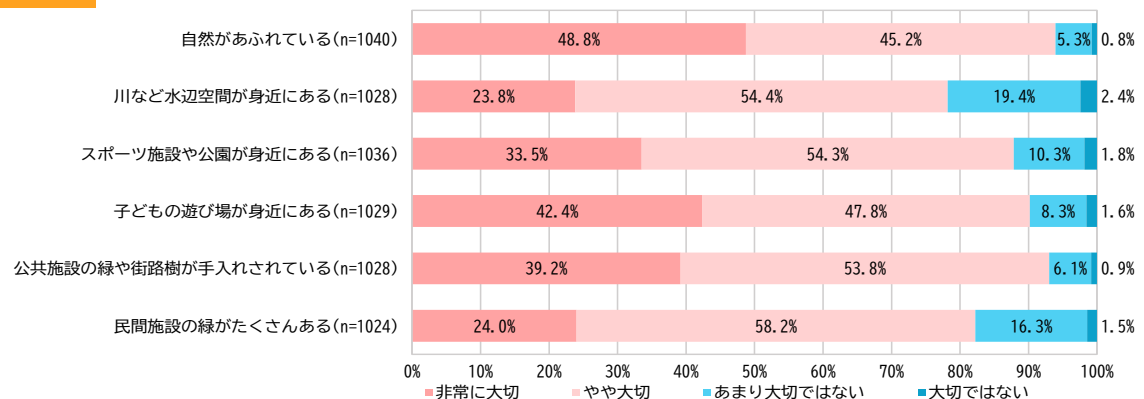


公園・緑地

満足度

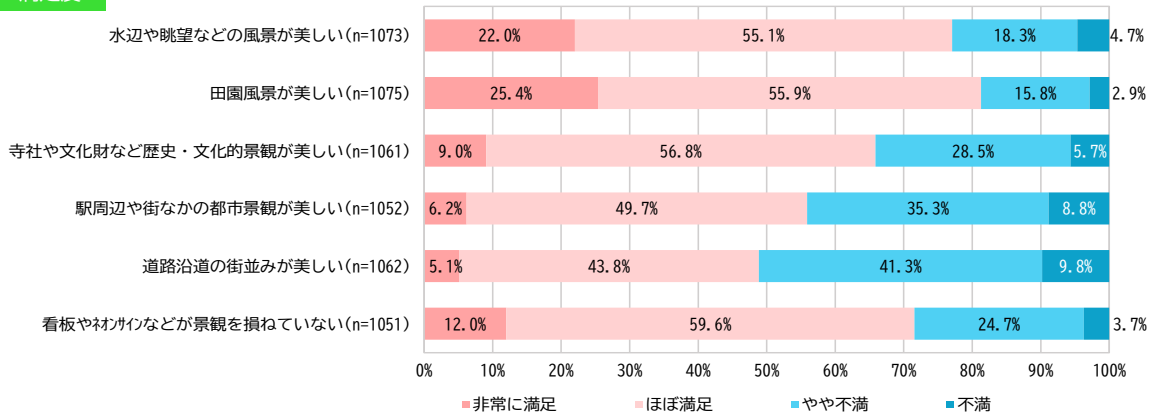


重要度

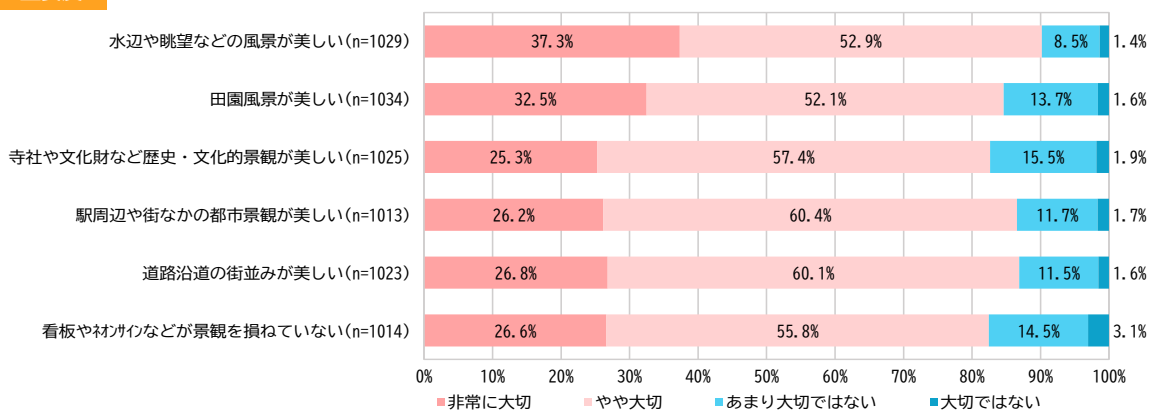


景観

満足度

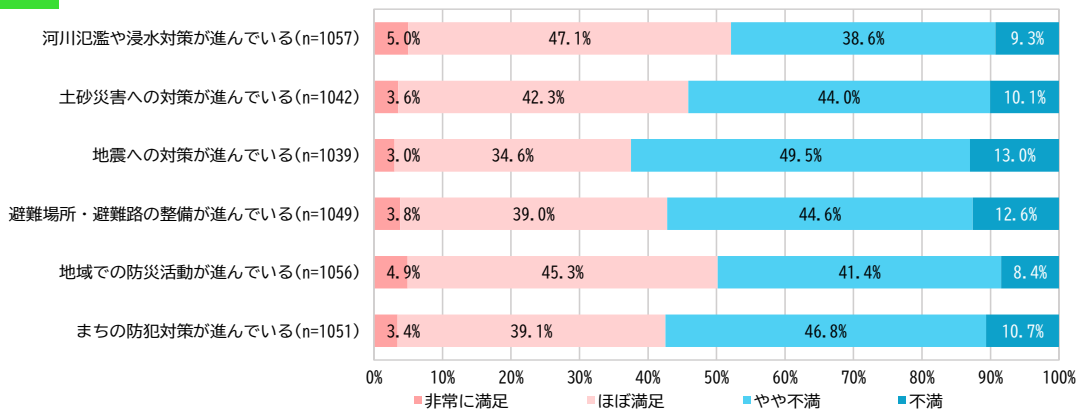


重要度



安全・安心

満足度

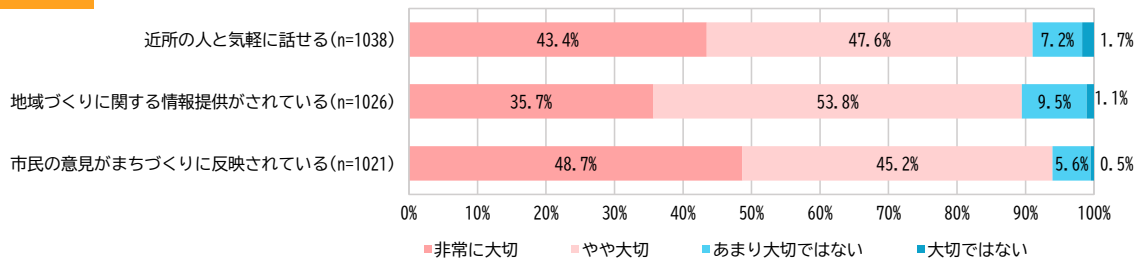


重要度

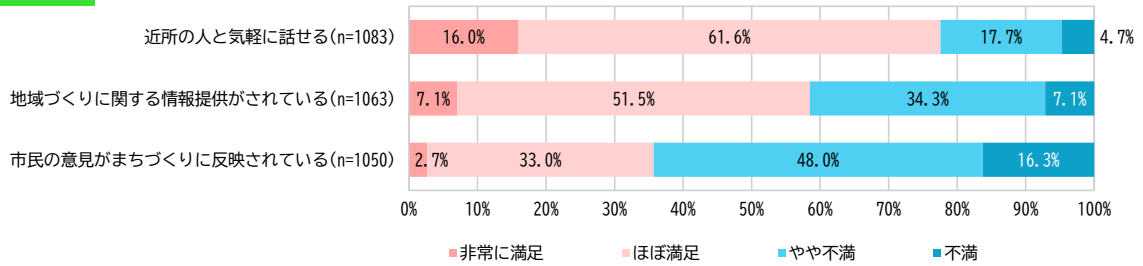


市民参画等

重要度



満足度

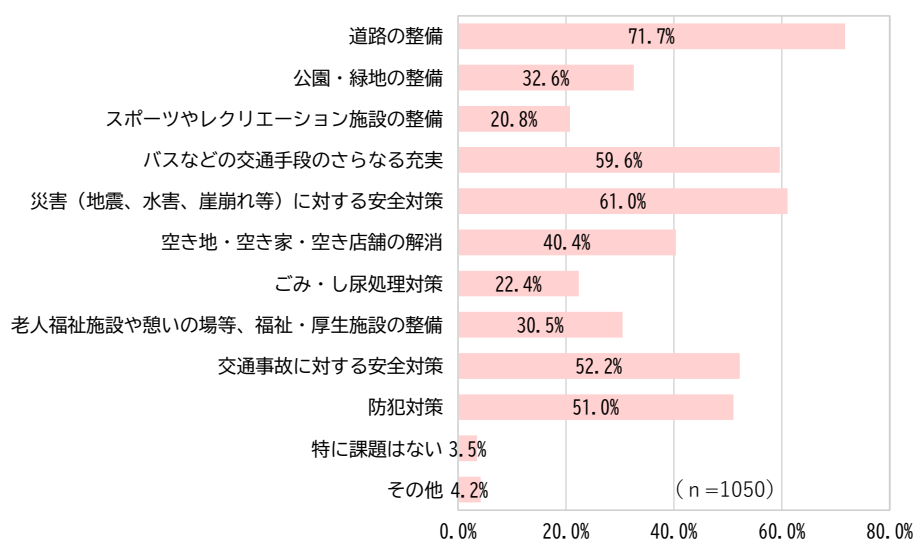


(2) 居住地区での快適な生活において大切だと思うこと

質問7	「あなたの居住地区」において、快適な生活をするうえで、大切だと思うことを教えてください。(該当する番号を5つ選んで○を付けてください。)【MA】
-----	--

① 単純集計

「道路の整備」(71.7%)の割合が最も高く、次いで「災害(地震、水害、崖崩れ等)に対する安全対策」(61.0%)、「バスなどの交通手段のさらなる充実」(59.6%)の順となっています。



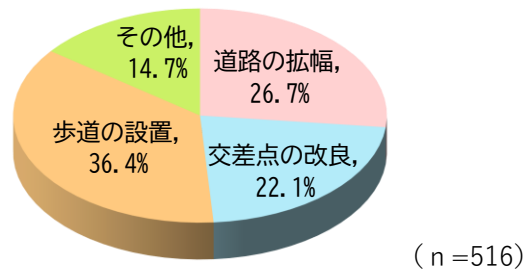
【質問7】単純集計結果

【質問7】「その他」回答一覧

道路環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路拡幅と歩行者通路の配慮 ● 道路の適切な修繕(白線、路面凹凸など) ● 救急車が通れる幅員の確保 ● 樹木の適正管理 ● 農地と住宅地の整然とした区画分。住宅街の中での十分な緑地確保。 ● 良い景観の維持、変な看板やのぼりの撤去、電線地中化
地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 独居老人対策、地域のコミュニケーション対策(ソフト施策) ● 地区住民による河川清掃、道普請、公園の草刈りの廃止
空き地・空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 荒農地の解消 ● 空き家、空き地の管理
子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> ● こどもの安全な遊び場
インフラ整備 交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市ガス整備が遅れている ● 水道管の劣化 ● 移動スーパーの誘致、デマンド交通が欲しい ● レッツ号が東御市だけでなく他町村まで行ってほしい
買い物環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業地の充実。スーパー、ホームセンター、本屋等 ● 飲食店が少なすぎる。
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミ収集場所が遠い ● ゴミの分別が細分化すぎる
医療環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療の充実 ● 救急対応ができる病院
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化した公共物の整備 ● 箱物に頼らない、人を大切にする事 ● 騒音対策 ● 寒い時期や悪天候時でも子供、大人、老人が過ごせる施設

質問7	(『9. 交通事故に対する安全対策』を選択された方への質問) 具体的な対策についても、該当する番号1つに○を付けてください。【SA】
-----	---

「歩道の設置」(36.4%)の割合が最も高く、次いで「道路の拡幅」(26.7%)の順となっています。



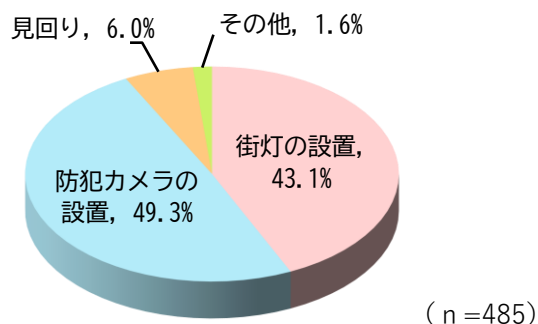
【質問7】単純集計結果：具体的な交通安全対策

【質問7】具体的な交通安全対策「その他」回答一覧

道路や設備の改良	<ul style="list-style-type: none"> ● カーブミラーの設置、改良、点検など (14件) ● 街灯の設置など (3件) ● 横断歩道の設置 (3件) ● 信号機の設置など (3件) ● 歩道の整備 ● 歩道橋 ● 待避先の整備 [狭い道路に於いて]
交通規制 取り締まり	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールゾーン等の設置 ● 速度を抑制する仕組みづくり
道路メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的な草刈りなど (8件) ● 木の伐採など (2件) ● 道路の修復
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の免許返上 ● 冬の除雪対応

質問7	(『10. 防犯対策』を選択された方への質問) 具体的な対策についても、該当する番号1つに○を付けてください。【SA】
-----	--

「防犯カメラの設置」(49.3%)の割合が最も高く、次いで「街灯の設置」(43.1%)の順となっています。



【質問7】単純集計結果：具体的な防犯対策

【質問7】具体的な防犯対策「その他」回答一覧

街灯設置など	<ul style="list-style-type: none"> ● 滋野駅近辺の外灯が少く暗い ● 街頭の灯りが切れていて道が暗い ● 街が暗い
不法投棄対策など	<ul style="list-style-type: none"> ● 不法投棄 ● 除草ができておらずゴミのポイ捨てが目立つ ● 時々ゴミの不法投棄があり家の庭にもあり困っている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 路地裏のような場所が「通学路」になっており心配 ● 地域住民の数を増やし、各住民が声掛けをし合うことで連帯感と防犯に繋がることを周知する ● 治安の良い環境（安き巢に入られた事があるので） ● 空き家や空き店舗が無いのか、他の家との距離は適切か、家の裏が山や林などでは無いのか

② クロス集計：居住地区

田中地区

【居住地区での快適な生活において大切だと思うこと】

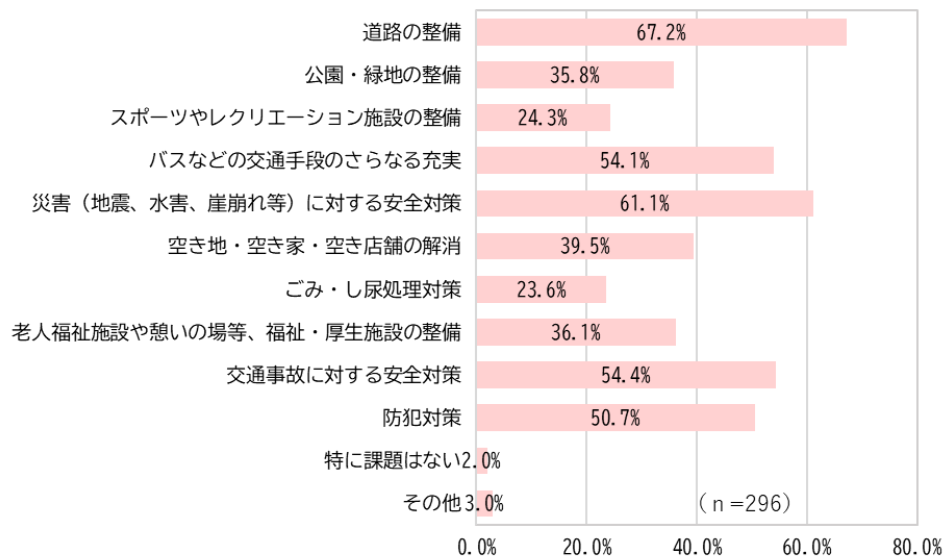
「道路の整備」(67.2%)の割合が最も高く、次いで「災害(地震、水害、崖崩れ等)に対する安全対策」(61.1%)の順となっています。

【具体的な交通安全対策】

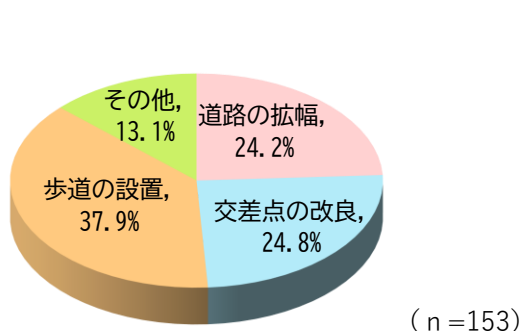
「歩道の設置」(37.9%)の割合が最も高く、次いで「交差点の改良」(24.8%)の順となっています。

【具体的な防犯対策】

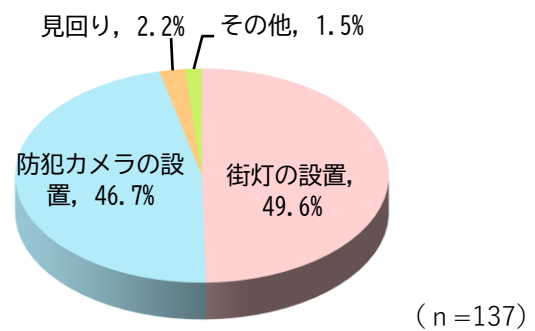
「街灯の設置」(49.6%)の割合が最も高く、次いで「防犯カメラの設置」(46.7%)の順となっています。



【質問7】クロス集計結果：居住地区（田中地区）



【質問7】具体的な交通安全対策
居住地区（田中地区）



【質問7】具体的な防犯対策
居住地区（田中地区）

滋野地区

【居住地区での快適な生活において大切だと思うこと】

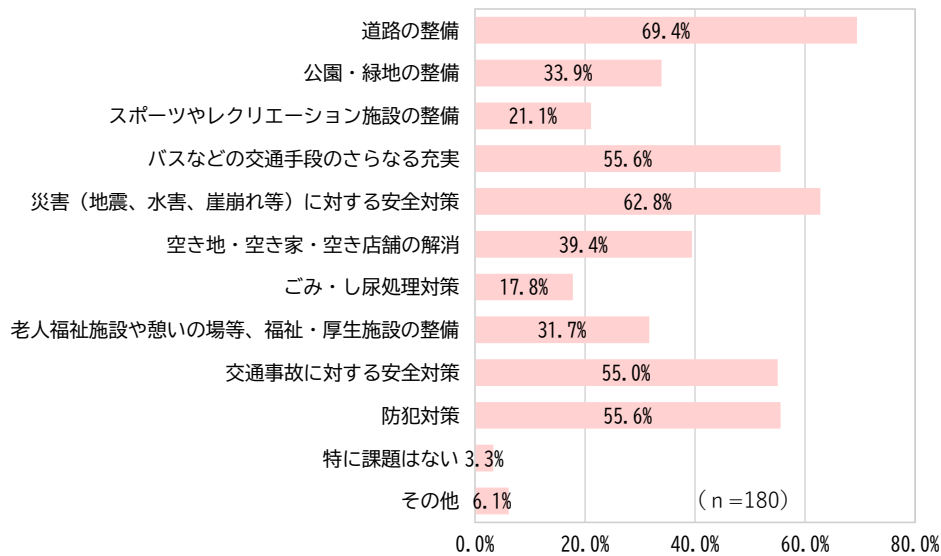
「道路の整備」(69.4%)の割合が最も高く、次いで「災害(地震、水害、崖崩れ等)に対する安全対策」(62.8%)の順となっています。

【具体的な交通安全対策】

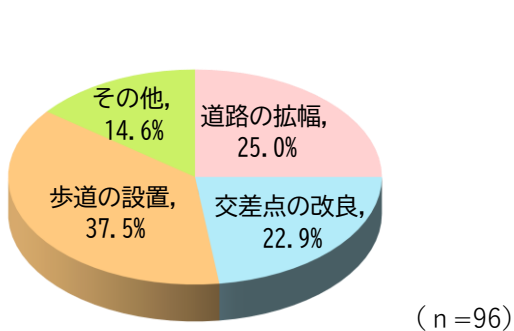
「歩道の設置」(37.5%)の割合が最も高く、次いで「道路の拡幅」(25.0%)の順となっています。

【具体的な防犯対策】

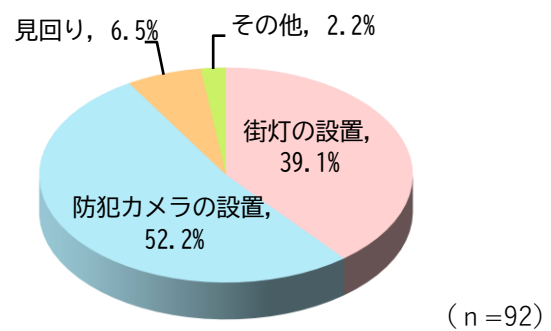
「防犯カメラの設置」(52.2%)の割合が最も高く、次いで「街灯の設置」(39.1%)の順となっています。



【質問7】クロス集計結果：居住地区（滋野地区）



【質問7】具体的な交通安全対策
居住地区（滋野地区）



【質問7】具体的な防犯対策
居住地区（滋野地区）

柘津地区

【居住地区での快適な生活において大切だと思うこと】

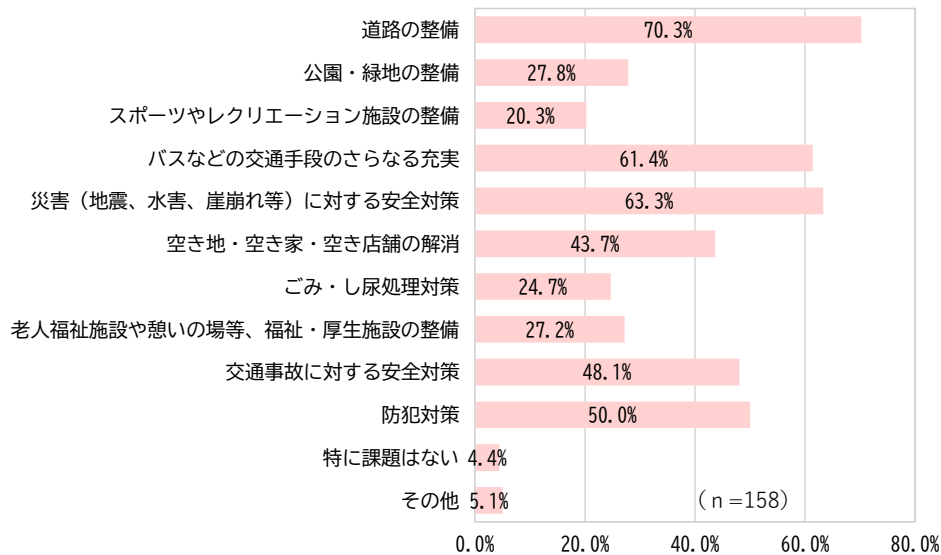
「道路の整備」(70.3%)の割合が最も高く、次いで「災害(地震、水害、崖崩れ等)に対する安全対策」(63.3%)、「バスなどの交通手段のさらなる充実」(61.4%)の順となっています。

【具体的な交通安全対策】

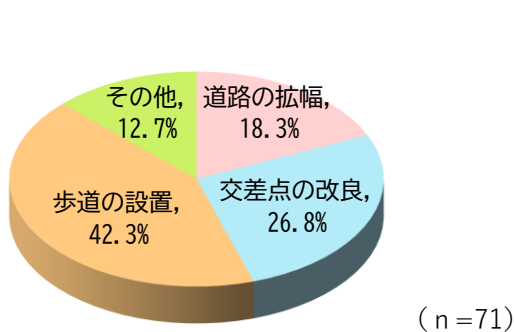
「歩道の設置」(42.3%)の割合が最も高く、次いで「交差点の改良」(26.8%)の順となっています。

【具体的な防犯対策】

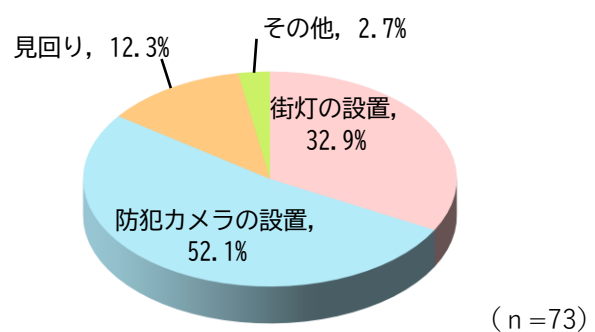
「防犯カメラの設置」(52.1%)の割合が最も高く、次いで「街灯の設置」(32.9%)の順となっています。



【質問7】クロス集計結果：居住地区（柘津地区）



【質問7】具体的な交通安全対策
居住地区（柘津地区）



【質問7】具体的な防犯対策
居住地区（柘津地区）

和地区

【居住地区での快適な生活において大切だと思うこと】

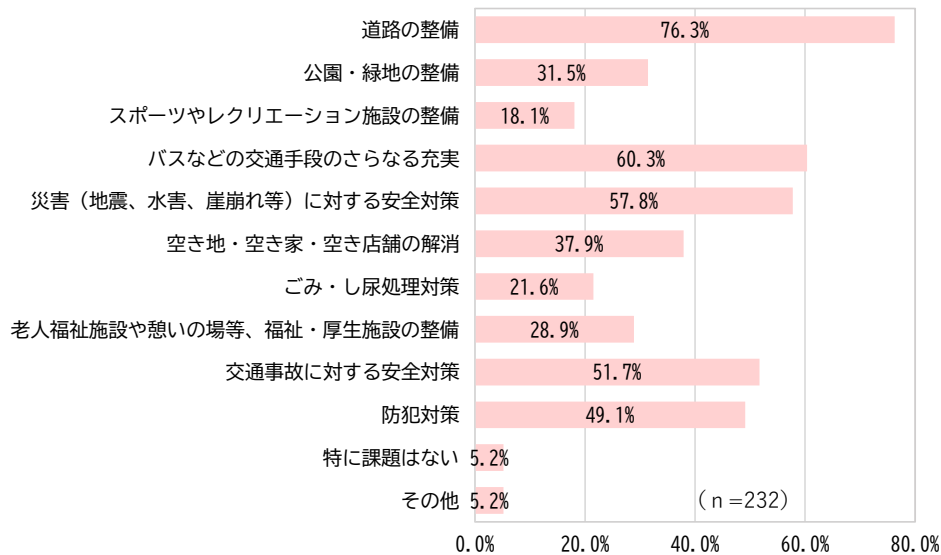
「道路の整備」(76.3%)の割合が最も高く、次いで「バスなどの交通手段のさらなる充実」(60.3%)、「災害(地震、水害、崖崩れ等)に対する安全対策」(57.8%)の順となっています。

【具体的な交通安全対策】

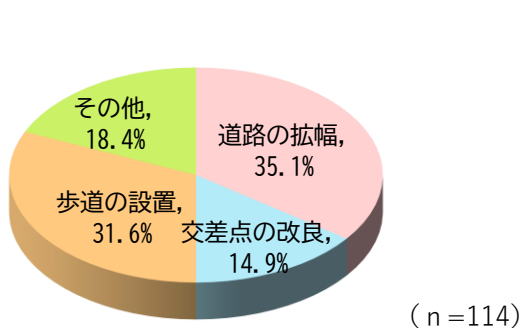
「道路の拡幅」(35.1%)の割合が最も高く、次いで「歩道の設置」(31.6%)の順となっています。

【具体的な防犯対策】

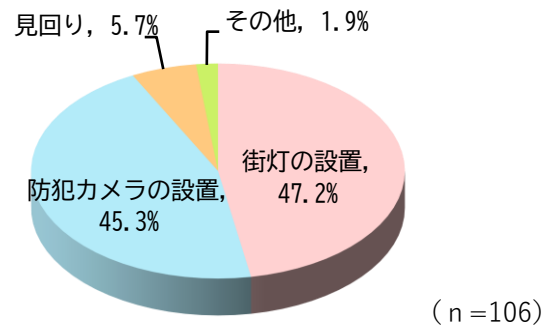
「街灯の設置」(47.2%)の割合が最も高く、次いで「防犯カメラの設置」(45.3%)の順となっています。



【質問7】クロス集計結果：居住地区（和地区）



【質問7】具体的な交通安全対策
居住地区（和地区）



【質問7】具体的な防犯対策
居住地区（和地区）

北御牧地区

【居住地区での快適な生活において大切だと思うこと】

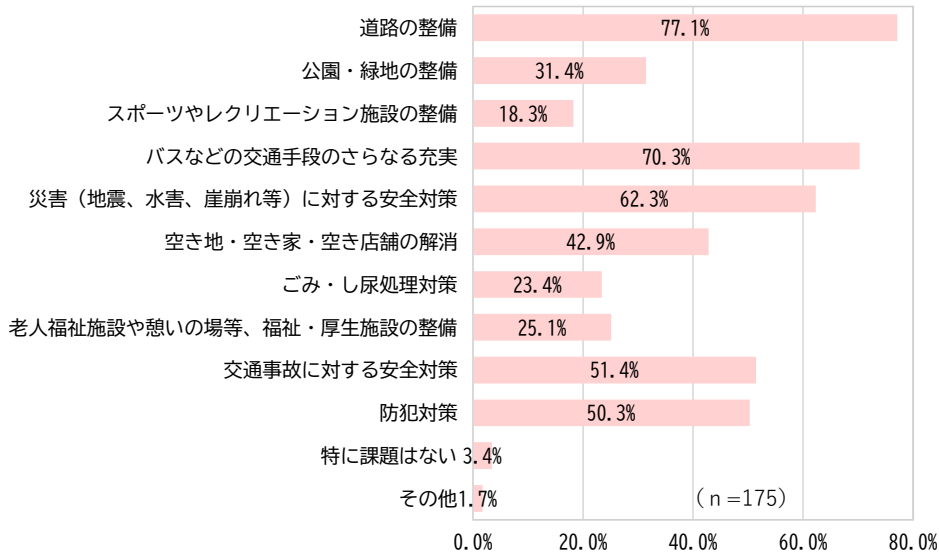
「道路の整備」(77.1%)の割合が最も高く、次いで「バスなどの交通手段のさらなる充実」(70.3%)、「災害(地震、水害、崖崩れ等)に対する安全対策」(62.3%)の順となっています。

【具体的な交通安全対策】

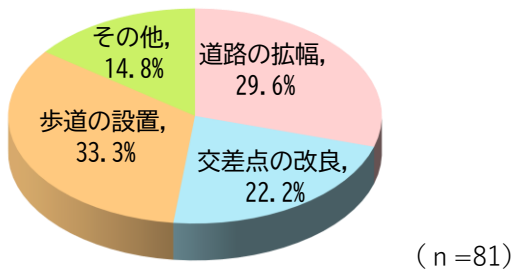
「歩道の設置」(33.3%)の割合が最も高く、次いで「道路の拡幅」(29.6%)の順となっています。

【具体的な防犯対策】

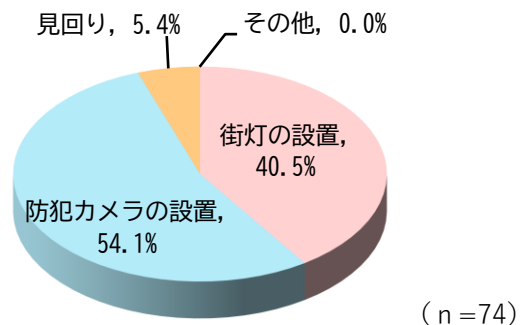
「防犯カメラの設置」(54.1%)の割合が最も高く、次いで「街灯の設置」(40.5%)の順となっています。



【質問7】クロス集計結果：居住地区（北御牧地区）



【質問7】具体的な交通安全対策
居住地区（北御牧地区）



【質問7】具体的な防犯対策
居住地区（北御牧地区）

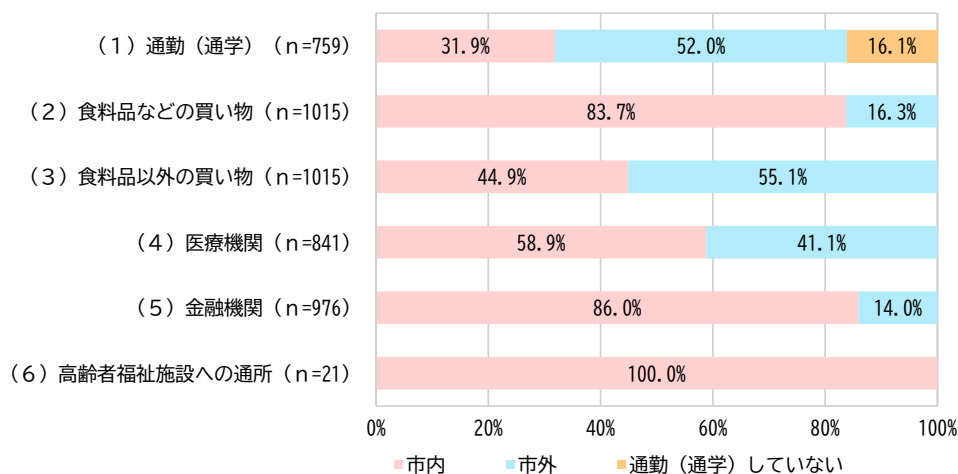
2-3 日常の主な行き先や移動方法について【質問8】

質問8	以下の(1)～(6)について、主な行き先や移動方法を教えてください。【SA】 (1) 通勤(通学) (2) 食料品など日常の買い物(スーパーマーケットなど) (3) 食料品以外の買い物(ホームセンター、衣料品、家電など) (4) 医療機関への通院 (5) 金融機関※の利用(入金・出金・振込) ※銀行、郵便局、農協などの窓口機能を有する金融機関 (6) 高齢者福祉施設(デイサービスなど)への通所
	① 行き先はどこですか？(1つに○、()に記入)【SA】 ② 主な移動方法は何ですか？(1つに○)【SA】 ③ 頻度はどのくらいですか？(1つに○)【SA】 ④ そこに滞在している時間帯は何時頃ですか？(該当する番号全てに○)【MA】

① 単純集計

目的別の主な行き先をみると、「食料品などの買い物(83.7%)」や「金融機関(86.0%)」、「医療機関(58.9%)」では市内が主な行き先となっています。

一方、「通勤(通学)(52.0%)」や「食料品以外の買い物(55.1%)」では市外が主な行き先となっています。



【質問8-①】単純集計結果

通勤（通学）の勤務地（通学地）を見ると、市内では田中地区、滋野地区、祢津地区がおもな目的地となっています。

市外では、隣接する上田市、小諸市、佐久市などが多くなっています。

【質問8-①】単純集計結果：具体的な行き先（通勤・通学）

		田中地区	滋野地区	祢津地区	和地区	北御牧地区	市全体
市 内	回答者数	45	34	27	33	20	159
	田中地区	23	11	11	7	7	59
	滋野地区	6	7	2	5	1	21
	祢津地区	4	10	7	7	2	30
	和地区	3	3	6	10	1	23
	北御牧地区	8	2	1	4	7	22
	地区不明	1	1	0	0	2	4
	合計	45	34	27	33	20	159
市 外	回答者数	104	51	41	82	50	328
	上田市	64	24	17	48	25	178
	小諸市	15	12	5	15	5	52
	佐久市	13	6	3	9	9	40
	長野市	4	3	7	6	2	22
	軽井沢町	3	1	2	2	0	8
	立科町	1	0	0	0	4	5
	御代田町	0	2	1	1	0	4
	坂城町	0	1	2	1	0	4
	青木村	0	0	2	0	1	3
	松本市	1	0	2	0	0	3
	千曲市	2	0	0	0	0	2
	長和町	0	0	0	1	0	1
	その他県外	1	2	0	1	4	8
	合計	104	51	41	84	50	330

食料品などの主な買い物先は、田中地区では「ツルヤかのう店」、「ベイシア東御店」、「やおふく東御店」など、滋野地区では「ツルヤかのう店」、「ベイシア東御店」、祢津地区では「ベイシア東御店」、和地区では「ツルヤかのう店」、北御牧では「デリシア東御店」となっています。

【質問8-①】単純集計結果：具体的な行き先（食料品などの買い物）

		田中地区	滋野地区	祢津地区	和地区	北御牧地区	市全体
市内	回答者数	211	130	116	184	63	704
	ツルヤかのう店	106	46	59	150	20	381
	ベイシア東御店	66	49	80	53	24	272
	やおふく東御店	63	14	10	54	10	151
	デリシア東御店	51	17	9	7	31	115
	ナナーズ東御店	10	65	10	4	7	96
	安楽屋 別府総本店	3	7	6	1	2	19
	ウエルシア東御田中店	2	1	1	5	2	11
	コメリパワー東部店	2	2	2	4	0	10
	アメリカンドラッグ東御常田店	3	0	0	0	1	4
	フレッシュふじや	2	0	0	0	0	2
	信州うえだファーム 東御営業所	0	1	0	1	0	2
	その他	11	7	7	12	4	41
合計	319	209	184	291	101	1104	
市外	回答者数	25	22	12	11	68	138
	ツルヤ立科店	0	0	0	0	12	12
	ツルヤ小諸店	2	4	0	0	3	9
	アリオ上田	5	0	0	1	0	6
	ツルヤ丸子店	1	1	0	0	3	5
	イオンスタイル上田	2	0	0	0	1	3
	イオンモール佐久平	0	0	0	0	2	2
	ザ・ビッグ上田中央店	1	0	0	1	0	2
	デリシア丸子店	0	0	0	0	2	2
	西友望月店	0	0	0	0	2	2
	ツルヤ	12	12	6	2	27	59
	イオン	4	2	0	0	3	9
	西友	0	1	2	2	4	9
その他	7	5	4	7	16	39	
合計	34	25	12	13	75	159	

食料品以外の買い物先は、「コメリパワー東部店」、「ファッションセンターしまむら東部店」などが各地区で主な買い物先となっています。

市外では、「アリオ上田」、「カインズ」、「イオン」等がありました。

【質問8-①】単純集計結果：具体的な行き先（食料品以外の買い物）

		田中地区	滋野地区	祢津地区	和地区	北御牧地区	市全体
市内	回答者数	107	56	66	97	38	364
	コメリパワー東部店	87	40	59	85	31	302
	ファッションセンターしまむら東部店	18	9	6	14	6	53
	ベシシア東御店	4	2	4	3	1	14
	農家の店 大地 東部店	1	1	0	3	3	8
	アメリカンドラッグ東御常田店	4	0	0	2	0	6
	マツモトキヨシしげの店	0	2	1	1	2	6
	ツルヤかろう店	1	1	0	2	1	5
	ウエルシア東御かろう店	0	0	0	3	0	3
	J A信州うえだグリーンファーム東部	0	0	1	1	0	2
	デリシア東御店	1	1	0	0	0	2
	やおふく東御店	1	1	0	0	0	2
	ウエルシア東御田中店	1	0	0	0	0	1
	ウエルシア	2	0	0	5	1	8
	J A	0	1	1	1	0	3
	その他	16	15	10	16	7	64
合計	136	73	82	136	52	479	
市外	回答者数	125	88	54	90	89	446
	アリオ上田	35	15	11	28	11	100
	カインズ小諸店	8	6	2	2	4	22
	イオンスタイル上田	8	1	1	5	4	19
	イオンモール佐久平	1	3	0	2	4	10
	カインズ佐久平店	2	2	1	0	1	6
	コメリハード&グリーン立科店	0	0	0	0	5	5
	カインズ上田店	1	0	1	1	0	3
	カインズ	43	52	20	25	27	167
	イオン	36	14	17	21	16	104
	ヤマダデンキ	12	7	5	7	5	36
	ユニクロ	13	6	5	5	4	33
	ケーズデンキ	13	3	1	4	5	26
	コメリ	3	2	2	1	11	19
	カワチ薬品	4	4	3	1	4	16
	その他	25	11	7	30	23	96
合計	204	126	76	132	124	662	

医療機関の行き先は、「東御市民病院」が各地区で主な行き先となっています。
北御牧地区では、「みまき温泉診療所」も多くなっています。
市外の医療機関では、上田市や小諸市内の診療所等があります。

【質問8-①】単純集計結果：具体的な行き先（医療機関）

		田中地区	滋野地区	祢津地区	和地区	北御牧地区	市全体
市内	回答者数	115	54	62	81	69	381
	東御市民病院	54	27	33	43	27	184
	酒井医院	13	6	4	6	3	32
	みまき温泉診療所	1	3	1	1	25	31
	ささき医院	11	3	0	10	4	28
	せき内科クリニック	10	1	2	14	1	28
	ほしやま内科	9	2	7	4	5	27
	春原整形外科クリニック	5	4	3	5	1	18
	小林歯科医院	6	0	5	3	2	16
	荻原眼科医院	5	3	1	1	3	13
	長谷川耳鼻咽喉科医院	6	0	1	1	2	10
	東御記念セントラルクリニック	5	2	1	1	1	10
	祢津診療所	4	1	3	0	0	8
	その他	8	8	9	8	13	46
	合計	137	60	70	97	87	451
市外	回答者数	67	50	44	58	43	262
	浅間南麓こもろ医療センター	4	7	5	3	3	22
	丸子中央病院	8	2	7	2	1	20
	信州上田医療センター	8	0	2	3	2	15
	はらだ内科クリニック	3	1	4	6	0	14
	佐久医療センター	4	5	1	1	3	14
	佐久総合病院	4	2	0	2	3	11
	小諸医療センター	2	5	1	1	2	11
	上田市（その他）	21	12	19	26	11	89
	佐久市（その他）	10	3	3	5	9	30
	小諸市（その他）	5	12	7	1	8	33
	その他	6	5	2	10	6	29
	合計	75	54	51	60	48	288

金融機関の行き先は、「八十二銀行田中支店」「J Aバンク」「郵便局」となっています。
 その他、店舗やコンビニATMなどの利用もあります。

【質問8-①】単純集計結果：具体的な行き先（金融機関）

	田中地区	滋野地区	祢津地区	和地区	北御牧地区	市全体
回答者数	185	117	102	143	102	649
八十二銀行田中支店	146	75	59	88	55	423
上田信用金庫とうみ支店	17	7	3	6	5	38
J A信州うえだ東御支所	5	1	2	5	1	14
東御郵便局	6	2	1	1	4	14
J A佐久浅間北御支所	0	0	0	0	6	6
和郵便局	0	0	0	4	0	4
北御牧郵便局	0	0	0	0	3	3
滋野郵便局	1	1	0	0	0	2
J A信州うえだ祢津店	0	0	1	1	0	2
J A信州うえだ滋野店	0	1	0	0	0	1
J Aバンク（その他）	32	27	37	46	30	172
郵便局（その他）	30	17	9	27	19	102
コンビニATM	9	6	6	5	2	28
その他	8	9	5	11	11	44
合計	254	146	123	194	136	853
回答者数	27	12	14	30	25	108
三井住友銀行上田支店	5	1	2	1	0	9
八十二銀行小諸支店	0	1	0	2	0	3
長野県労働金庫丸子支店	0	0	0	2	0	2
八十二銀行神科支店	0	0	0	2	0	2
J A信州うえだ長瀬店	0	0	0	0	1	1
丸子郵便局	1	0	0	0	0	1
小諸新町郵便局	0	0	0	0	1	1
小諸郵便局	0	0	1	0	0	1
上田信用金庫川西支店	0	0	1	0	0	1
上田信用金庫大屋支店	1	0	0	0	0	1
長野県信用組合上田支店	0	0	0	0	1	1
長野県信用組合神科支店	0	0	0	1	0	1
八十二銀行上田市役所出張所	1	0	0	0	0	1
八十二銀行塩田店	0	1	0	0	0	1
八十二銀行花園出張所	0	0	0	1	0	1
八十二銀行花岡支店	0	0	0	0	1	1
八十二銀行岩村田支店	1	0	0	0	0	1
八十二銀行上田支店	1	0	0	0	0	1
八十二銀行上田東支店	1	0	0	0	0	1
八十二銀行（その他）	9	2	5	9	8	33
郵便局（その他）	1	1	1	1	4	8
上田信用金庫（その他）	2	0	0	5	0	7
J Aバンク（その他）	2	0	1	0	2	5
コンビニATM	0	1	1	0	3	5
長野県労働金庫（その他）	0	0	0	5	0	5
長野県信用組合（その他）	2	0	0	0	1	3
長野銀行	0	2	0	0	0	2
上田市（その他）	2	1	2	1	2	8
小諸市（その他）	0	2	0	0	0	2
その他	0	1	1	3	5	10
合計	29	13	15	33	29	119

高齢者福祉施設の通所先では、それぞれ居住地に近い施設を利用しています。

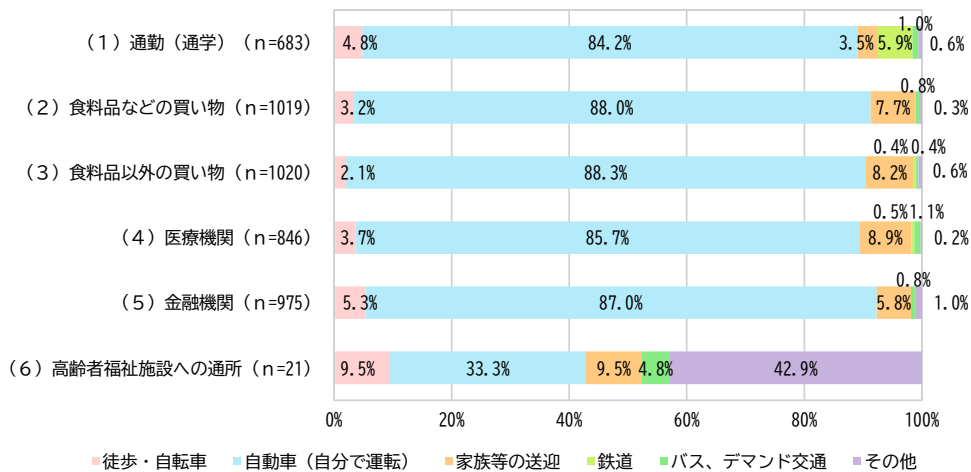
【質問8-①】単純集計結果：具体的な行き先（高齢者福祉施設）

		田中地区	滋野地区	祢津地区	和地区	北御牧地区	市全体
市内	回答者数	2	1	1	2	4	10
	ケアポートみまき	0	0	0	0	2	2
	こころ	0	0	0	1	0	1
	ちいさがたの家	0	0	0	0	1	1
	トレセン	0	0	0	0	1	1
	ハーモニック東部	0	0	0	1	0	1
	フォーレスト	0	0	1	0	0	1
	田中（くらかけ）	1	0	0	0	0	1
	祢津診療所	1	0	0	0	0	1
	病院	0	1	0	0	0	1
	合計	2	1	1	2	4	10

目的別の移動手段をみると、「自動車（自分で運転）」が各目的で最も多くなっています。次いで「家族等の送迎」となっています。

通勤（通学）では「鉄道（5.9%）」、「バス、デマンド交通（1.0%）」となっており、他の目的と比べるとやや公共交通の利用が多くみられます。

また、高齢者福祉施設への通所では、「施設の送迎」が主な移動手段となっています。

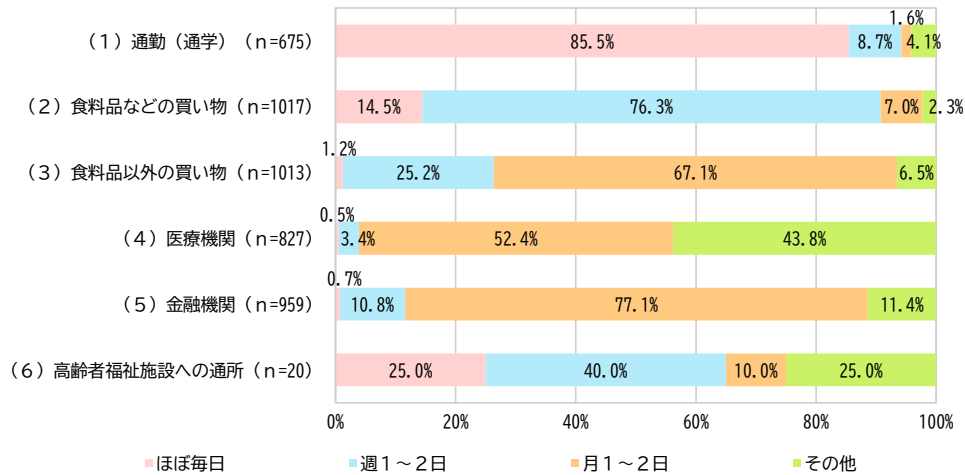


【質問8-②】単純集計結果

【質問8-②】「その他」回答一覧

(1) 通勤（通学）	● 送迎
(2) 食料品などの買い物	● バイク
(3) 食料品以外の買い物	● バイク
(4) 医療機関	● バイク
(5) 金融機関	● バイク ● インターネット
(6) 高齢者福祉施設への通所	● 送迎

目的別の外出頻度をみると、通勤（通学）は「ほぼ毎日（85.5%）」、食料品などの買い物は「週1～2（76.3%）」、高齢者福祉施設への通所は「週1～2（40.0%）」となっています。一方、食料品以外の買い物、医療機関、金融機関はそれぞれ「月1～2日」程度の頻度となっています。



【質問8-③】単純集計結果

【質問8-③】「その他」回答一覧

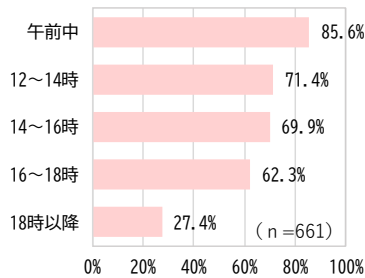
(1) 通勤（通学）	<ul style="list-style-type: none"> ● 週3日
(2) 食料品などの買い物	<ul style="list-style-type: none"> ● 週4日 ● たまに
(3) 食料品以外の買い物	<ul style="list-style-type: none"> ● 二週間に1度 ● 年に2～3回 ● 年に3～4回 ● 年に4～5回 ● その都度
(4) 医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ● 罹患時 ● 2ヶ月に1回 ● 3ヶ月に1回 ● 半年に1回 ● 年1～2回 ● 年2～3回 ● 年3～4回
(5) 金融機関	<ul style="list-style-type: none"> ● 2～3ヶ月に1回 ● 3～4ヶ月に1回 ● 3ヶ月に1回 ● 年に1回 ● 年に5、6回 ● 必要な時
(6) 高齢者福祉施設への通所	—

目的別の滞在時間をみると、通勤（通学）は「午前中（85.6%）」で最も多いほか、「12～14時（71.4%）」、「14～16時（69.9%）」、「16～18時（62.3%）」で滞在時間が最も多くなっています。

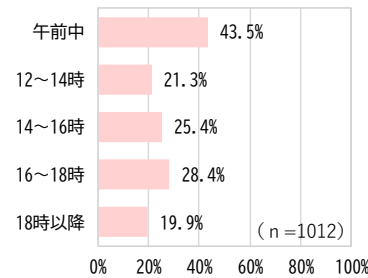
食料品などの買い物では、「午前中（43.5%）」がやや多いほか、「16～18時（28.4%）」「14～16時（25.4%）」など時間帯が広く分散しています。

一方、医療機関は「午前中（76.4%）」、金融機関は「午前中（57.4%）」でそれぞれ午前中に集中しています。

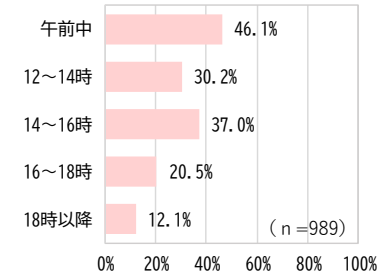
(1) 通勤（通学）



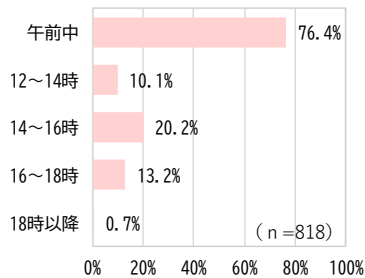
(2) 食料品などの買い物



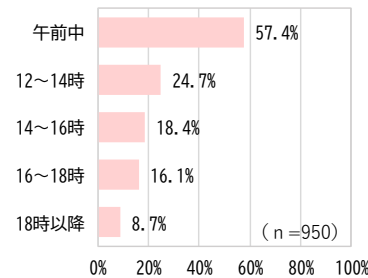
(3) 食料品以外の買い物



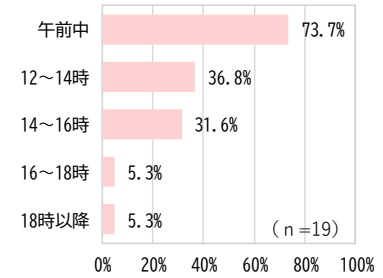
(4) 医療機関



(5) 金融機関



(6) 高齢者福祉施設への通所



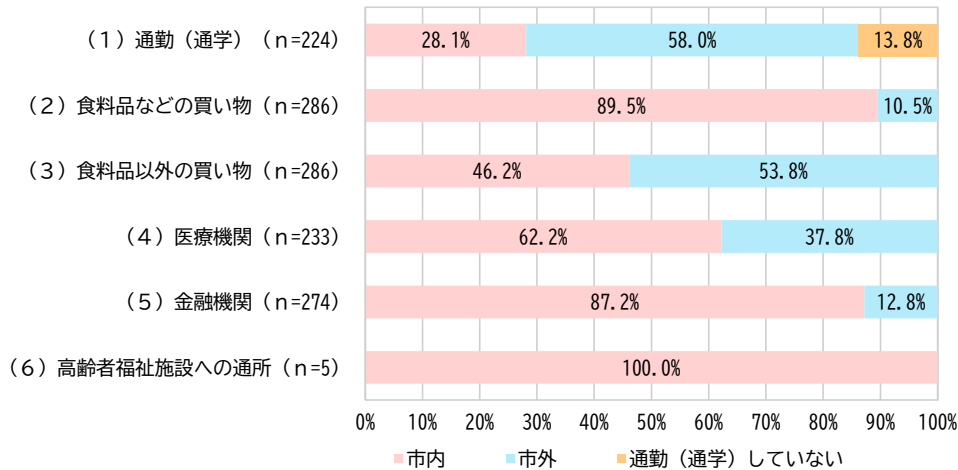
【質問8-④】単純集計結果

② クロス集計：居住地区

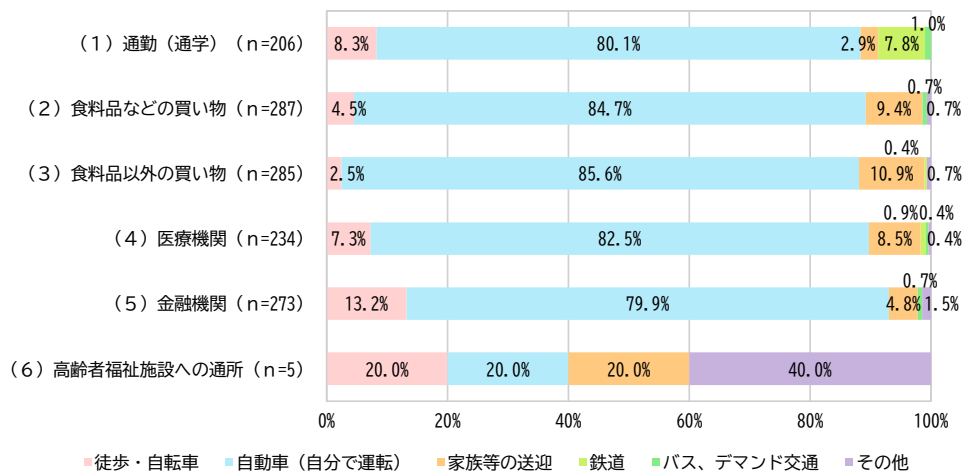
田中地区

高齢者福祉施設への通所、食料品などの買物、金融機関、医療機関は主に市内の施設を中心に利用、一方、通勤（通学）、食料品以外の買物は市外が主な行き先となっています。

外出時の移動手段は、自動車（自分で運転）や家族等の送迎が多く、公共交通の利用は通勤（通学）、買い物、医療機関などで少数の利用となっています。



【質問8-①】クロス集計結果：居住地区（田中地区）

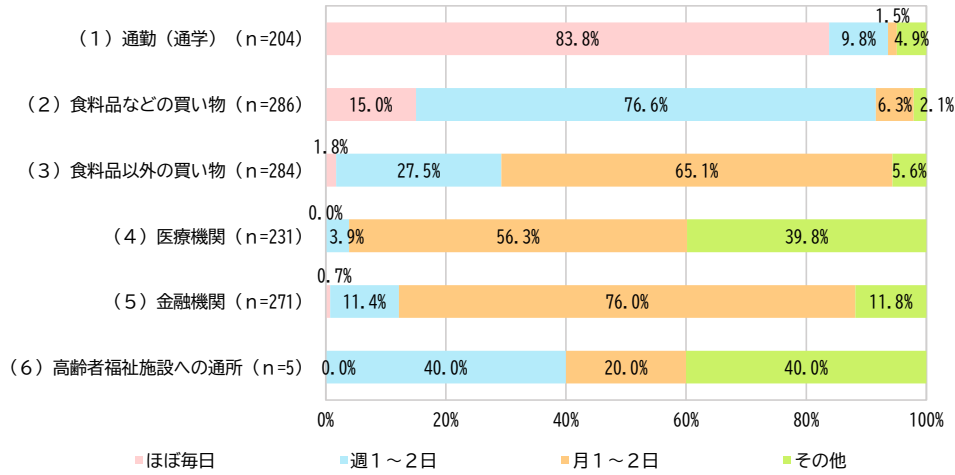


【質問8-②】クロス集計結果：居住地区（田中地区）

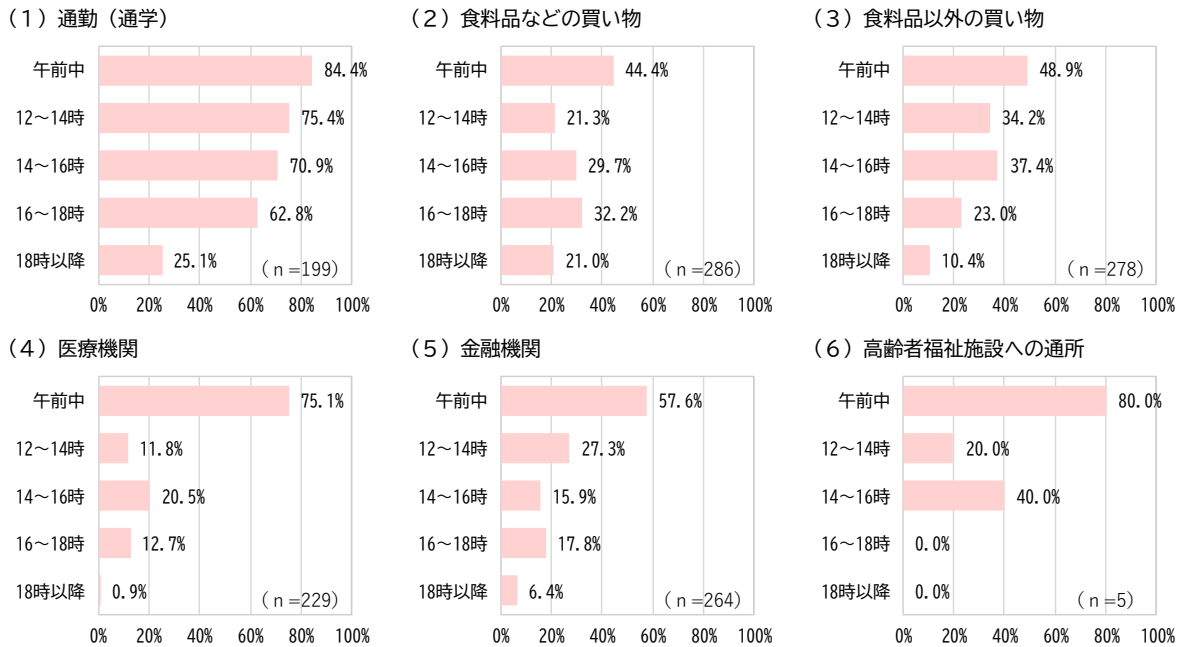
外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」、食料品などの買い物、高齢者福祉施設への通所は週1～2日が主な頻度で、その他の目的では「月1～2日」程度となっています。

滞在時間では、食料品などの買い物は午前中、16～18時が多く、食料品以外の買い物は午前中から16時にかけてに分布しています。

医療機関や金融機関は午前中に集中しています。



【質問8-③】クロス集計結果：居住地区（田中地区）



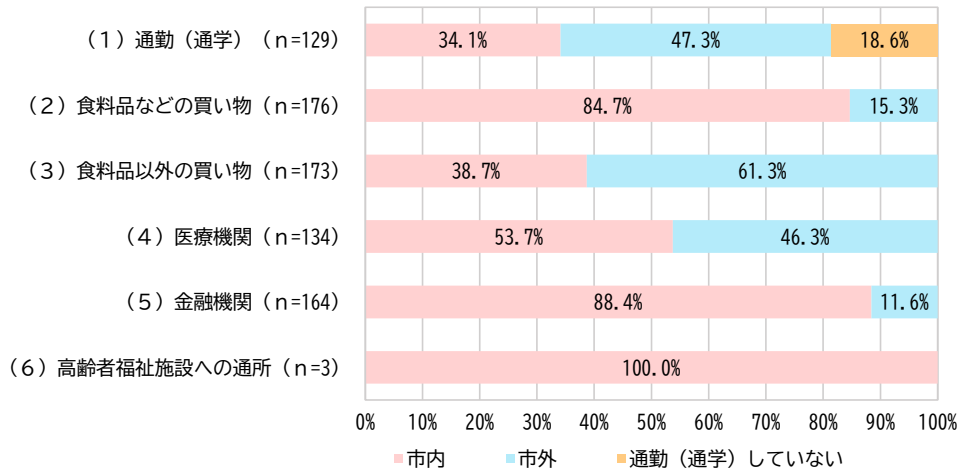
【質問8-④】クロス集計結果：居住地区（田中地区）

滋野地区

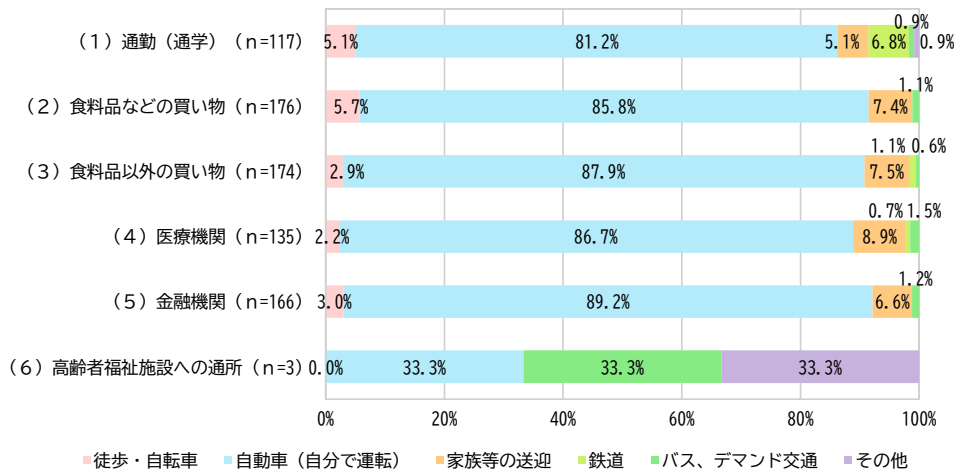
高齢者福祉施設への通所、食料品などの買物、金融機関は市内の施設を中心に利用、一方、通勤（通学）、食料品以外の買物は市外が主な行き先となっています。

医療機関は市内がやや多いですが、市外と概ね半数程度となっています。

外出時の移動手段は、自動車（自分で運転）や家族等の送迎が多く、公共交通の利用はそれぞれの目的で見られますが少数の利用となっています。



【質問8-①】クロス集計結果：居住地区（滋野地区）

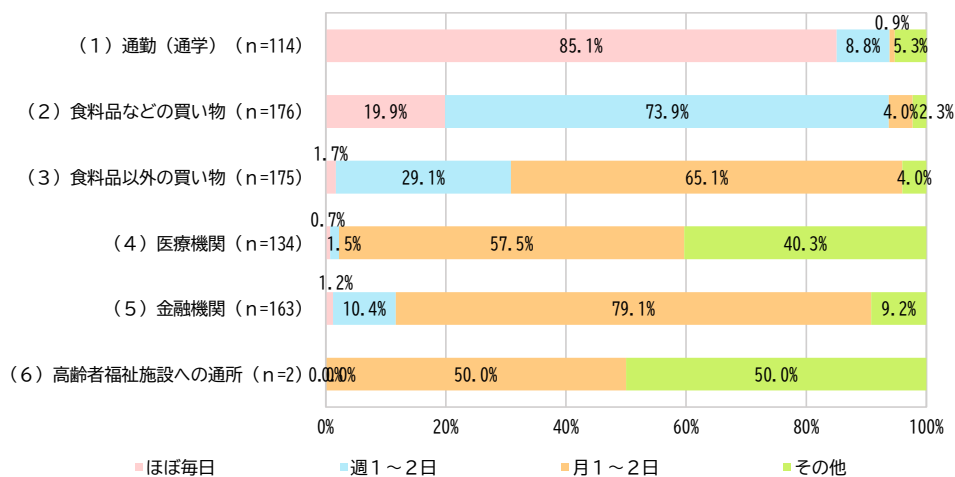


【質問8-②】クロス集計結果：居住地区（滋野地区）

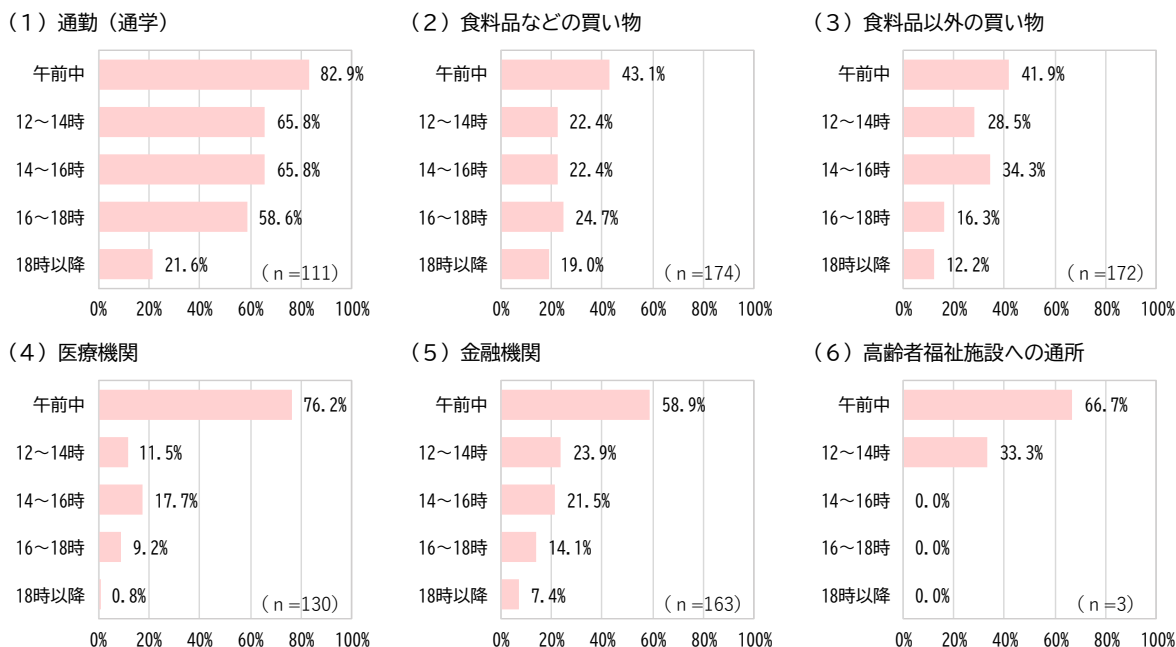
外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」、食料品などの買い物、高齢者福祉施設への通所は週1～2日が主な頻度で、その他の目的では「月1～2日」程度となっています。

医療機関は「月1～2日」や年に数回程や罹患時など頻度は比較的長いです。

滞在時間では、食料品などの買い物は午前中が多く、食料品以外の買い物は午前中及び午後となっています。また、医療機関は午前中に集中しています。



【質問8-③】クロス集計結果：居住地区（滋野地区）



【質問8-④】クロス集計結果：居住地区（滋野地区）

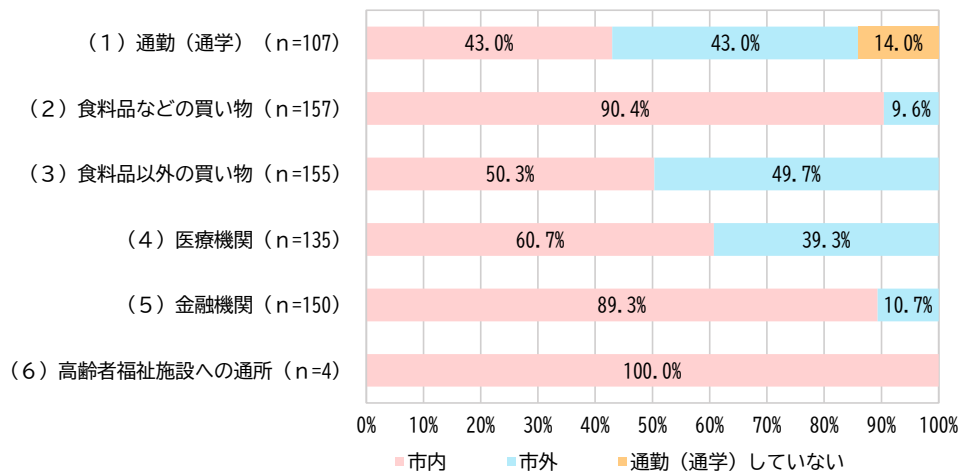
柘津地区

高齢者福祉施設への通所、食料品などの買物、金融機関は市内の施設を中心に利用しています。

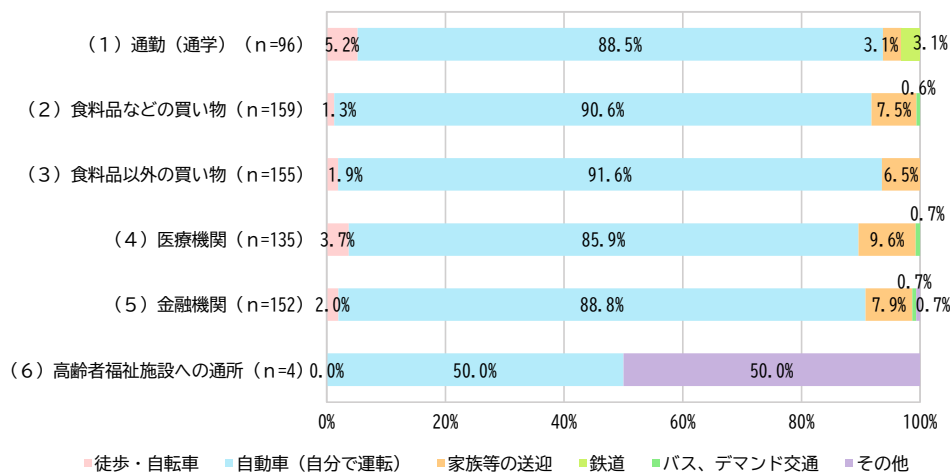
一方、通勤（通学）、食品以外の買物、医療機関は市内の施設と市外の施設それぞれ、半数程度となっています。

外出時の移動手段は、自動車（自分で運転）や家族等の送迎が主な手段となっています。

また、通勤（通学）をみると、他の地区と比較して鉄道やバスなど公共交通の利用が少ない傾向です。

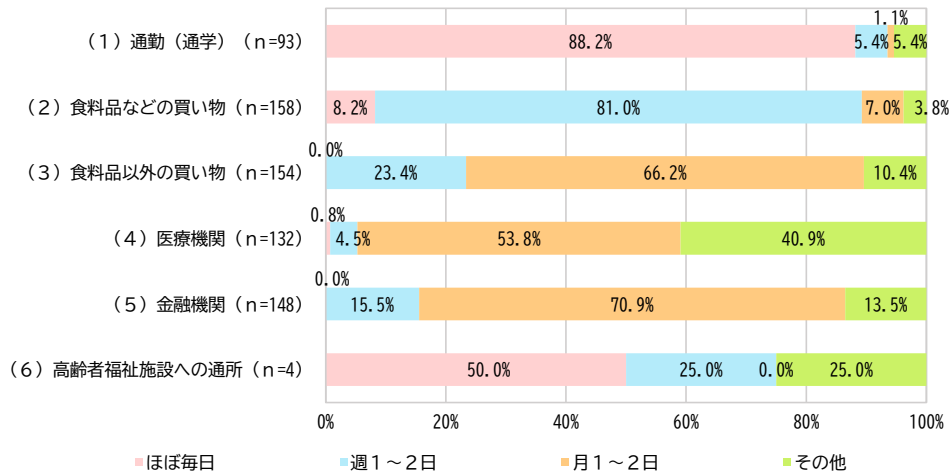


【質問8-①】クロス集計結果：居住地区（柘津地区）

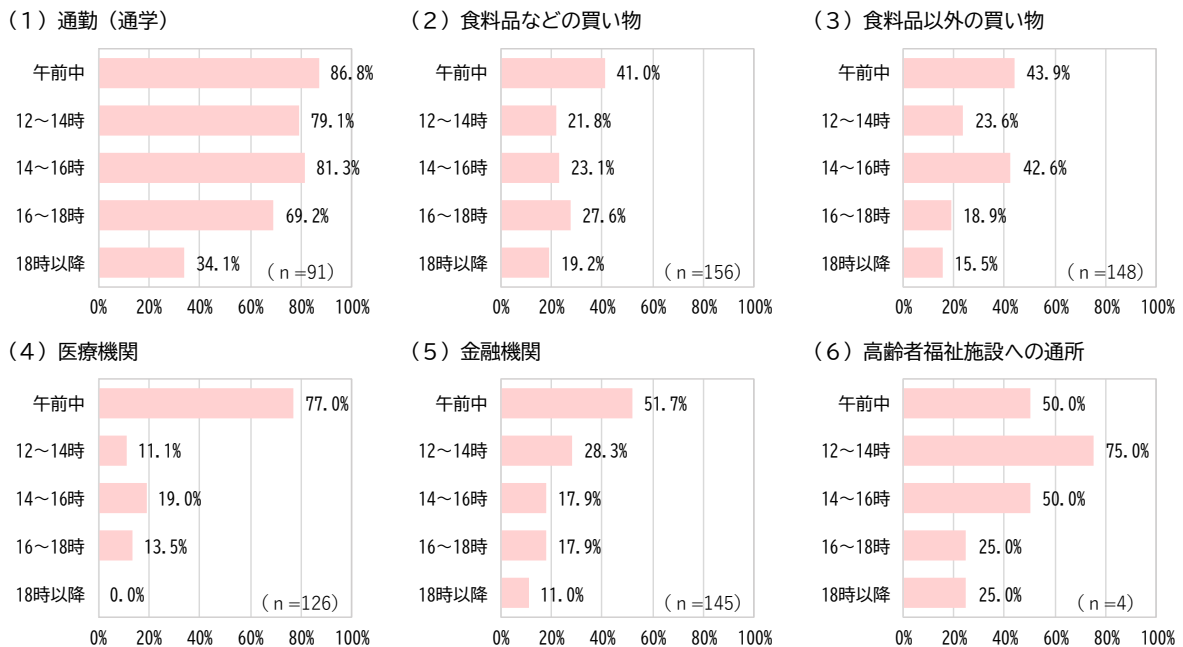


【質問8-②】クロス集計結果：居住地区（柘津地区）

外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」、食料品などの買い物は「週1～2日」で、食料品以外の買い物、金融機関は「月1～2日」程度となっています。医療機関は「月1～2日」や年に数回程や罹患時など頻度は比較的長いです。滞在時間では、食料品などの買い物では午前中が最も多く、次いで16～18時となっています。医療機関や金融機関は午前中が多くなっています。



【質問8-③】クロス集計結果：居住地区（祢津地区）



【質問8-④】クロス集計結果：居住地区（祢津地区）

和地区

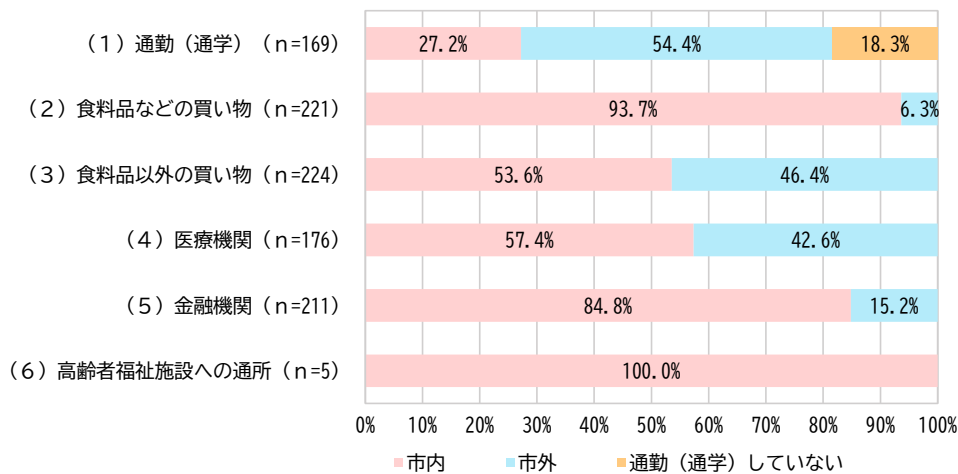
高齢者福祉施設への通所、食料品などの買物、金融機関は市内の施設を中心に利用しています。一方、通勤（通学）は市外が多くなっています。

また、食料品以外の買物、医療機関は市内の施設と市外の施設それぞれに利用がみられます。

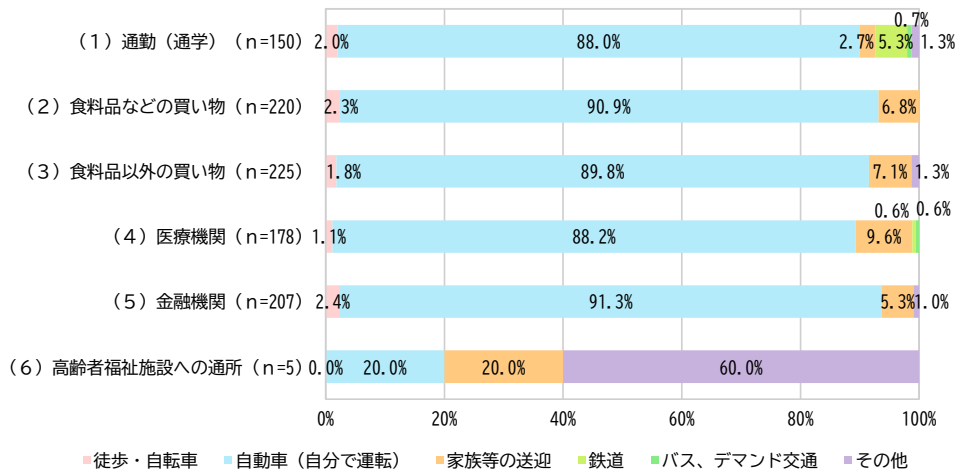
外出時の移動手段は、自動車（自分で運転）や家族等の送迎が主な手段となっています。

また、高齢者福祉施設への通所は、施設の送迎や家族の送迎が主な手段となっています。

公共交通は、通勤（通学）や医療機関で利用がみられますが、買い物等では利用がみられません。



【質問8-①】クロス集計結果：居住地区（和地区）



【質問8-②】クロス集計結果：居住地区（和地区）

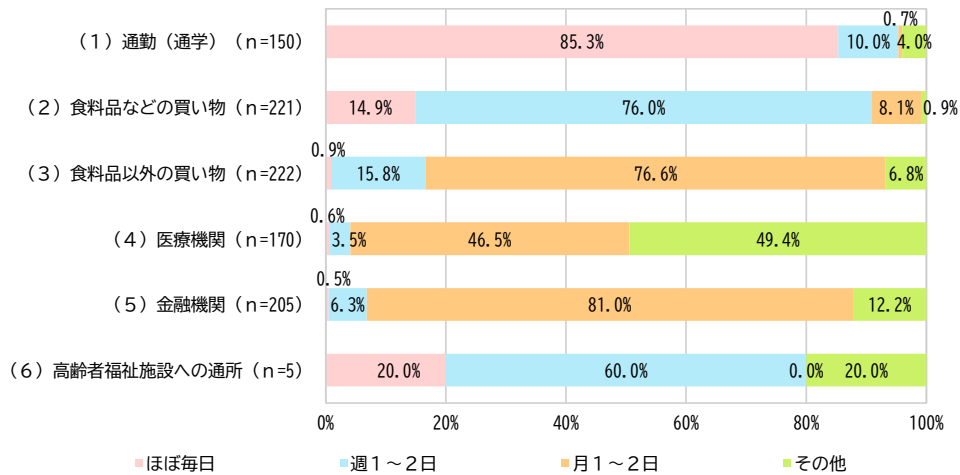
外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」、食料品などの買い物、高齢者福祉施設への通所は「週1～2日」となっています。

食料品以外の買い物、金融機関は「月1～2日」程度となっています。

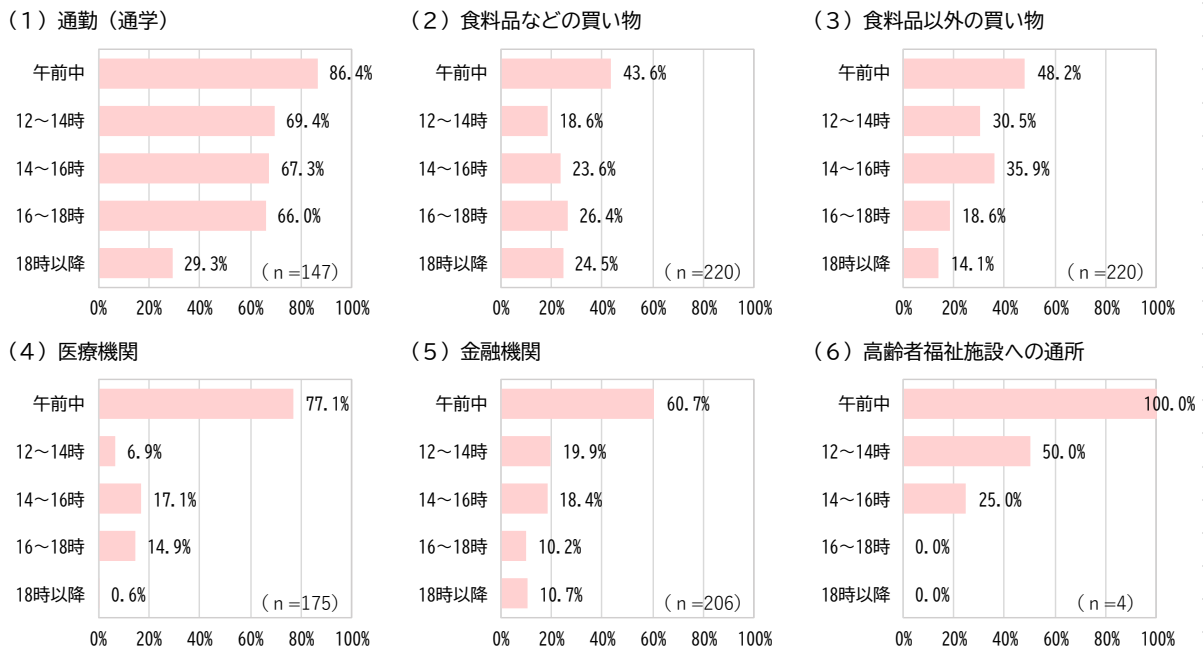
医療機関は「月1～2日」や年に数回程や罹患時など頻度は比較的長いです。

滞在時間では、食料品などの買い物では午前中がやや多く、午後も利用がそれぞれみられます。医療機関や金融機関は午前中が多くなっています。

高齢者福祉施設への通所は、午前中から午後12～14時にかけて利用がみられます。



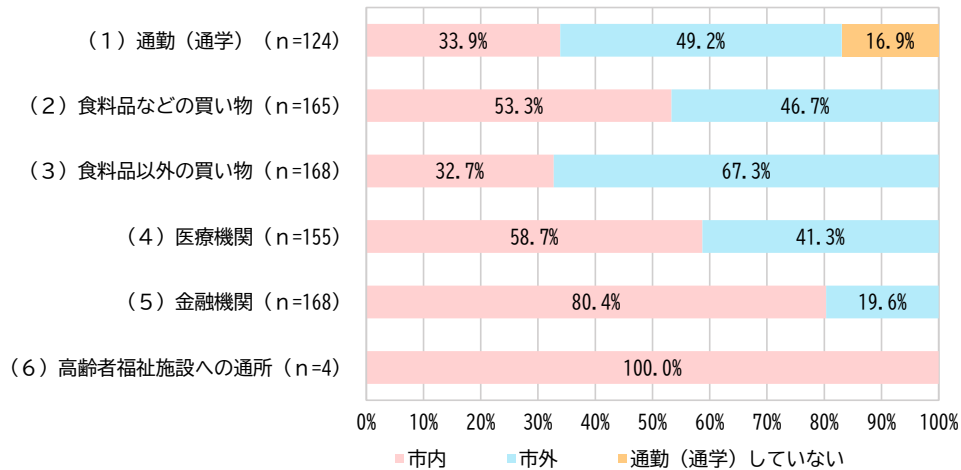
【質問8-③】クロス集計結果：居住地区（和地区）



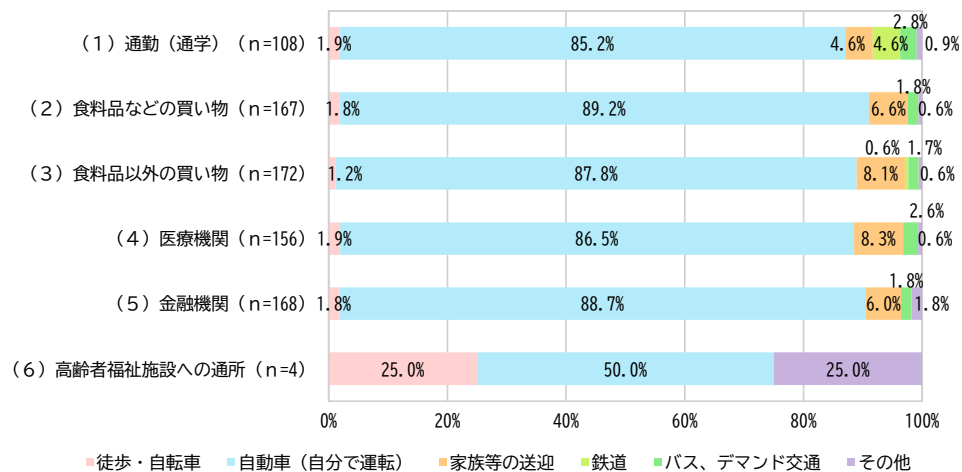
【質問8-④】クロス集計結果：居住地区（和地区）

北御牧地区

高齢者福祉施設への通所、金融機関は市内の施設を中心に利用しています。医療機関、食料品などの買い物は市内の施設のほか、市外の施設も利用がみられます。一方、通勤（通学）、食料品以外の買物は市外の利用がやや多くなっています。外出時の移動手段は、自動車（自分で運転）や家族等の送迎が主な手段となっています。また、他の地区と比較して鉄道やバスなど公共交通の利用がやや多くみられます。



【質問8-①】クロス集計結果：居住地区（北御牧地区）



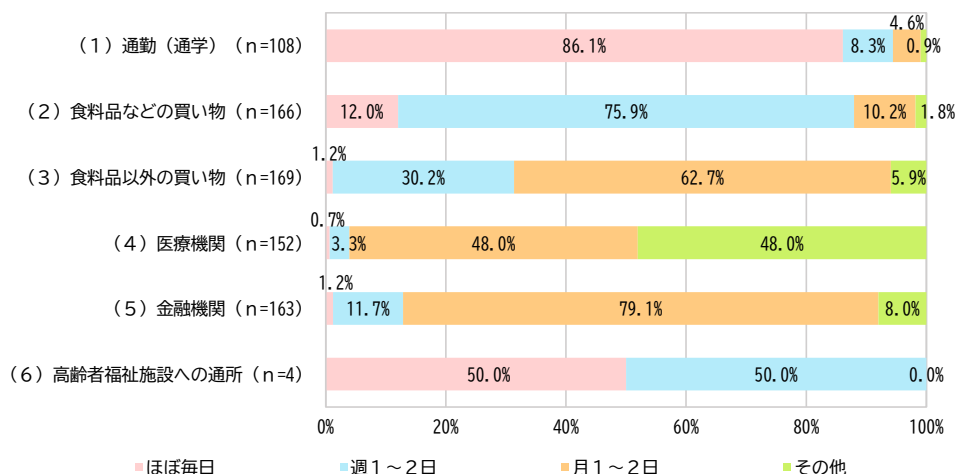
【質問8-②】クロス集計結果：居住地区（北御牧地区）

外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」、食料品などの買い物は「週1～2日」となっています。

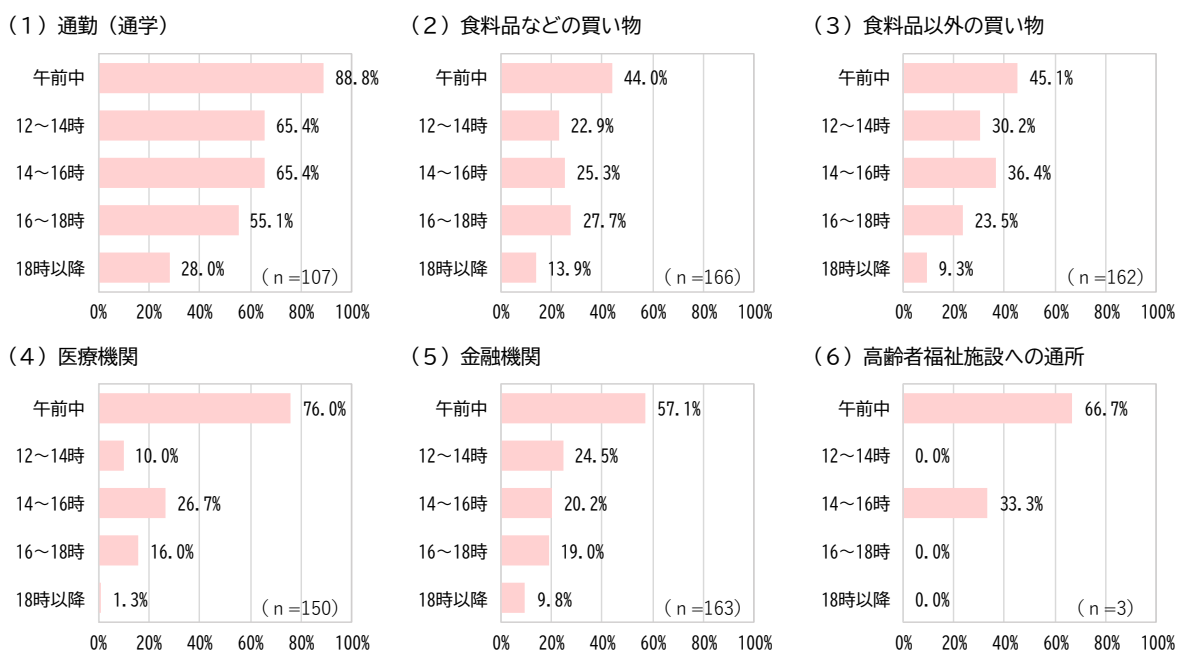
食料品以外の買い物、金融機関は「月1～2日」程度となっています。

医療機関は「月1～2日」や年に数回程、罹患時など頻度は比較的長いです。

滞在時間では、食料品などの買い物は午前中がやや多く、午後も利用がそれぞれみられます。医療機関や金融機関、高齢者福祉施設への通所は午前中が多くなっています。



【質問8-③】クロス集計結果：居住地区（北御牧地区）



【質問8-④】クロス集計結果：居住地区（北御牧地区）

③ クロス集計：年代別

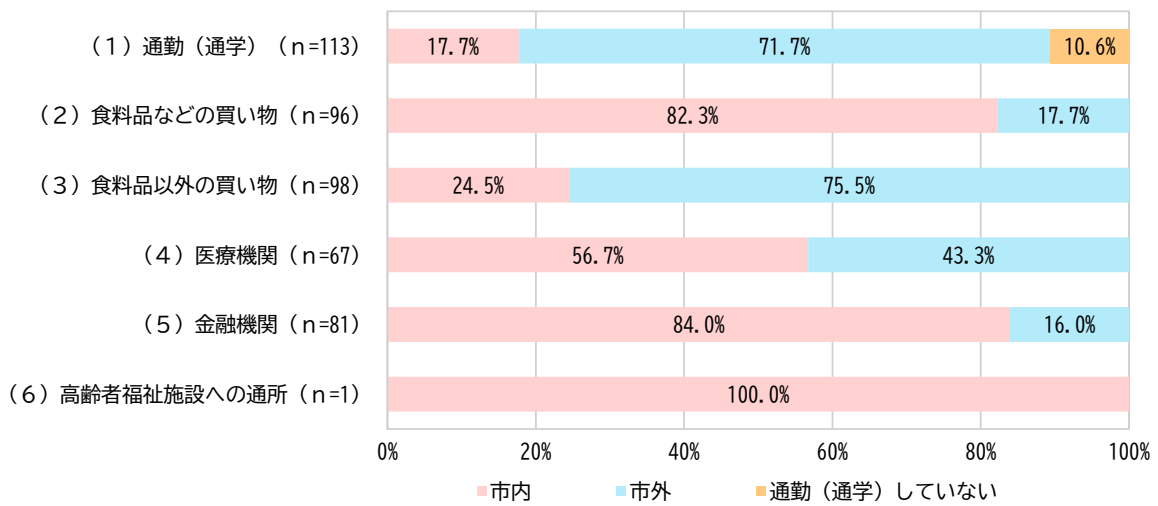
10-20代

通勤（通学）、食料品以外の買い物は市外の施設が多く、食料品などの買い物、金融機関は市内の施設を中心に利用しています。

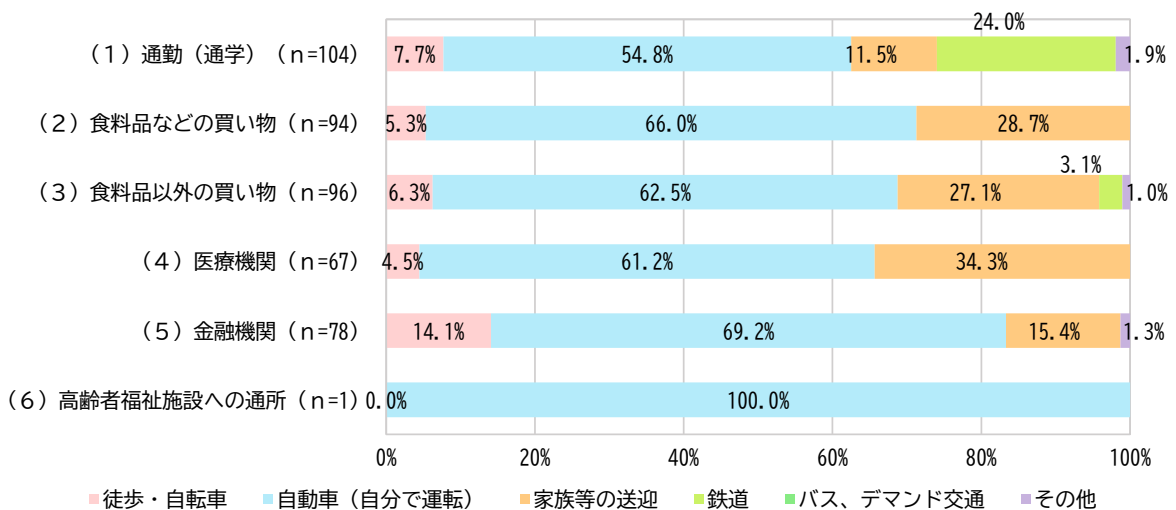
医療機関、市内の施設のほか、市外の施設の利用もみられます。

外出手段は、自動車（自分で運転）のほか、家族の送迎も多くみられます。

公共交通は、通勤（通学）と食料品以外の買い物で利用がみられます。



【質問8-①】クロス集計結果：年代（10-20代）



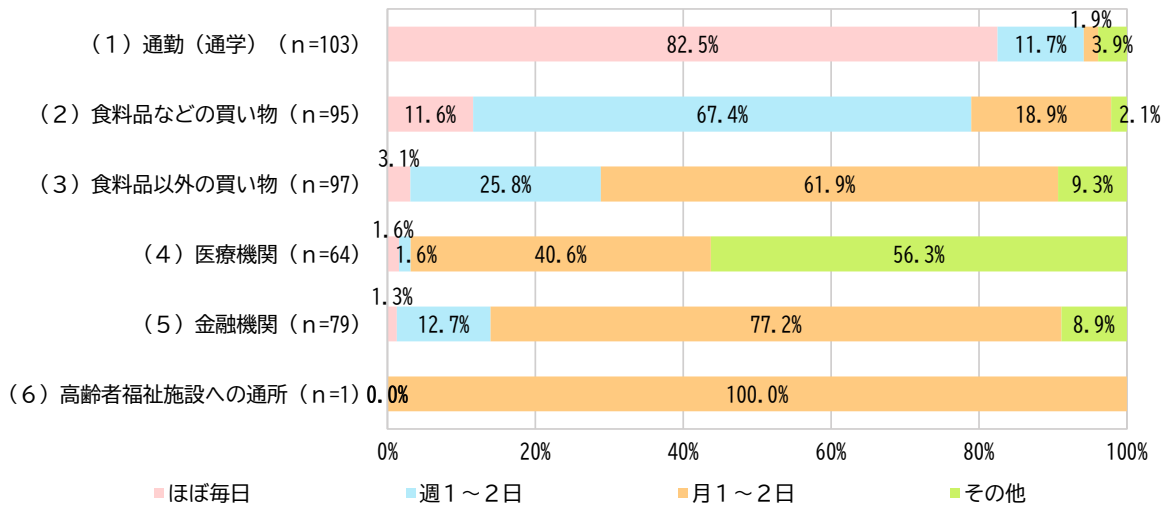
【質問8-②】クロス集計結果：年代（10-20代）

外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」、食料品などの買い物は「週1～2日」となっています。

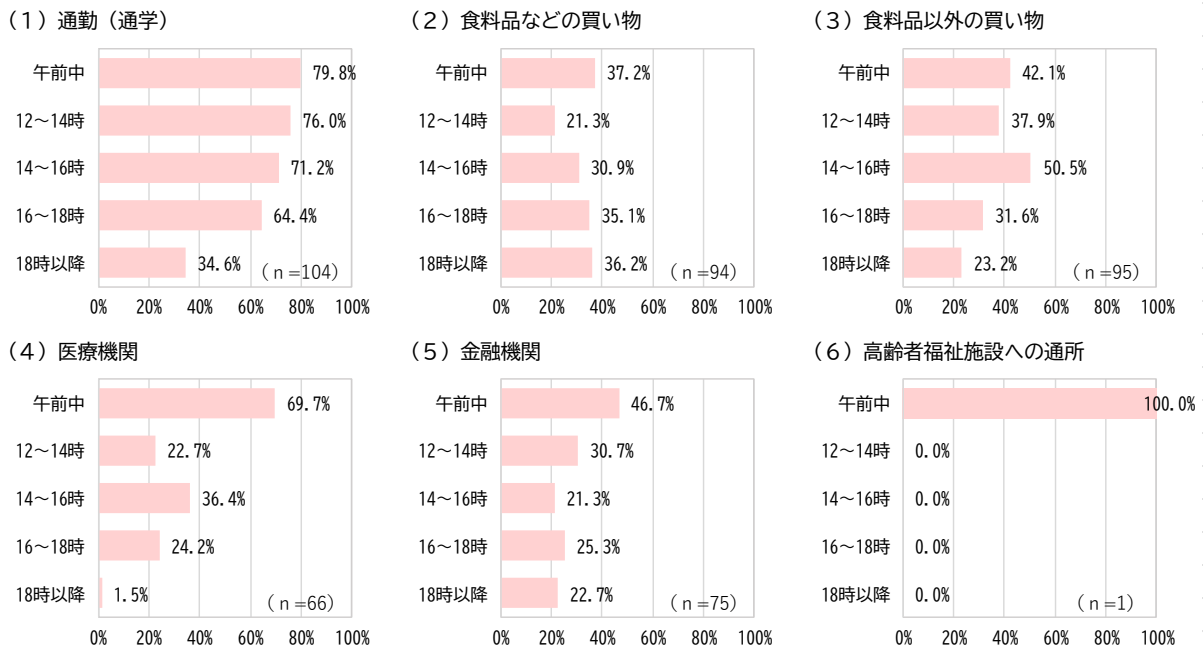
食料品以外の買い物、金融機関は「月1～2日」程度となっています。

医療機関は「月1～2日」や罹患時など頻度は多くありません。

滞在時間では、通勤（通学）は概ね1日、買い物は午前中及び午後にかけて分散しています。医療機関は午前中がやや多く、次いで14～16時となっています。



【質問8-③】クロス集計結果：年代（10-20代）



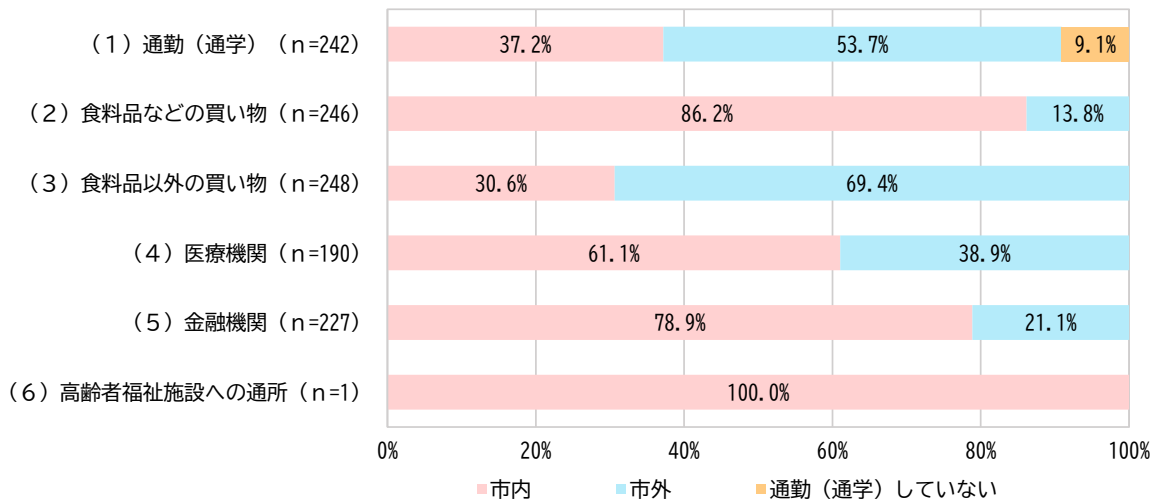
【質問8-④】クロス集計結果：年代（10-20代）

30-40代

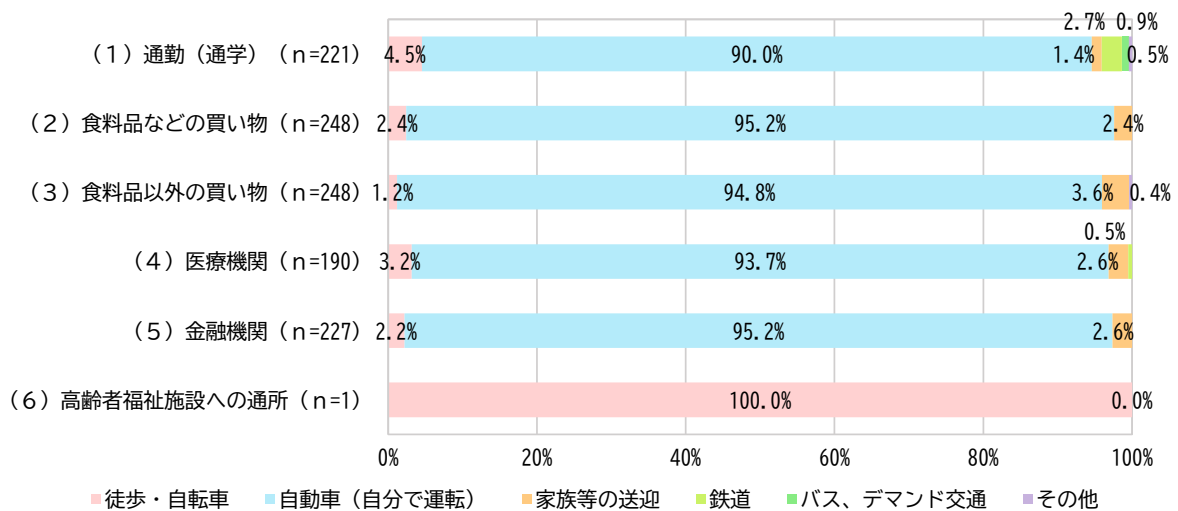
通勤（通学）、食料品以外の買い物は市外の施設が多く、食料品などの買い物、医療機関、金融機関は市内の施設を中心に利用しています。

外出手段は、自動車（自分で運転）が主な手段となっています。

また公共交通は、通勤（通学）と医療機関で利用がみられます。



【質問8-①】クロス集計結果：年代（30-40代）



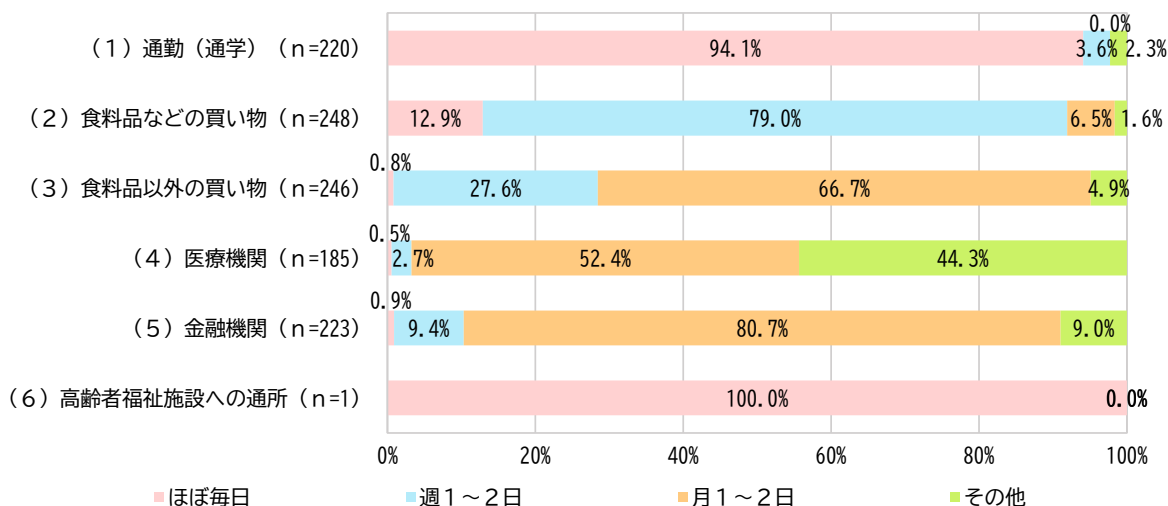
【質問8-②】クロス集計結果：年代（30-40代）

外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」、食料品などの買い物は「週1～2日」となっています。

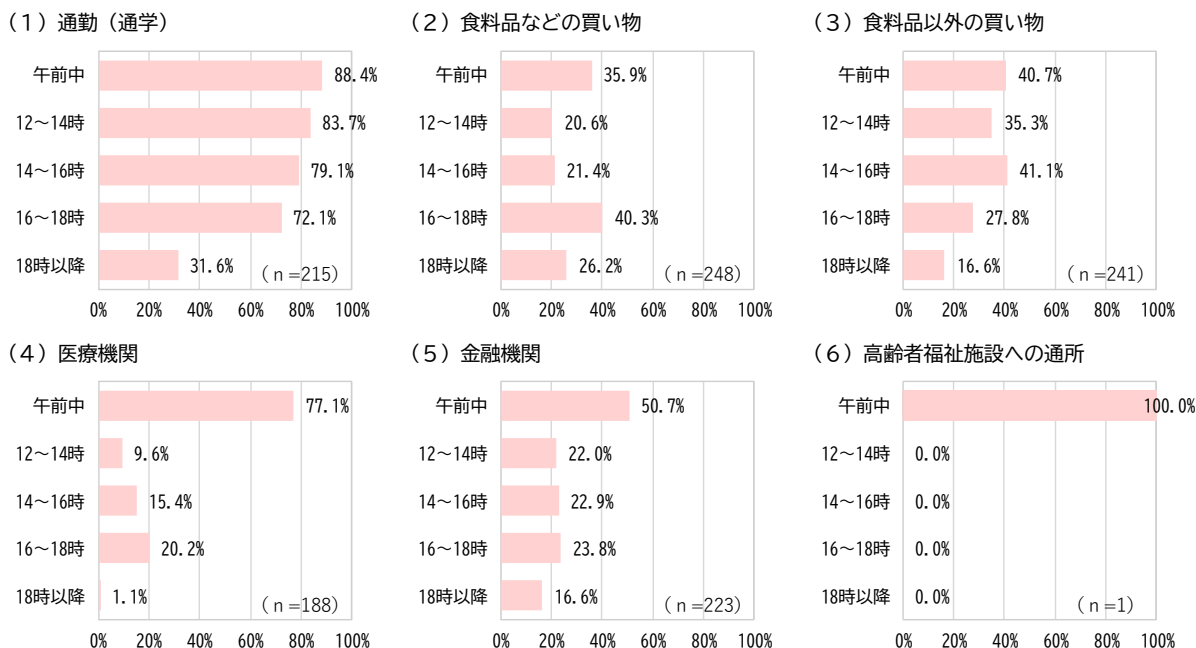
食料品以外の買い物、金融機関は「月1～2日」程度となっています。

医療機関は「月1～2日」や罹患時など頻度は多くありません。

滞在時間では、通勤（通学）は概ね1日、食料品などの買い物が16～18時が多く、次いで午前中となっています。医療機関、金融機関は午前中の利用が多くなっています。



【質問8-③】クロス集計結果：年代（30-40代）



【質問8-④】クロス集計結果：年代（30-40代）

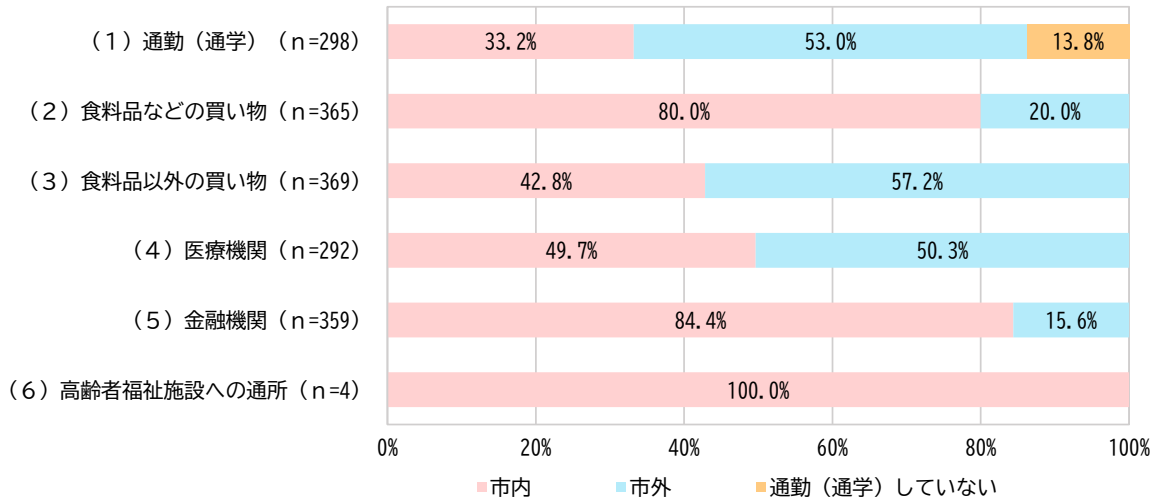
50-60代

通勤（通学）、食料品以外の買い物は市外の施設が多く、食料品などの買い物、金融機関は市内の施設を中心に利用しています。

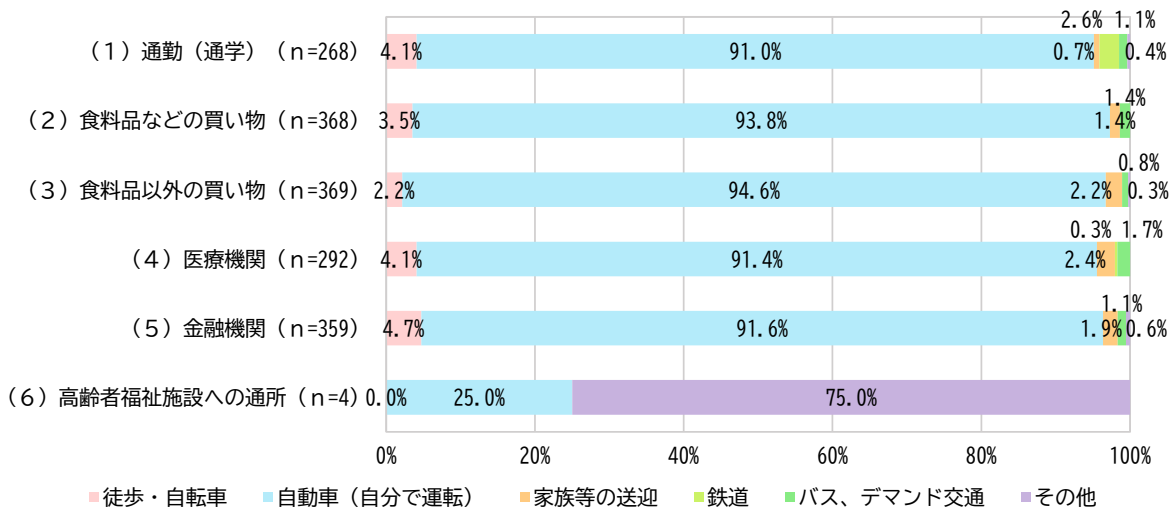
医療機関、市内の施設のほか、市外の施設の利用もみられます。

外出手段は、自動車（自分で運転）のほか、家族の送迎も多くみられます。

公共交通は、通勤（通学）のほか、買い物や医療機関でも利用がみられます。



【質問8-①】クロス集計結果：年代（50-60代）



【質問8-②】クロス集計結果：年代（50-60代）

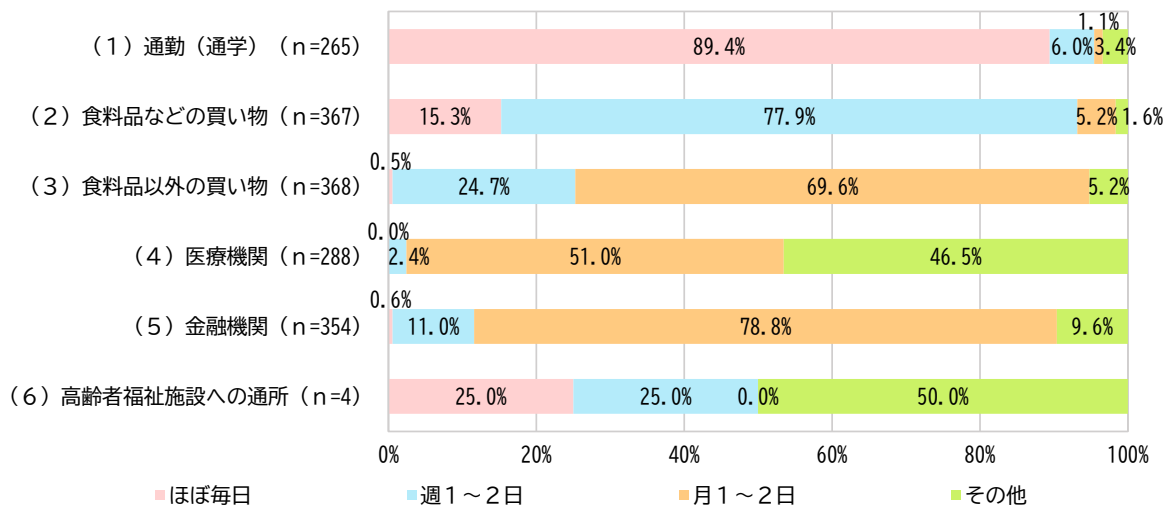
外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」、食料品などの買い物は「週1～2日」となっています。

食料品以外の買い物、金融機関は「月1～2日」程度となっています。

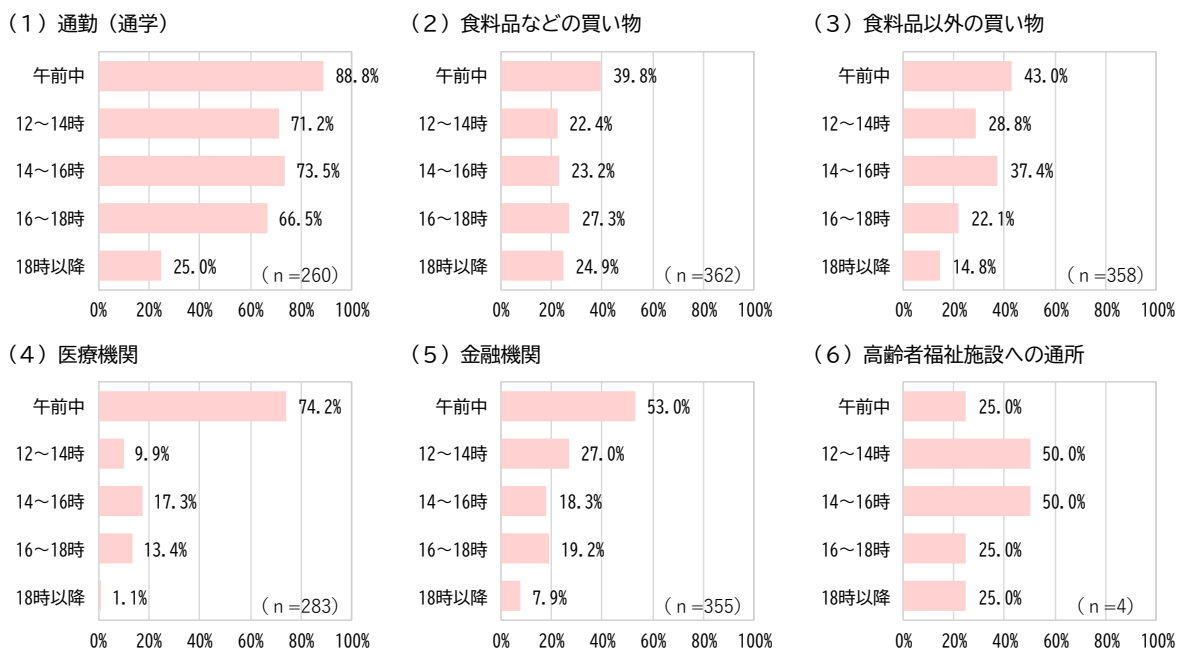
医療機関は「月1～2日」や「年に数回」、罹患時など頻度は多くありません。

滞在時間では、通勤（通学）は概ね1日、食料品などの買い物は午前中がやや多いほか、午後は分散しています。

医療機関、金融機関は午前中の利用が多くなっています。



【質問8-③】クロス集計結果：年代（50-60代）



【質問8-④】クロス集計結果：年代（50-60代）

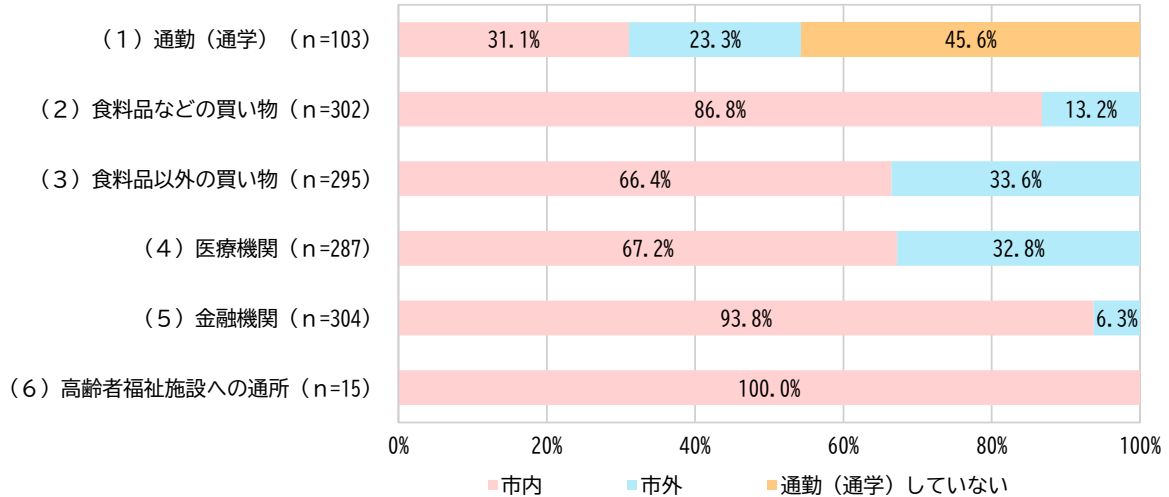
70代以上

概ね全ての目的で、市内の施設の利用が多くなっていますが、通勤（通学）や買物、通院などで市外の利用もみられます。

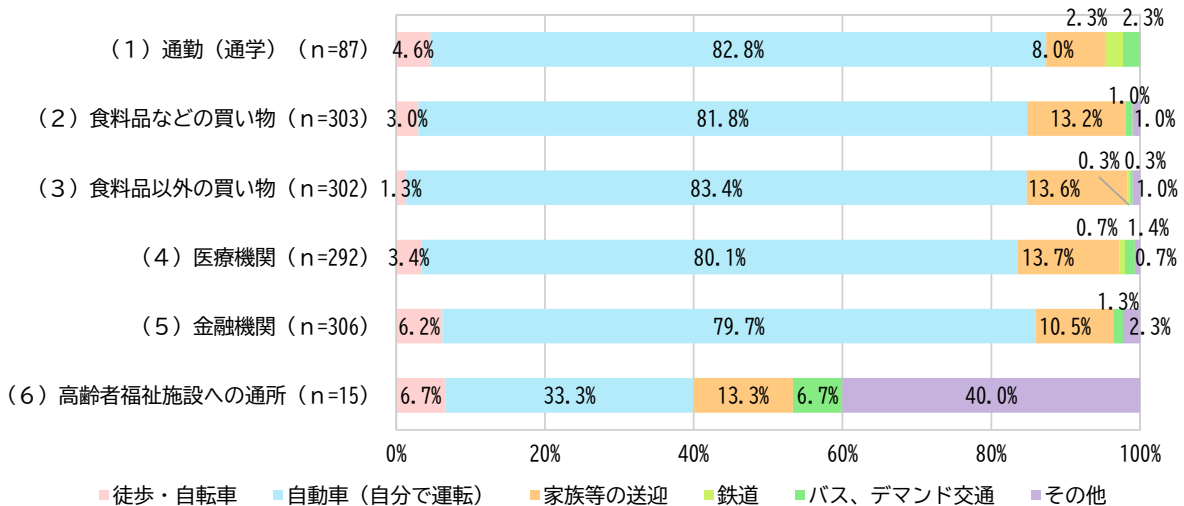
外出手段は、自動車（自分で運転）が最も多く、家族の送迎も多くみられます。

公共交通の利用は、他の年代と比較すると利用があり、医療機関や買い物、通勤などで利用されています。

高齢者福祉施設への通所では、施設の送迎が多く利用されています。



【質問8-①】クロス集計結果：年代（70代以上）



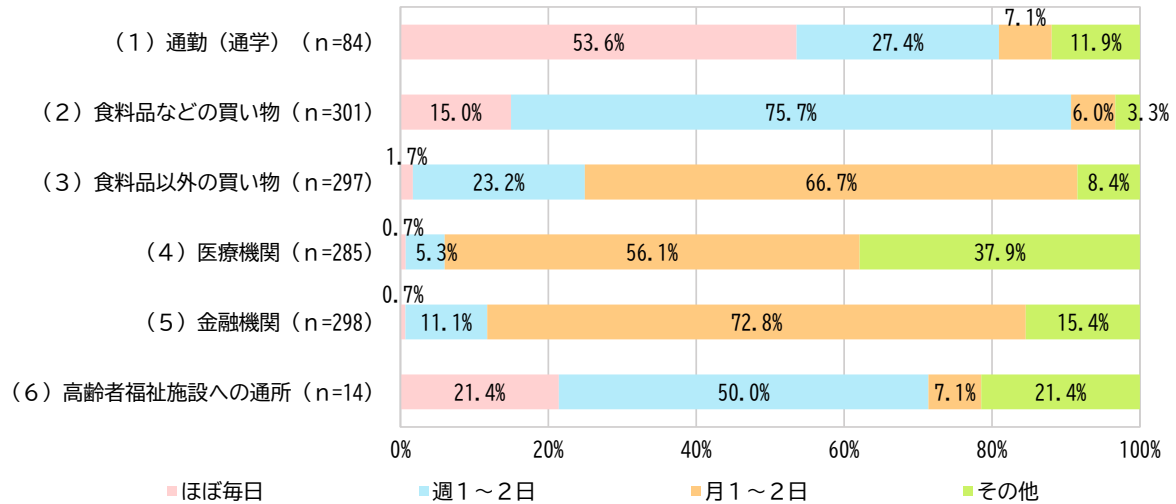
【質問8-②】クロス集計結果：年代（70代以上）

外出頻度は、通勤（通学）は「ほぼ毎日」と「週1～2日」程度、食料品などの買い物は「週1～2日」が多くなっています。

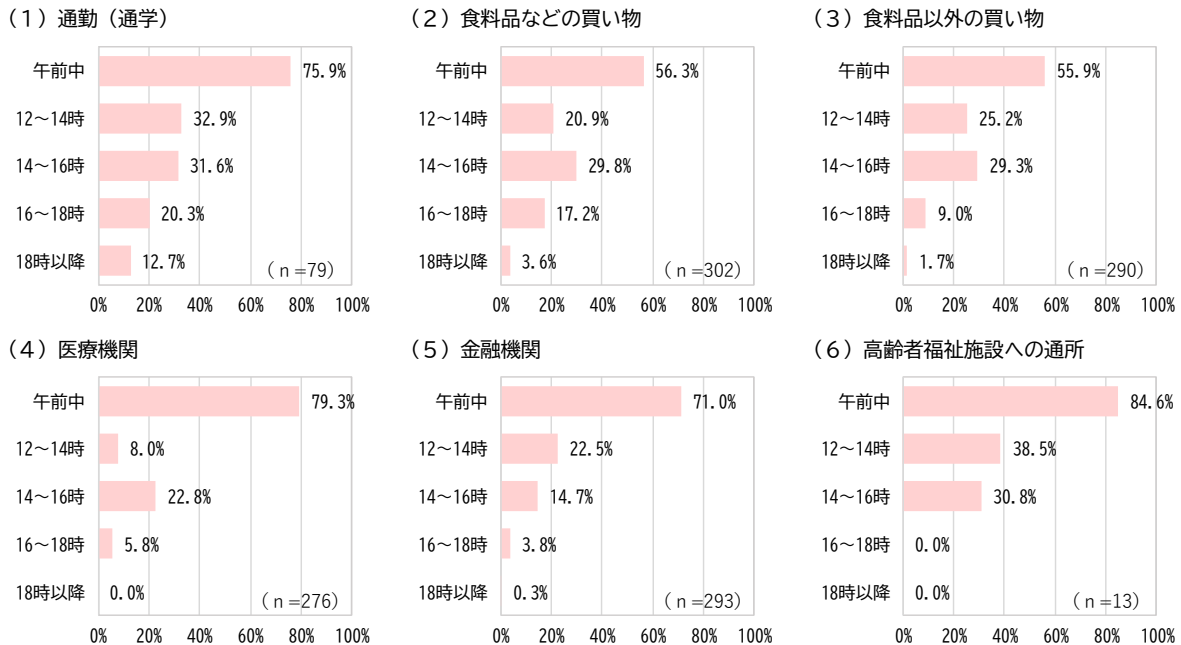
食料品以外の買い物、金融機関は「月1～2日」程度となっています。

医療機関は「月1～2日」や「年に数回」、罹患時などの頻度となっています。

滞在時間では、通勤（通学）は概ね1日、買い物は午前中と14～16時が多くなっています。医療機関、金融機関は午前中の利用が多くなっています。



【質問8-③】クロス集計結果：年代（70代以上）



【質問8-④】クロス集計結果：年代（70代以上）

2-4 日常生活を支える施設のあり方について【質問9～10】

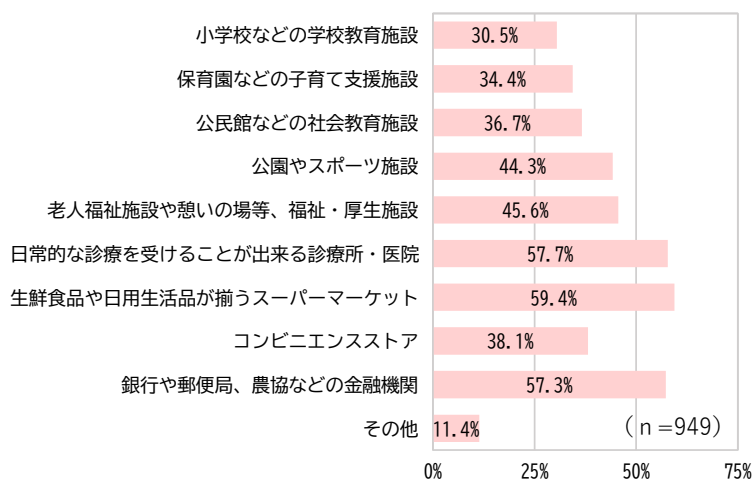
(1) 市役所から田中駅周辺における施設のあり方等について

質問9	<p>市役所から田中駅周辺における施設のあり方等について、次の各設問にお答えください。</p> <p>(1) 公共施設、駅、高校、専門学校などが集まる市役所から田中駅周辺で維持・充実すべきだと思う施設を教えてください。【MA】 (該当する番号を5つ選んで○を付けてください。)</p> <p>(2) 市役所や田中駅周辺への行きやすさについて教えてください。【SA】 (該当する番号1つに○を付けてください。)</p>
-----	--

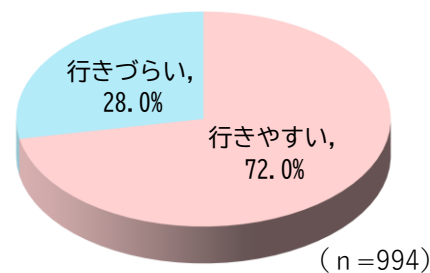
① 単純集計

「生鮮食品や日用品が揃うスーパーマーケット」(59.4%)の割合が最も高く、次いで「日常的な診療を受けることが出来る診療所・医院」(57.7%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(57.3%)の順となっています。

また、市役所や田中駅周辺への行きやすさは、「行きやすい」が72%で、「行きづらい」を上回っています。



【質問9-(1)】単純集計結果



【質問9-(2)】単純集計結果

【質問9-（1）】「その他」回答一覧

商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食店など（22件） ● 本屋・書店（3件） ● 宿泊施設（2件） ● 娯楽施設（2件） ● 憩いの場 ● レンタル自習室（個人ブース等付） ● ホームセンター ● 老若男女が利用できる商業施設（飲める、食べる、休める） ● 商店街の再開発 ● 高齢者が休め楽しめる場所
道路や駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場の充実など（7件） ● 狭い道路の拡幅 ● 田中交差点の改良（右折対応） ● 歩道の整備 ● 施設や駐車場の案内看板の設置
文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館（3件） ● 文化施設、ギャラリー、イベント施設 ● 文化会館などの文化交流施設
教育・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門学校 ● 児童館・児童クラブ
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆が利用できる、バス停 ● タクシー会社 ● 高速バスを利用しやすく ● 交通手段、ライドシェアとかタクシーが必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 他地区への分散など（10件） ● 田中のメインストリートが全く機能していない ● 若者がストレス発散になる施設 ● 公共施設の集約化（ワンストップサービス化） ● ドックラン・動物も入れる公園

【質問9-（2）】「行きづらい」の具体的な回答一覧

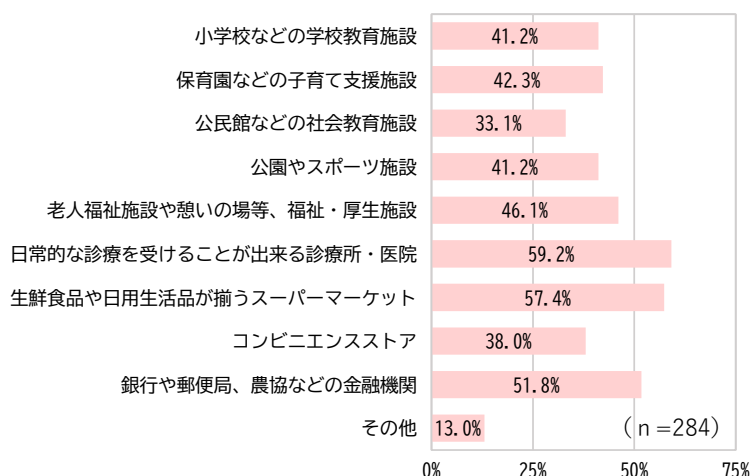
道路環境・駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ● 道が狭い（34件） ● 駐車場（分かりにくい/足りない）（25件） ● 道路混雑・渋滞（19件） ● 坂が多いなど（9件） ● 信号や交差点が不便（9件） ● 歩道がない・狭い（7件） ● 道路整備が不十分 ● 道がわかりにくい・右左折しにくい ● 自転車道が整備されていない ● 市役所以外の施設の駐車場や入口が分からない。上り坂で見にくく探しにくい ● 駅周辺（商店街含む）に木影がない
距離	<ul style="list-style-type: none"> ● 距離がある、遠いなど（27件）
交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ● 車がないと行けない、生活できないなど（25件） ● 公共交通がない・交通手段がないなど（22件）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的がない（6件） ● 歩いて行ける ● 田中駅から歩いては市役所遠い ● 町の中心ではない ● 大通りに面していない ● 自動車がないと時間がかかる ● 建物がわかりにくい ● 駅が商店街と連結していない。 ● どこに何を売っているか判りづらい ● 道の広さよりも行きやすさが重要 ● 点在していて、移動のたびに駐車場を変えなくてはいけない。

② クロス集計：居住地区

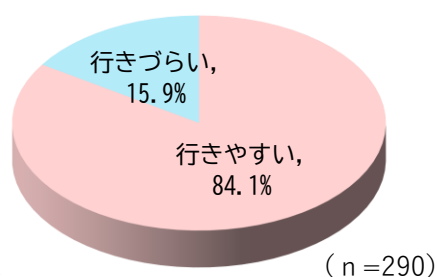
田中地区

「日常的な診療を受けることが出来る診療所・医院」(59.2%)の割合が最も高く、次いで「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(57.4%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(51.8%)の順となっています。

また、市役所や田中駅周辺への行きやすさは、「行きやすい」が84.1%で、「行きづらい」を上回っています。



【質問9-(1)】クロス集計結果
居住地区(田中地区)

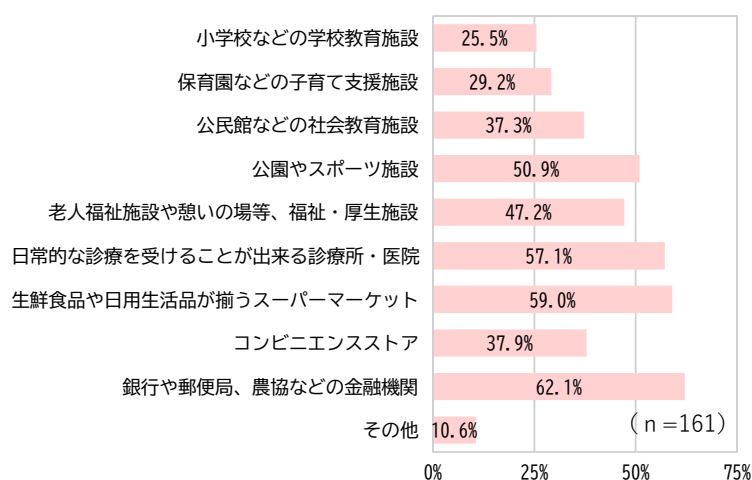


【質問9-(2)】クロス集計結果
居住地区(田中地区)

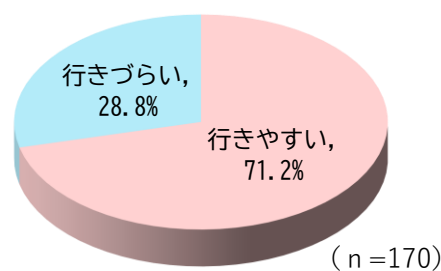
滋野地区

「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(62.1%)の割合が最も高く、次いで「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(59%)、「日常的な診療を受けることが出来る診療所・医院」(57.1%)の順となっています。

また、市役所や田中駅周辺への行きやすさは、「行きやすい」が71.2%で、「行きづらい」を上回っています。



【質問9-(1)】クロス集計結果
居住地区(滋野地区)

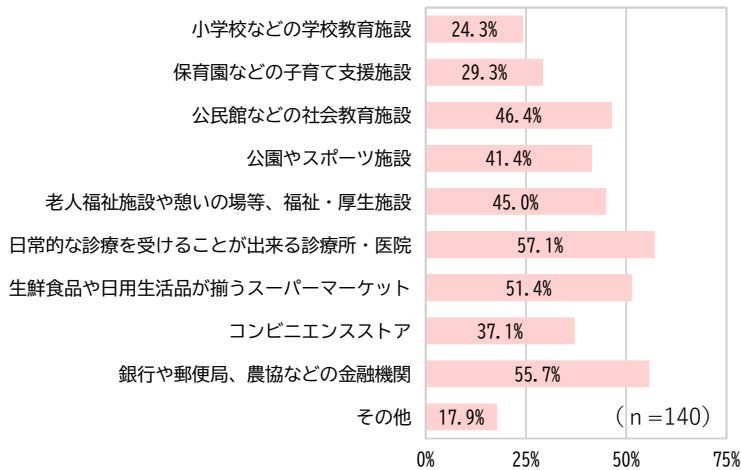


【質問9-(2)】クロス集計結果
居住地区(滋野地区)

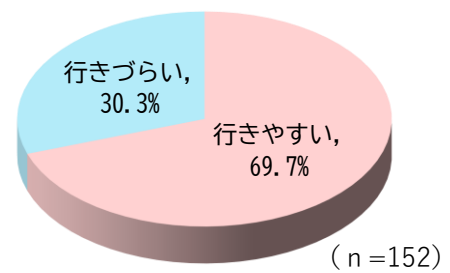
柗津地区

「日常的な診療を受けることが出来る診療所・医院」(57.1%)の割合が最も高く、次いで「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(55.7%)、「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(51.4%)の順となっています。

また、市役所や田中駅周辺への行きやすさは、「行きやすい」が69.7%で、「行きづらい」を上回っています。



【質問9-(1)】クロス集計結果
居住地区(柗津地区)

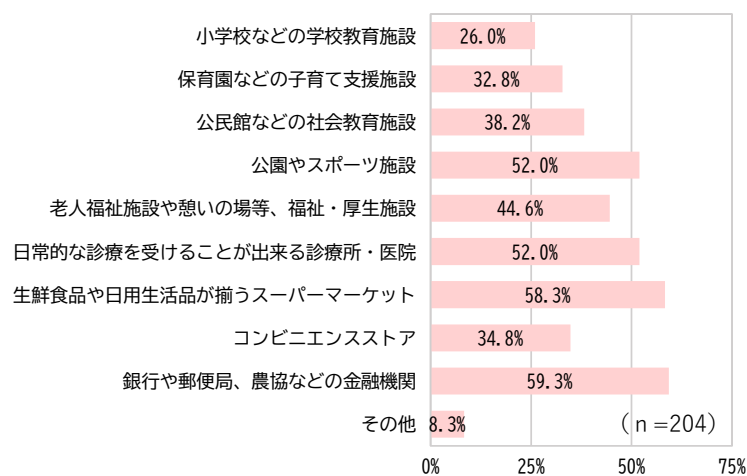


【質問9-(2)】クロス集計結果
居住地区(柗津地区)

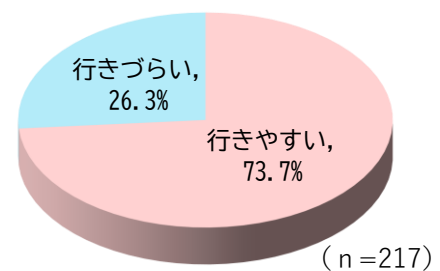
和地区

「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(59.3%)の割合が最も高く、次いで「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(58.3%)、「日常的な診療を受けることが出来る診療所・医院」、「公園やスポーツ施設」(52%)の順となっています。

また、市役所や田中駅周辺への行きやすさは、「行きやすい」が73.7%で、「行きづらい」を上回っています。



【質問9-(1)】クロス集計結果
居住地区(和地区)

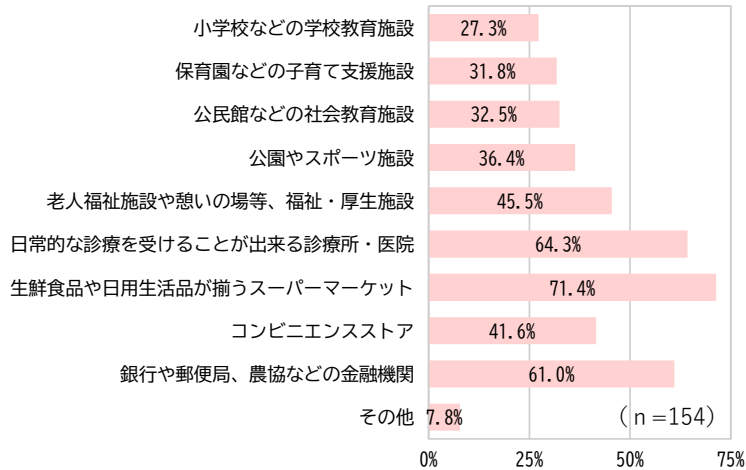


【質問9-(2)】クロス集計結果
居住地区(和地区)

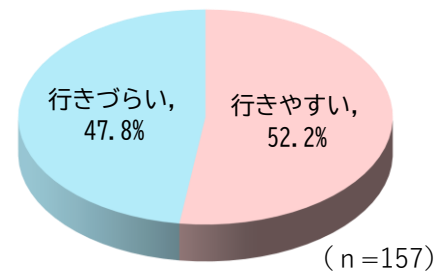
北御牧地区

「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(71.4%)の割合が最も高く、次いで「日常的な診療を受けることが出来る診療所・医院」(64.3%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(61%)の順となっています。

また、市役所や田中駅周辺への行きやすさは、「行きやすい」が52.2%で、「行きづらい」を若干上回っています。



【質問9- (1)】クロス集計結果
居住地区 (北御牧地区)



【質問9- (2)】クロス集計結果
居住地区 (北御牧地区)

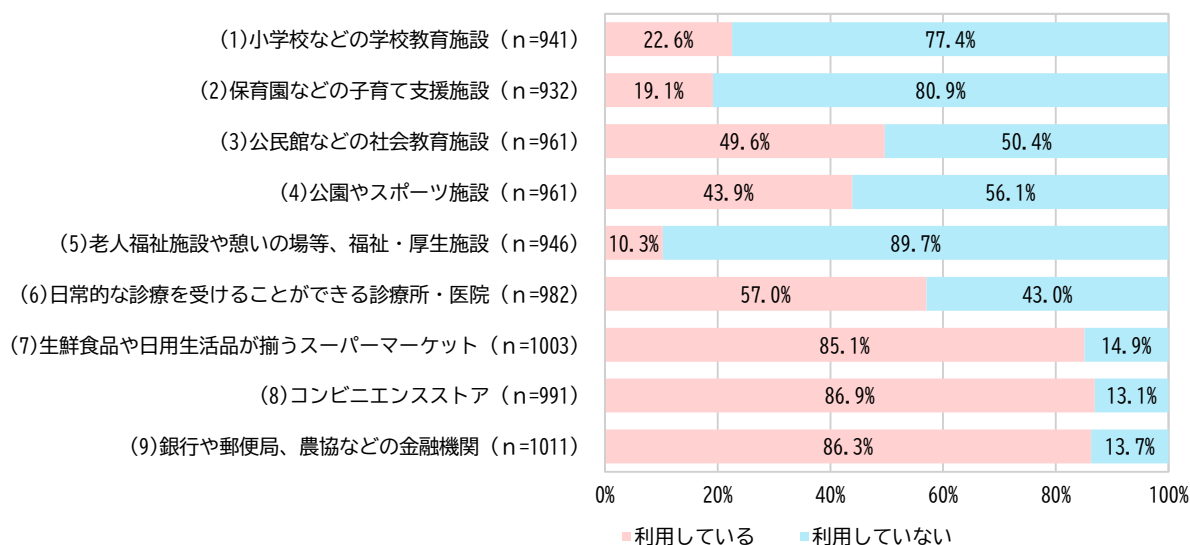
(2) 居住地区における施設の利用状況と必要性について【SA】

質問 10	(1) あなたの居住地区で、以下の施設を利用できているか教えてください。 (2) 今後も住み続けるにあたって必要な施設を教えてください。
-------	---

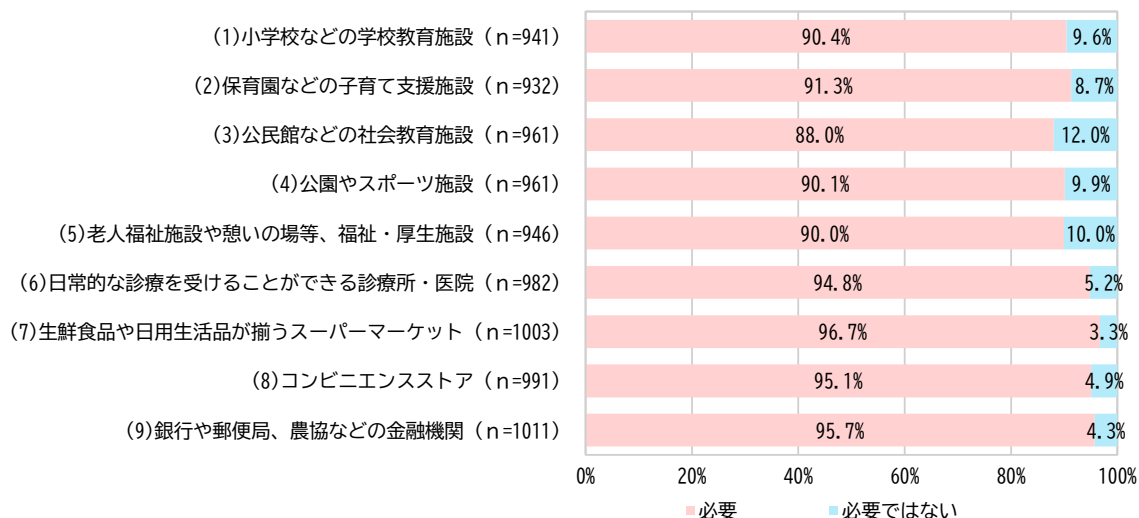
① 単純集計

「利用している」の割合が特に高いのは、「コンビニエンスストア」(86.9%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(86.3%)、「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(85.1%)となっています。一方で「利用していない」の割合が特に高いのは「老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設」(89.7%)、「保育園などの子育て支援施設」(80.9%)、「小学校などの学校教育施設」(77.4%)となっています。

今後も住み続けるにあたって必要な施設は、「公民館などの社会教育施設」(88%)を除き、「必要」が90%を超えています。特に「必要」の割合が95%を超えているのは「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(96.7%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(95.7%)、「コンビニエンスストア」(95.1%)の3項目です。



【質問 10- (1)】 単純集計結果



【質問 10- (2)】 単純集計結果

【質問 10】「その他」回答一覧

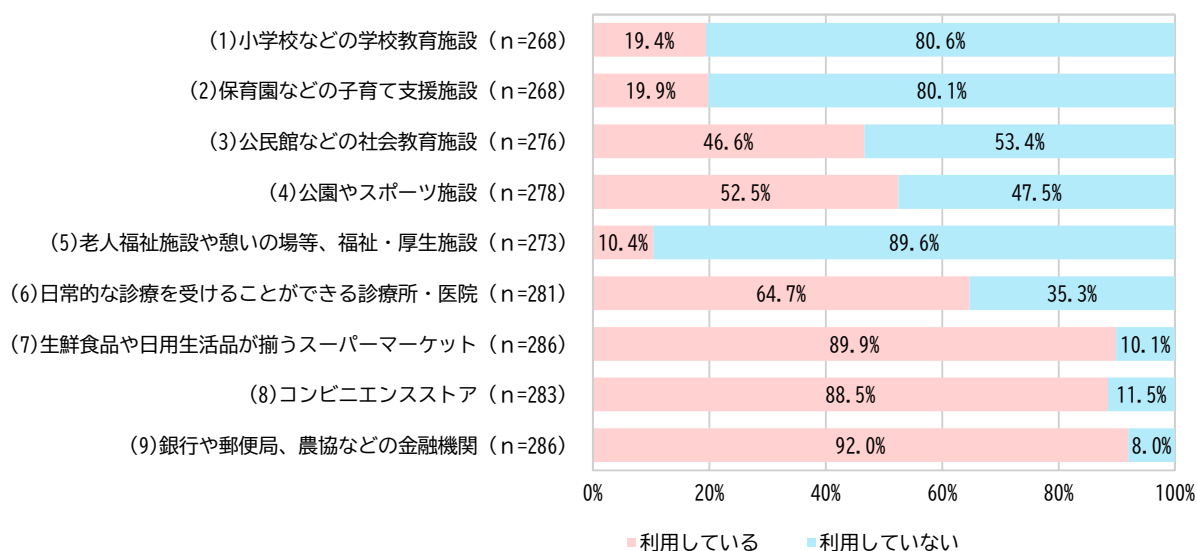
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食店 (19 件) ● コンビニエンスストア (3 件) ● 本屋 (3 件) ● スーパーマーケット (2 件) ● 衣料品店 (2 件) ● スポーツクラブ・ジム・プール (3 件) ● 複合施設 (3 件) ● 娯楽施設 (2 件) ● 温泉施設 (2 件) ● 靴屋 ● 立ち寄って集まれるお店 ● 北御牧地区に店舗がほしい (切実) ● 子ども食堂 ● 快活クラブ ● レンタル自習室 ● ホテル
文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園 (7 件) ● 図書館 (4 件) ● 動物園、遊園地など (4 件) ● 博物館、美術館 (4 件) ● 老人と子供が集える場所など (4 件)
老人福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 老人福祉施設 ● 養護老人ホーム
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ処理施設など (3 件) ● サイクリングロード (2 件) ● ドッグラン (2 件) ● 北御牧地区には施設がほとんどありません。 ● 高齢化に伴い、支所が必要 ● 学生や若者が集まれる場所 ● 散策路、トレッキングコースが欲しい。 ● 公民館、集会施設 ● 大きな病院 ● 交番 ● 銀行 ● 駅構内エレベーターの設置 ● 公共駐車場 ● バスの充実 ● タクシーがなくて不便 (2 件) ● ドクターヘリの発着ポート

② クロス集計：居住地区

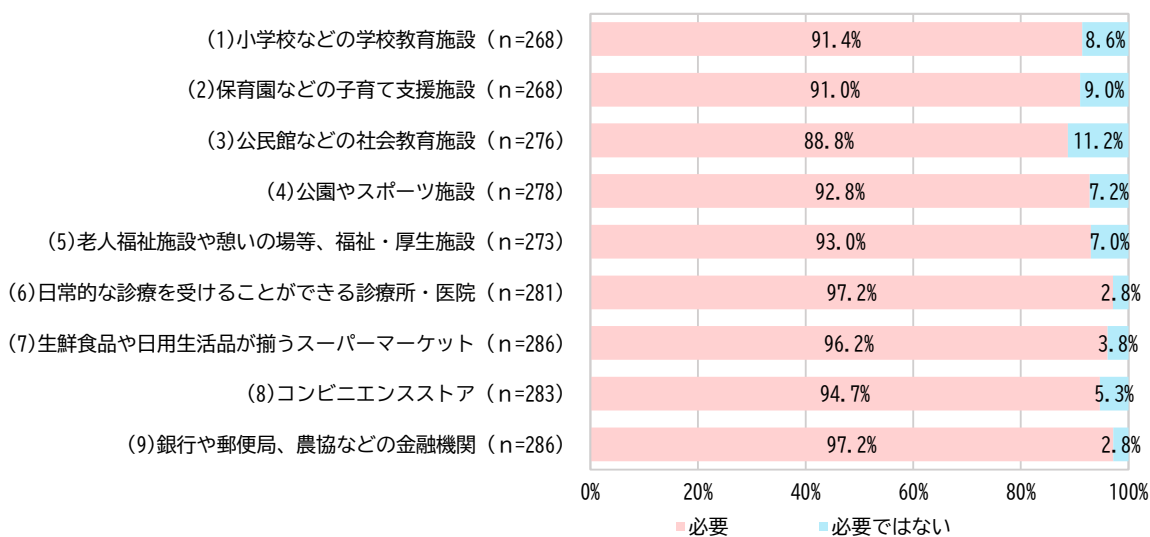
田中地区

「利用している」の割合が特に高いのは、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(92%)、「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(89.9%)、「コンビニエンスストア」(88.5%)となっています。一方で「利用していない」の割合が特に高いのは「老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設」(89.6%)、「小学校などの学校教育施設」(80.6%)、「保育園などの子育て支援施設」(80.1%)となっています。

今後も住み続けるにあたって必要な施設は、「公民館などの社会教育施設」(88.8%)を除き、「必要」が90%を超えています。特に「必要」の割合が95%を超えているのは「日常的な診療を受けることができる診療所・医院」(97.2%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(97.2%)、「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(96.2%)の3項目です。



【質問 10- (1)】 クロス集計結果：居住地区 (田中地区)

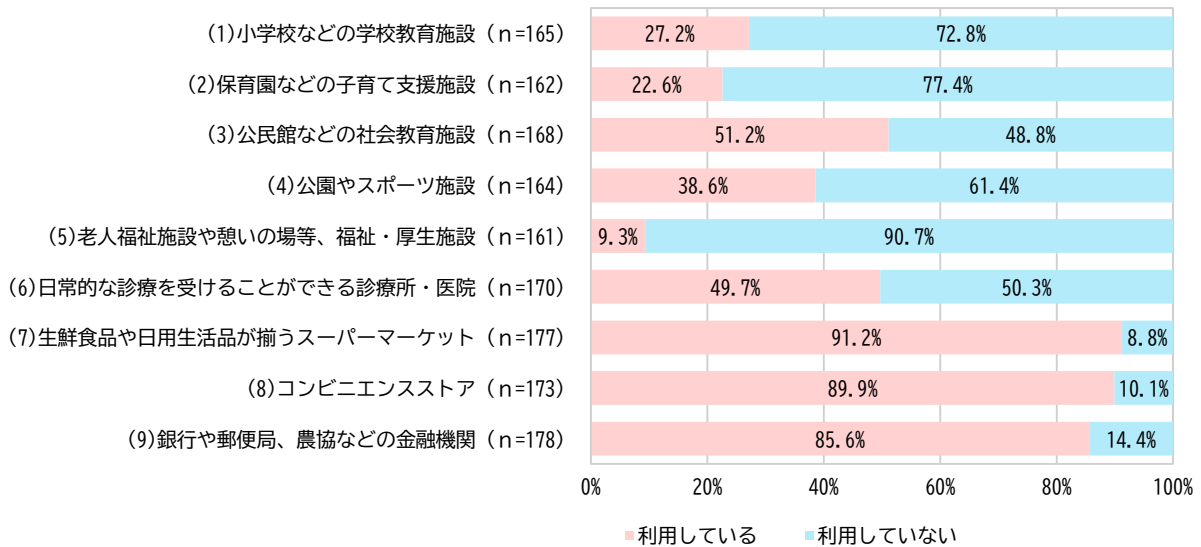


【質問 10- (2)】 クロス集計結果：居住地区 (田中地区)

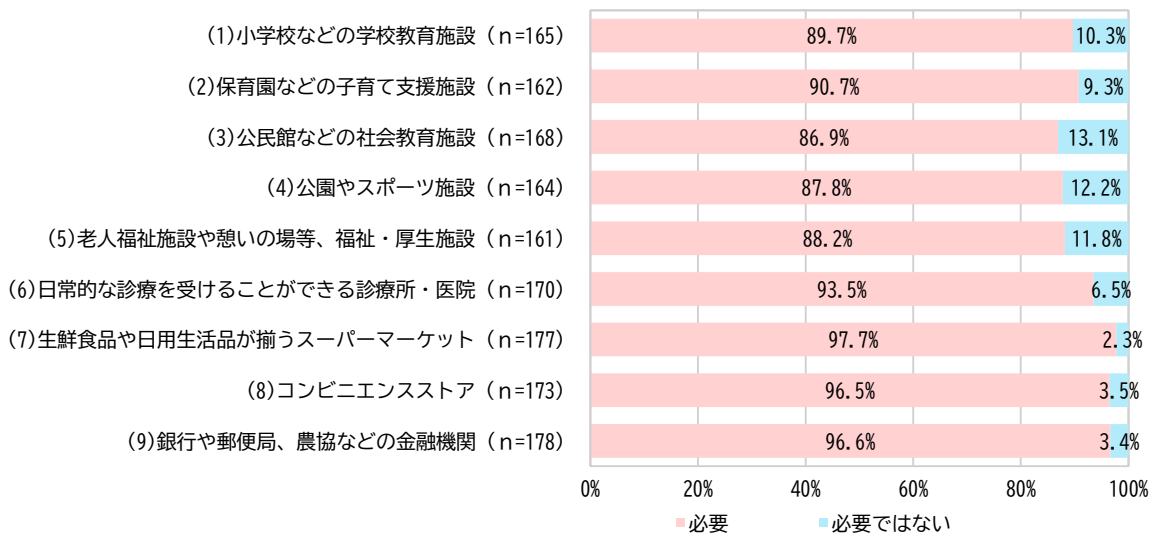
滋野地区

「利用している」の割合が特に高いのは、「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(91.2%)、「コンビニエンスストア」(89.9%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(85.6%)となっています。一方で「利用していない」の割合が特に高いのは「老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設」(90.7%)、「保育園などの子育て支援施設」(77.4%)、「小学校などの学校教育施設」(72.8%)となっています。

今後も住み続けるにあたって必要な施設で、「必要」の割合が95%を超えているのは「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(97.7%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(96.6%)、「コンビニエンスストア」(96.5%)の3項目です。



【質問 10- (1)】クロス集計結果：居住地区（滋野地区）

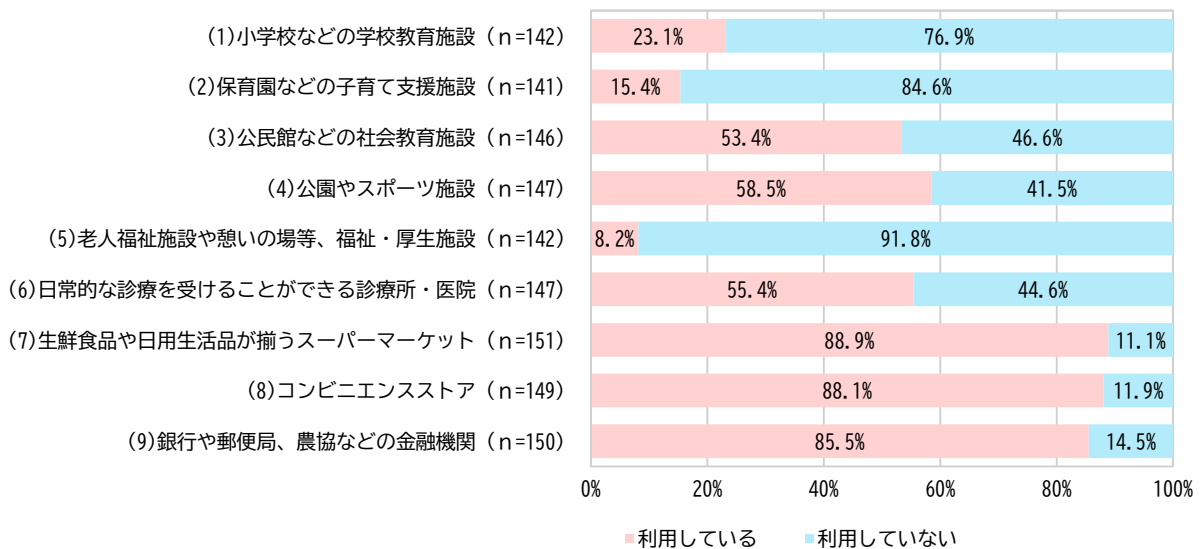


【質問 10- (2)】クロス集計結果：居住地区（滋野地区）

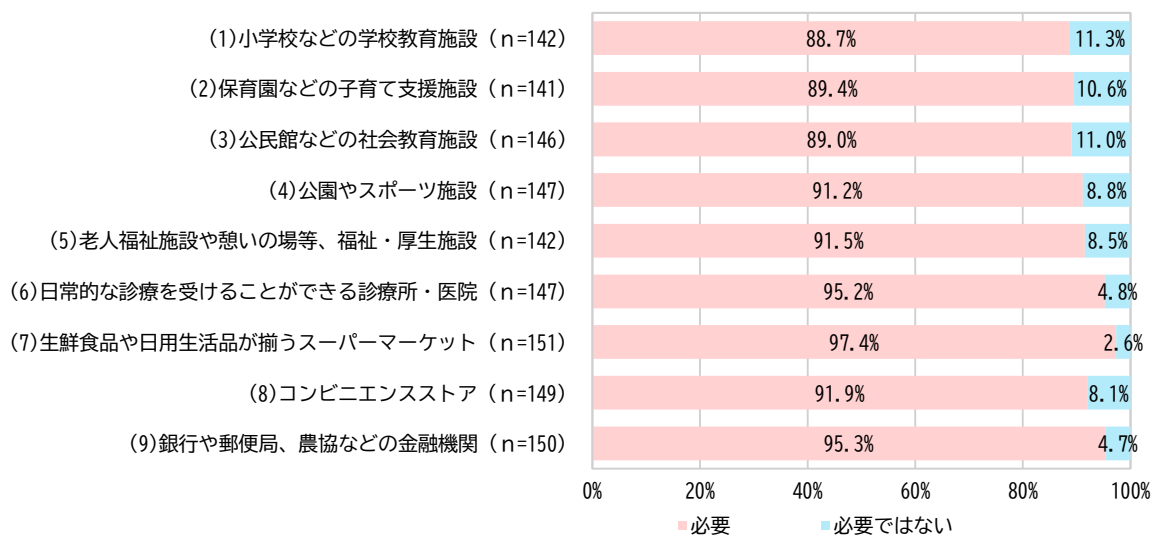
柘津地区

「利用している」の割合が特に高いのは、「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(88.9%)、「コンビニエンスストア」(88.1%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(85.5%)となっています。一方で「利用していない」の割合が特に高いのは「老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設」(91.8%)、「保育園などの子育て支援施設」(84.6%)、「小学校などの学校教育施設」(76.9%)となっています。

今後も住み続けるにあたって必要な施設で、「必要」の割合が95%を超えているのは「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(97.4%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(95.3%)、「日常的な診療を受けることができる診療所・医院」(95.2%)の3項目です。



【質問 10- (1)】 クロス集計結果：居住地区（柘津地区）

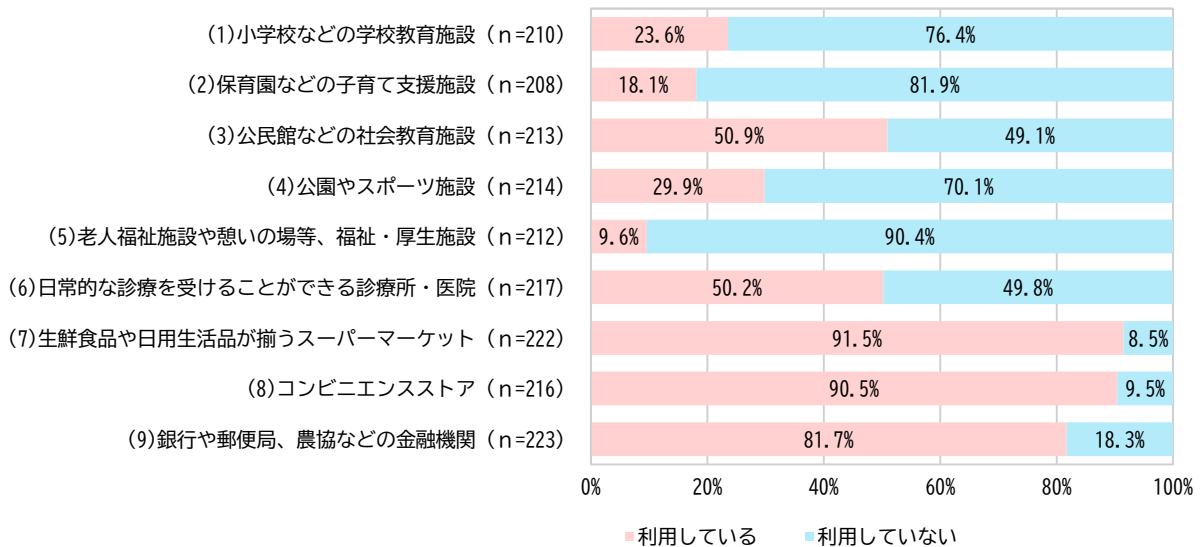


【質問 10- (2)】 クロス集計結果：居住地区（柘津地区）

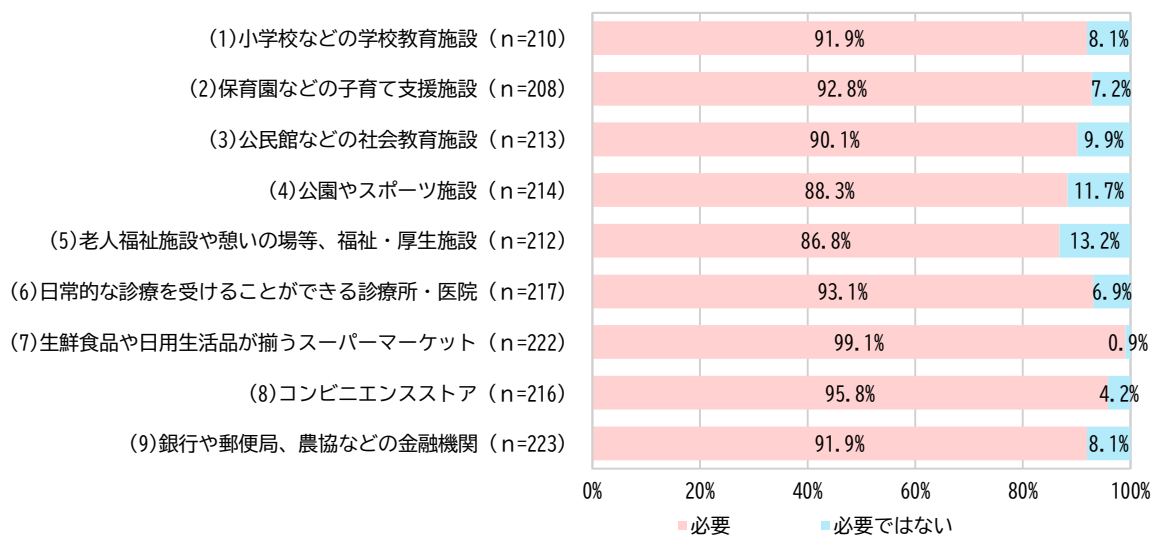
和地区

「利用している」の割合が特に高いのは、「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(91.5%)、「コンビニエンスストア」(90.5%)、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(81.7%)となっています。一方で「利用していない」の割合が特に高いのは「老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設」(90.4%)、「保育園などの子育て支援施設」(81.9%)、「小学校などの学校教育施設」(76.4%)となっています。

今後も住み続けるにあたって必要な施設は、「老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設」(86.8%)、「公園やスポーツ施設」(88.3%)を除き、「必要」が90%を超えています。特に「必要」の割合が95%を超えているのは「生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット」(99.1%)、「コンビニエンスストア」(95.8%)の2項目です。



【質問 10- (1)】クロス集計結果：居住地区（和地区）

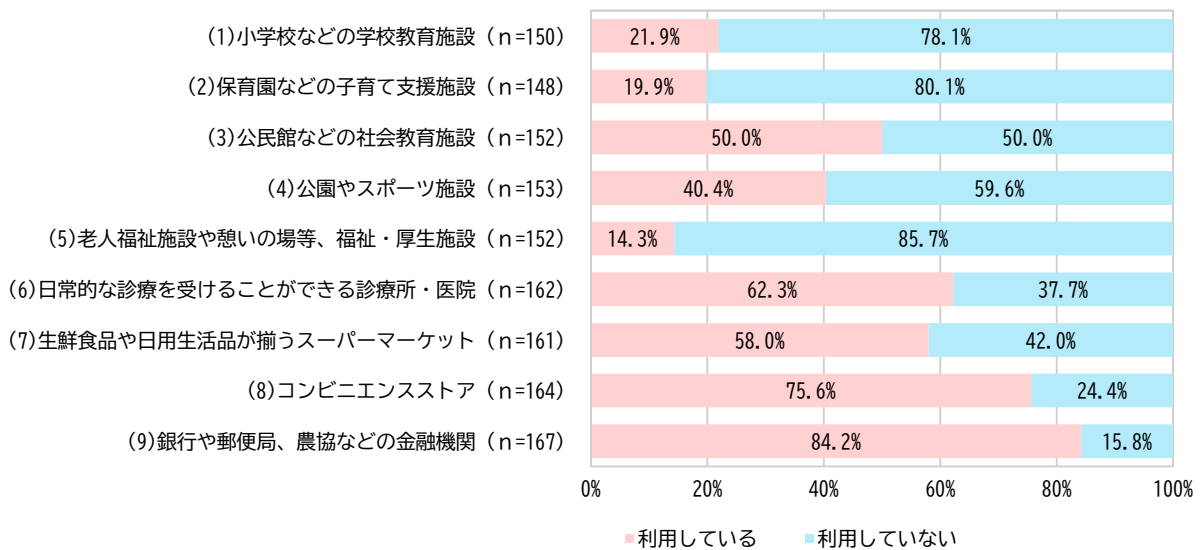


【質問 10- (2)】クロス集計結果：居住地区（和地区）

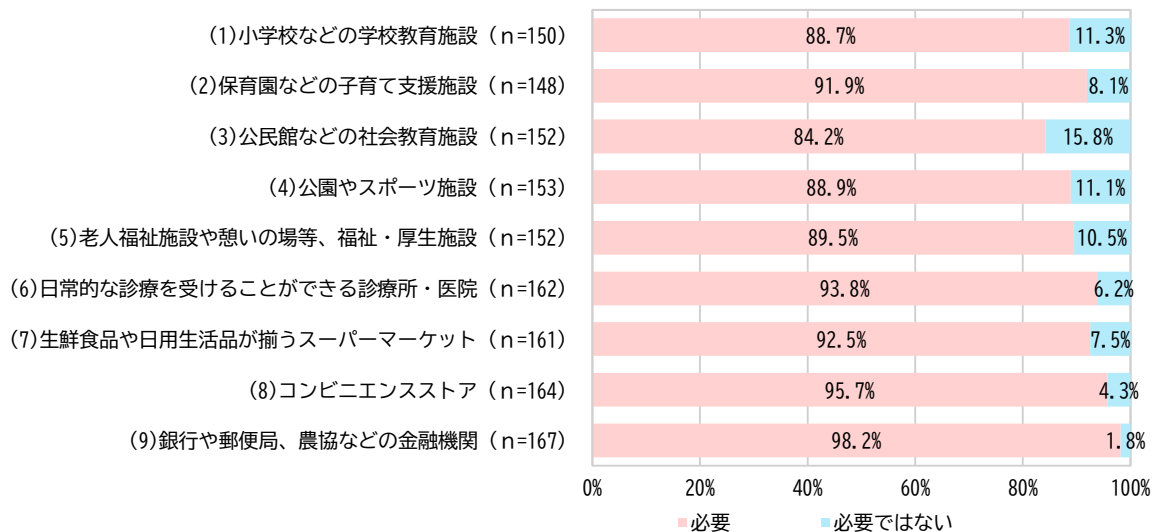
北御牧地区

「利用している」の割合が特に高いのは、「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(84.2%)、「コンビニエンスストア」(75.6%)となっています。一方で「利用していない」の割合が特に高いのは「老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設」(85.7%)、「保育園などの子育て支援施設」(80.1%)、「小学校などの学校教育施設」(78.1%)となっています。

今後も住み続けるにあたって必要な施設で、「必要」の割合が95%を超えているのは「銀行や郵便局、農協などの金融機関」(98.2%)、「コンビニエンスストア」(95.7%)の2項目です。



【質問 10- (1)】クロス集計結果：居住地区（北御牧地区）



【質問 10- (2)】クロス集計結果：居住地区（北御牧地区）

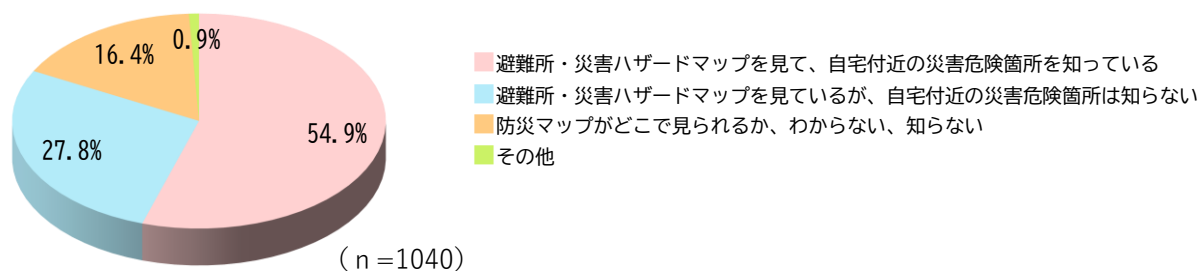
2-5 安心・安全なまちづくりについて【質問 11~12】

(1) ハザードマップについて【SA】

質問 11	東御市では、洪水や土砂災害、地震等に係る災害危険箇所や、避難場所などをまとめた「東御市避難所・災害ハザードマップ」を作成し、公表しています。あなたは避難所・災害ハザードマップを見たことがあるか教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください。)
-------	---

① 単純集計

約半数の回答者は、「避難所・災害ハザードマップを見て自宅付近の災害危険箇所を認識している」と回答しています。一方「防災マップをどこで見られるかわからない、知らない」も 16.4%となっており、更なる普及啓発が必要といえます。



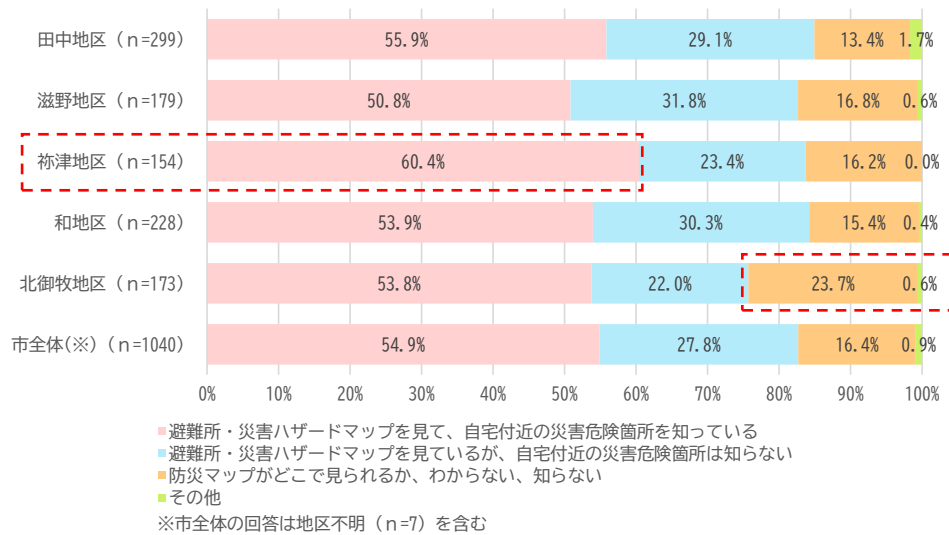
【質問 11】単純集計結果

【質問 11】「その他」回答一覧

その他	<ul style="list-style-type: none"> ● ハザードマップを見たことがない、あまり関心がないなど (4 件) ● ハザードマップを見ると現実的な設定と思えない ● ハザードマップは見ないけど災害危険箇所は分かる ● この災害はないと考えている ● 避難場所わかっているが遠い ● 東御市の避難所が近くない。海善寺 ● ハザードマップを見て避難所も知っているが、避難所が急傾斜地崩壊特別警戒区域に指定されており、避難所の意味があるのかわからない ● わからなすぎる！全然浸透していない
-----	--

② クロス集計：居住地区

居住地区別の傾向をみると、「避難所・災害ハザードマップを見て自宅付近の災害危険箇所を認識している」の回答割合が最も大きかったのは祢津地区となっています。また、「防災マップをどこで見られるかわからない、知らない」の割合が最も高かったのは北御牧地区となっており、認知度の向上が課題といえます。



【質問 11】 クロス集計結果：居住地区

(2) 近年、頻発・激甚化する自然災害について

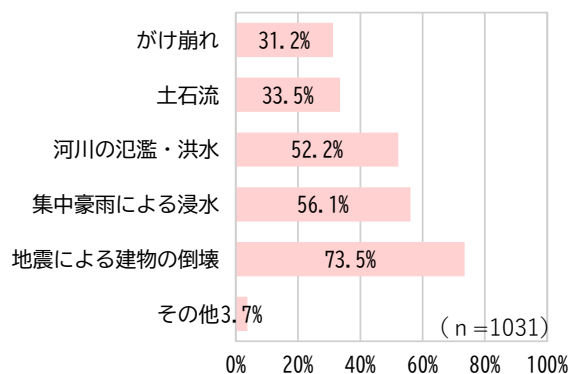
質問 12	<p>近年、頻発・激甚化する自然災害について、教えてください。</p> <p>(1) 以下の中で、身近で危険な災害だと思っているものはどれですか。 (該当する番号全てに○を付けてください。)【MA】</p> <p>(2) 災害が発生したときの避難場所と避難方法をどのように考えているか 教えてください。【SA】</p> <p>① 避難場所 (1つに○)</p> <p>② 避難方法 (1つに○)</p> <p>(3) 防災・減災に必要な対策だと思うものを教えてください。【MA】 (該当する番号全てに○を付けてください。)</p>
-------	---

① 単純集計

(1) 身近で危険な災害としての認識

「地震による建物の倒壊」が73.5%で最も高くなっており、次いで、「集中豪雨による浸水」(56.1%)、「河川の氾濫・洪水」(52.2%)の順となっています。

その他の回答では、台風・豪雨・強風・洪水などが挙げられています。



【質問 12- (1)】単純集計結果【MA】

【質問 12- (1)】「その他」回答一覧

台風・豪雨 ・強風・洪水	<ul style="list-style-type: none"> ● 竜巻 ● 風による被害→窓ガラスに物があたり割れる等 ● 台風等による強風など (4 件) ● 台風や突風による家屋の倒壊 (2 件) ● 湯の丸水系の水路が多く豪雨等が心配 ● 大雨による道路・土地などの陥没等 ● 大雨による氾濫、家の浸水 ● 金原川の護岸の決壊 ● 田畑の土手の大雨による崩れ
大雪	<ul style="list-style-type: none"> ● 大雪・豪雪 (5 件)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 酷暑による熱中症など (3 件) ● 地崩れ、地すべり (2 件) ● 浅間山の噴火による影響など (3 件) ● 地震によるブロック塀などの倒壊 (2 件) ● 道路による。騒音、振動 ● 児玉山付近の大規模太陽光発電施設の設置 ● 御堂のワイン畑が流れないか心配 ● 家の裏が1 m 3 0 c m高いので雨降ると心配

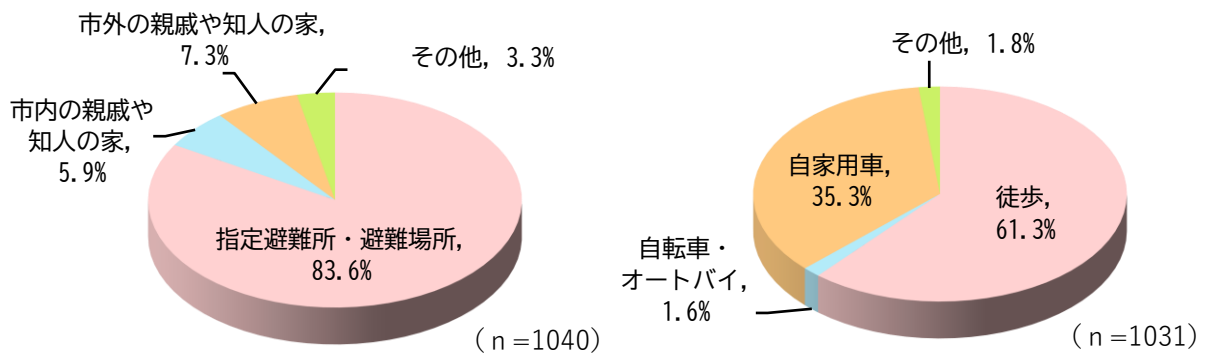
(2) 避難場所と避難方法

①避難場所

「指定避難所・避難場所」が83.6%で最も高くなっています。また、その他の意見では、避難所に行かない旨の回答が見られました。その要因としてはペットとの同伴の可否や、避難所の環境が挙げられています。

②避難方法

「徒歩」が61.3%で最も高くなっており、次いで、「自家用車」が35.3%となっています。その他の意見では「介助が必要」、「障がい者がいるため民生委員に連絡している」などがあり、災害時に配慮が必要な方への対応等が必要といえます。



【質問 12- (2) ①】 単純集計結果【SA】 【質問 12- (2) ②】 単純集計結果【SA】

【質問 12- (1) -①】 「その他」回答一覧

避難しないなど	<ul style="list-style-type: none"> ● 自宅にいる、避難所に行けない、避難しない (14 件)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉避難所 ● 人口の割に収容キャパが小さい ● 災害が発生した場所により決める ● 高台のホテル ● 公民館が狭すぎる ● 学校 ● 家族で話し合う ● 遠いので心配

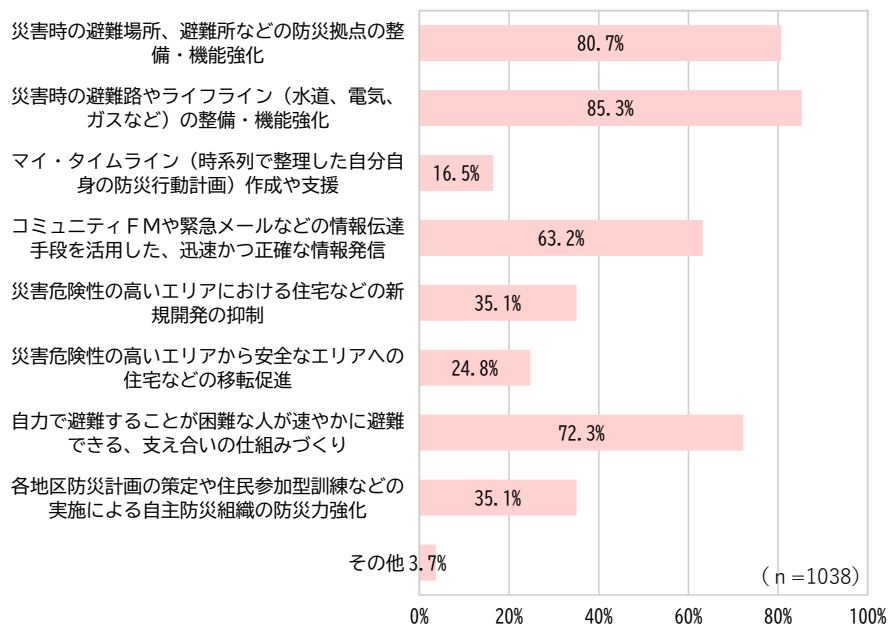
【質問 12- (2) ②】 「その他」回答一覧

その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 徒歩又は車 (4 件) ● 避難しない、できない (4 件) ● 介助が必要 ● 家族と話し合う ● 障がい者がおり、民生委員に協力依頼している。 ● 距離による
-----	--

(3) 防災・減災に必要な対策

「災害時の避難路やライフライン（水道、電気、ガスなど）の整備・機能強化」が85.3%で最も高くなっており、次いで、「災害時の避難場所、避難所などの防災拠点の整備・機能強化」（80.7%）、「自力で避難することが困難な人が速やかに避難できる支え合いの仕組みづくり」（72.3%）の順となっています。

避難路やライフライン、防災拠点など主にハード面での機能強化が求められています。また、その他の意見は多岐にわたっており、災害時の安全性確保に向けた市の取り組みについて住民と共有しておくことが必要といえます。



【質問 12- (3)】単純集計結果

【質問 12- (3)】「その他」回答一覧

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ペットなどの動物と避難できる場所 (3 件) ● 市や区による防災備蓄の設置や拡充など (3 件) ● 地区外の人への避難受け入れ ● 有事には、休める場所と食料 ● 地区ごとの災害時マニュアル作成、増水対策 ● 耐震住宅リフォーム支援 ● 耐震調査への支援 ● 防災ラジオが全く活用されていない ● 東御市公式 X や L I N E の有効活用 ● 児玉山付近の大規模太陽光発電施設の設置 (緊急撤去を含む) ● 高速道路の開通によりハザードマップが現状を示していない → 高速が提防的役割をしている ● 形骸化している防災訓練の見直し ● 障がい者や高齢者を含めた避難訓練 ● 障がい者へのフォロー (障がい者 (又は児) の家族への手助け) ● 消防団の強化 (人員・備品の強化) ● 機動的な行動の出来る生活援助チームをつくる ● 土石流、がけ崩れ等による孤立対策。 ● 道が浸水しないように整備する ● D 級可搬ポンプの整備。 ● 河川の氾濫を未然に防ぐため、雑木林や外来植物の伐採、除去 ● 家屋と家屋の間の余裕ある敷地 ● 経験した事が無いので、実際にはパニックになって何もできない。 ● 住民が気付いてる危険カ所を各地区の役員に集められる ● 災害発生時に市役所がちゃんと機能するか心配 ● 各家庭で防災について話し合うことが必要 ● 個人情報厳しくて他の人の事情がわからない ● 過去の災害から学ぶ事 ● 市民ひとりひとりの防災・減災能力の育成
------------	--

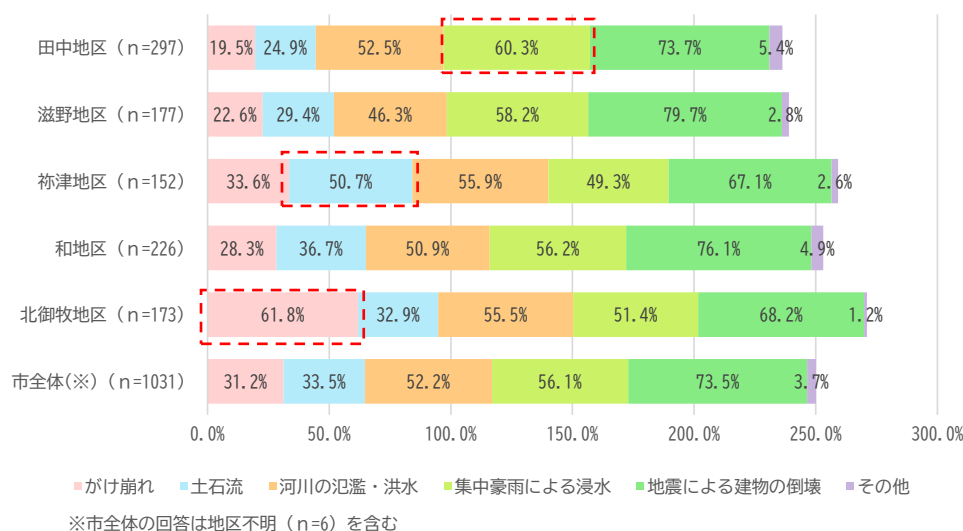
② クロス集計：居住地区

(1) 身近で危険な災害としての認識

すべての地区で「地震による建物の倒壊」が最も多くなっています。

「がけ崩れ」は北御牧地区で、「土石流」は祢津地区、「集中豪雨による浸水」については田中地区でそれぞれ回答の割合が高くなっています。

また、「河川の氾濫・洪水」は滋野地区以外の地区で50%以上となっています。

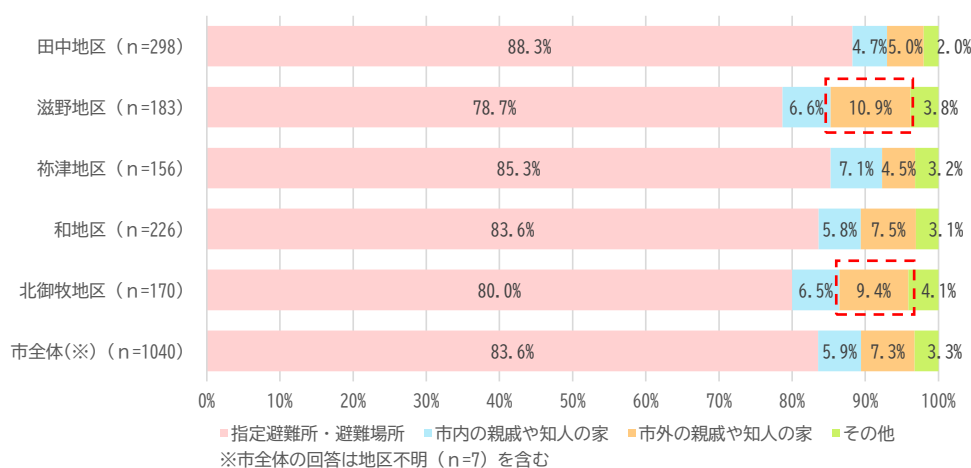


【質問 12- (1)】クロス集計結果：居住地区

(2) 避難場所と避難方法

①避難場所

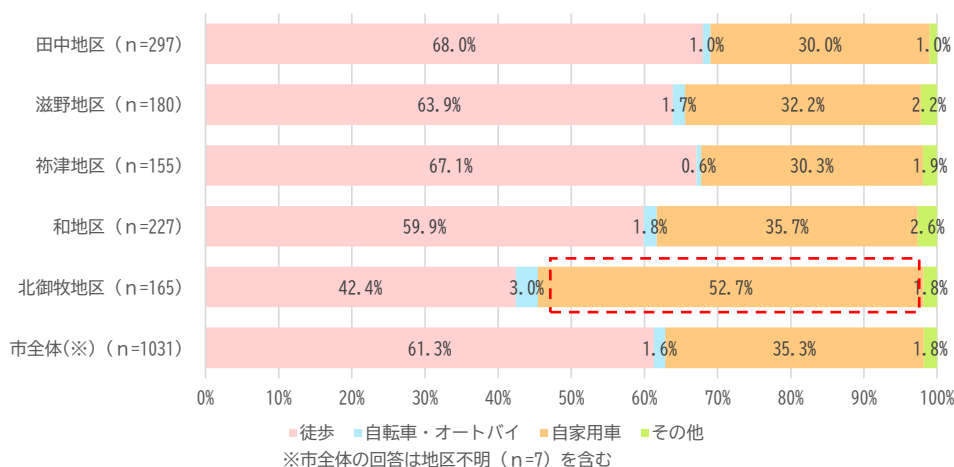
すべての地区で「指定避難所・避難場所」が概ね80%以上となっています。また、滋野地区及び北御牧地区は、「市外の親戚や知人の家」の回答割合が10%前後で、他地区に比べて高くなっています。



【質問 12- (2) -①】クロス集計結果：居住地区

②避難方法

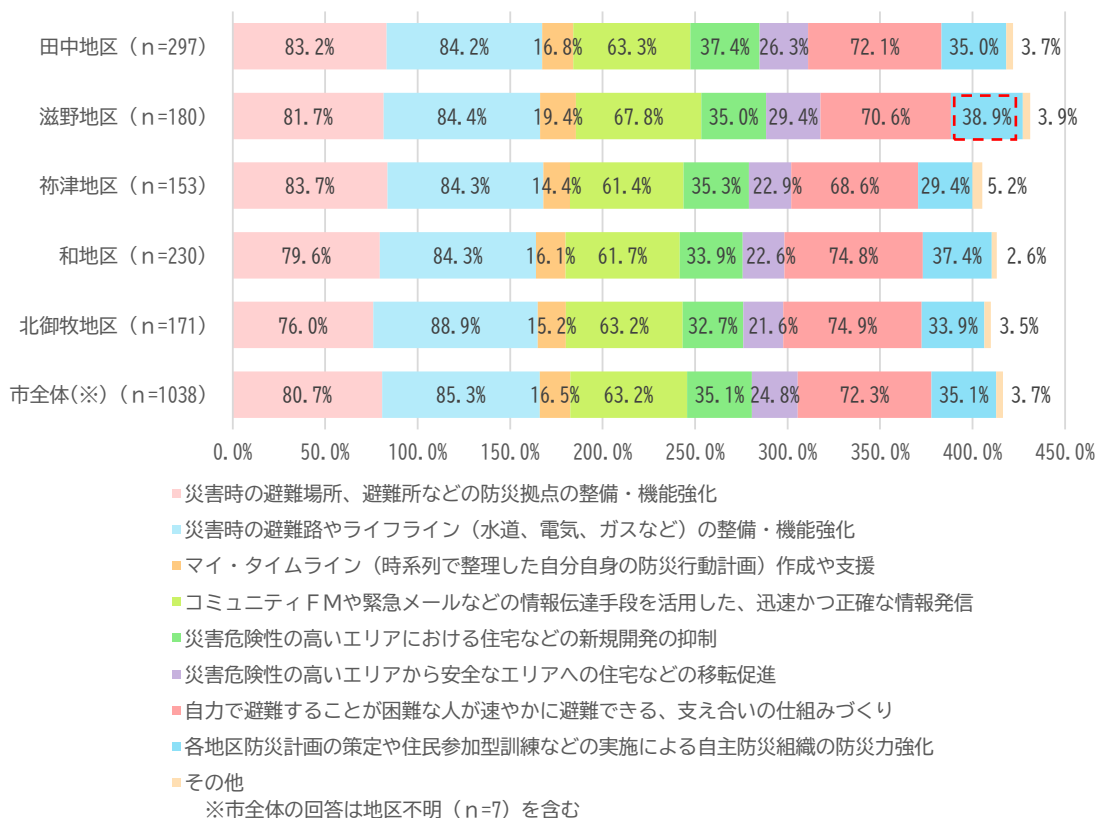
「徒歩」が61.3%で最も多くなっており、次いで、「自家用車」が35.3%となっています。その他の意見では「介助が必要」、「障がい者がいるため民生委員に連絡している」などがあり、災害時に配慮が必要な方への対応等が必要といえます。



【質問 12- (2) -②】クロス集計結果：居住地区

(3) 防災・減災に必要な対策

各地区で、傾向に大きな差は見られません。「各地区防災計画の策定や住民参加型訓練などの実施による自主防災組織の防災力強化」については、滋野地区が38.9%で最も高くなっています。



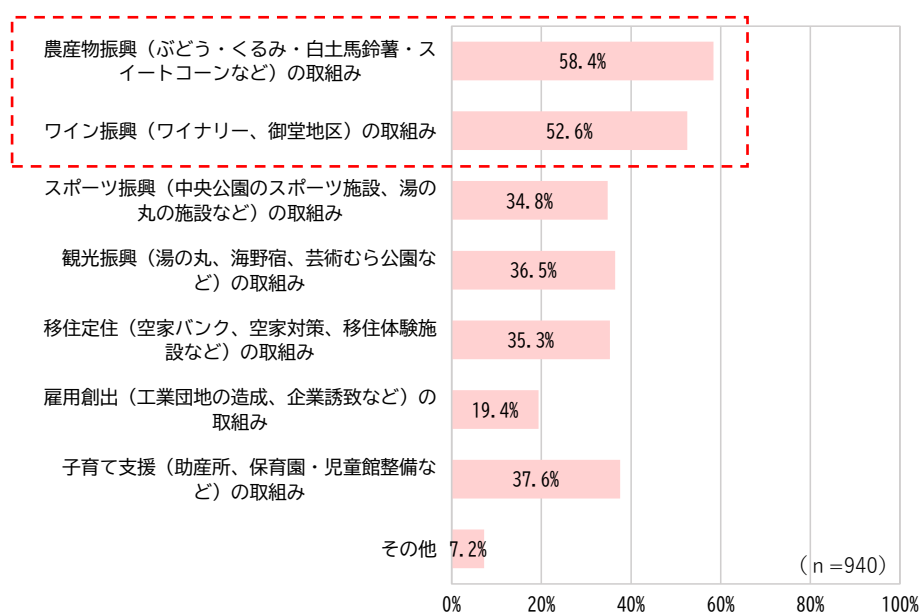
【質問 12- (3)】クロス集計結果：居住地区

2-6 東御市における人口の定着の取組みについて【質問13】【MA】

質問 13	御市では人口定着のために様々な取組みをしていますが、その効果を実感しているものを教えてください。（該当する番号全てに○を付けてください。）
-------	---

① 単純集計

「農産物振興（ぶどう・くるみ・白土馬鈴薯・スイートコーンなど）の取組み」が58.4%で最も多く、次いで、「ワイン振興（ワイナリー、御堂地区）の取組み」（52.6%）の食に関する項目が上位となっています。以下、子育て支援（37.6%）、観光振興（36.5%）と続いています。



【質問13】単純集計結果

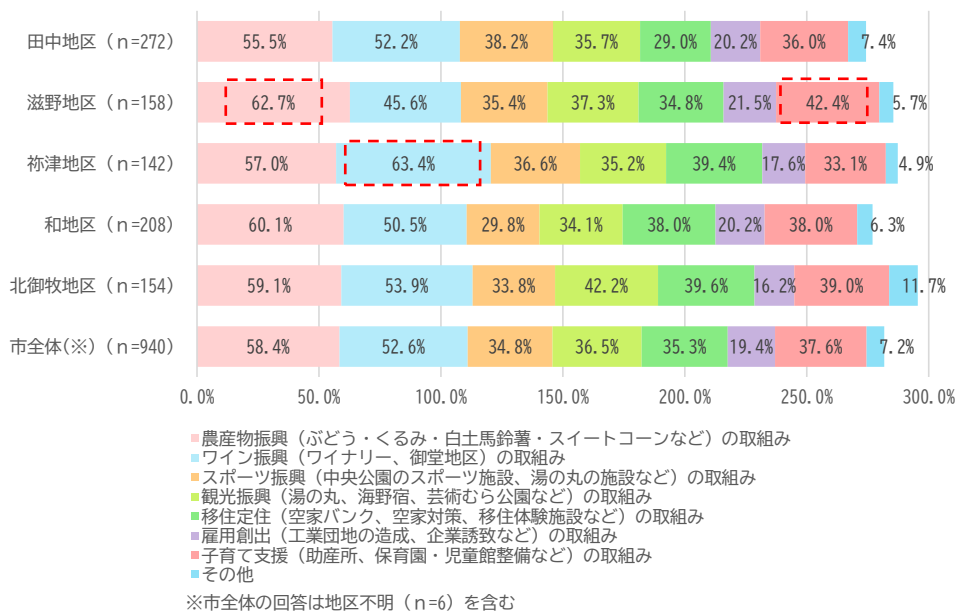
【質問13】「その他」回答一覧

実感がないなど	<ul style="list-style-type: none"> ● 効果を実感していないなど（28件） ● 取組みを知らない、分からないなど（7件） ● 人口定着の実感なし。地域の人口流出のみ実感 ● 人口が減少している。東御市をアピールすることがなくないか。 ● 定着しているとは思えない <p>※コストコとかIKEAの出店があれば相乗効果があると思う</p>
新規就農	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規就農者が区民となり活動していて大変良いと思う ● 移住や就農支援・相談 ● 新規就農者、自営業者の移住が多い。ここにもっと補助、給付、支援、相談体制などが整っていれば、より効果がある。
助成金	<ul style="list-style-type: none"> ● 新婚助成金 ● 支援金、お祝金、こども手当、障がい者（児）の家族への支援金の充実 ● 義務教育の給食費無償化 ● 東御市で頑張っている人を応援し支援してほしい。移住者やワイン生産者のみを優遇しすぎていると思う。もっと地元で東御市が好きで頑張っている人たちを応援、支援してほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働環境が、公正であれば、仕事をやめないで居つく ● 民生委員の強化、ひん度（訪問回数） ● 農業をしてくれる人、家の草取りなどをしてくれる人がほしい ● 自然が豊か（2件） ● 景観の良さ

	<ul style="list-style-type: none"> ● 区への負担が多く存続が難しい。ベッタウン化の人口増加に取り組んで。少子高齢化の区への補助優遇を願う ● 温泉施設 ● 北御牧地区（八重原）にスーパーやコンビニがほしい ● Uターンしたくなる実家、まず流出をさせないことが必要 ● SNSなどを使った市のPR活動 ● 移住促進面での行政と市民の協働、市外・県外での東御市のPRやインターネットでの発信
--	---

② クロス集計：居住地区

「農産物振興（ぶどう・くるみ・白土馬鈴薯・スイートコーンなど）の取組み」は滋野地区「ワイン振興（ワイナリー、御堂地区）の取組み」は祢津地区、「子育て支援（助産所、保育園・児童館整備など）」は滋野地区でそれぞれ回答割合が最も高くなっています。

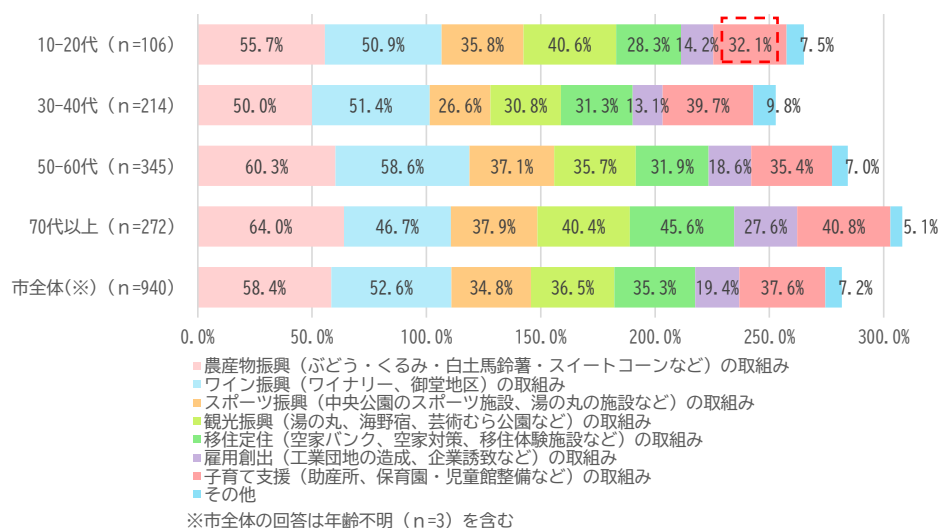


【質問 13】 クロス集計結果：居住地区

③ クロス集計：年代別

各年代とも「農産物振興（ぶどう・くるみ・白土馬鈴薯・スイートコーンなど）の取組み」、「ワイン振興（ワイナリー、御堂地区）の取組み」が上位となっています。

「子育て支援（助産所、保育園・児童館整備など）」は10-20代での回答割合は比較的低くなっており、より理解を得るためのPRが必要と思われます。

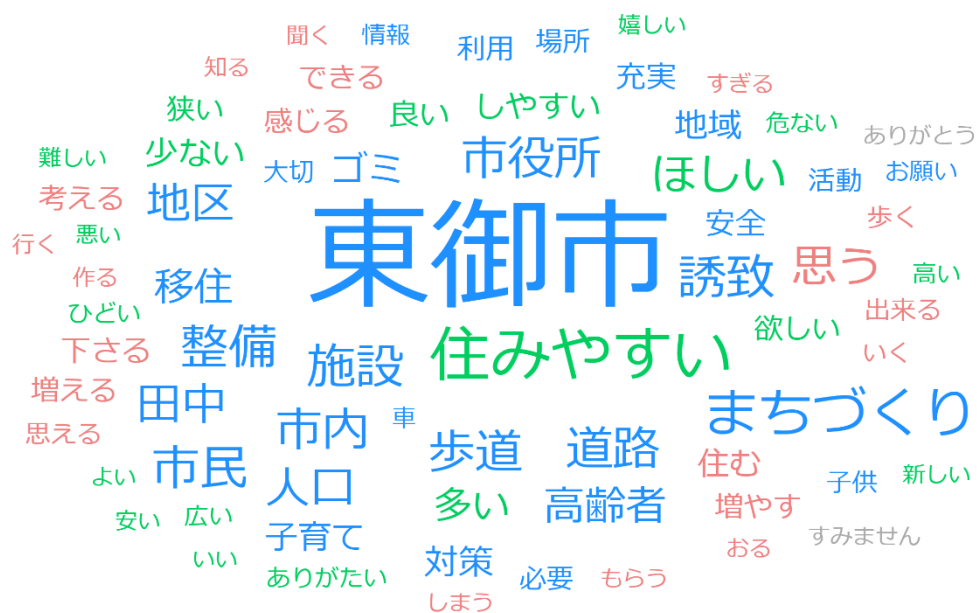


【質問 13】 クロス集計結果：年代

(2) 田中地区（意見件数：138人）

項目	概要
道路整備と交通安全	・「南北の連絡道路が整備されていない」や「歩道の整備など歩く人が安心できる町づくりをお願いしたい」といった意見があり、交通の安全性や歩行環境の改善が求められています。
公共施設の充実	・「スポーツ施設が増えることを願う」や「市民プールや小学校の整備等、もっと公共の設備にお金をかけても良い」といった要望があり、子供や高齢者が利用できる施設の充実が求められています。
子育て支援と移住促進	・「子育て支援をもう少し充実させて欲しい」との意見があり、特に若い世代が住みやすい環境作りが重要視されています。 ・「移住しやすい環境作りを今後も強化を求めます」との声もあります。
空き家や耕作放棄地の活用	・「空き家が多い」「耕作放棄地の活用」といった意見があり、空き家の有効活用や耕作放棄地の再利用が求められています。
市民とのコミュニケーション	・「市役所の雰囲気が悪い」との意見があり、市民とのコミュニケーションを強化し、住民主体のサービス向上が求められています。全体として、地域の安全性や公共施設の充実、子育て支援、空き家対策、行政の透明性と市民との対話が重要なテーマとして挙げられています。

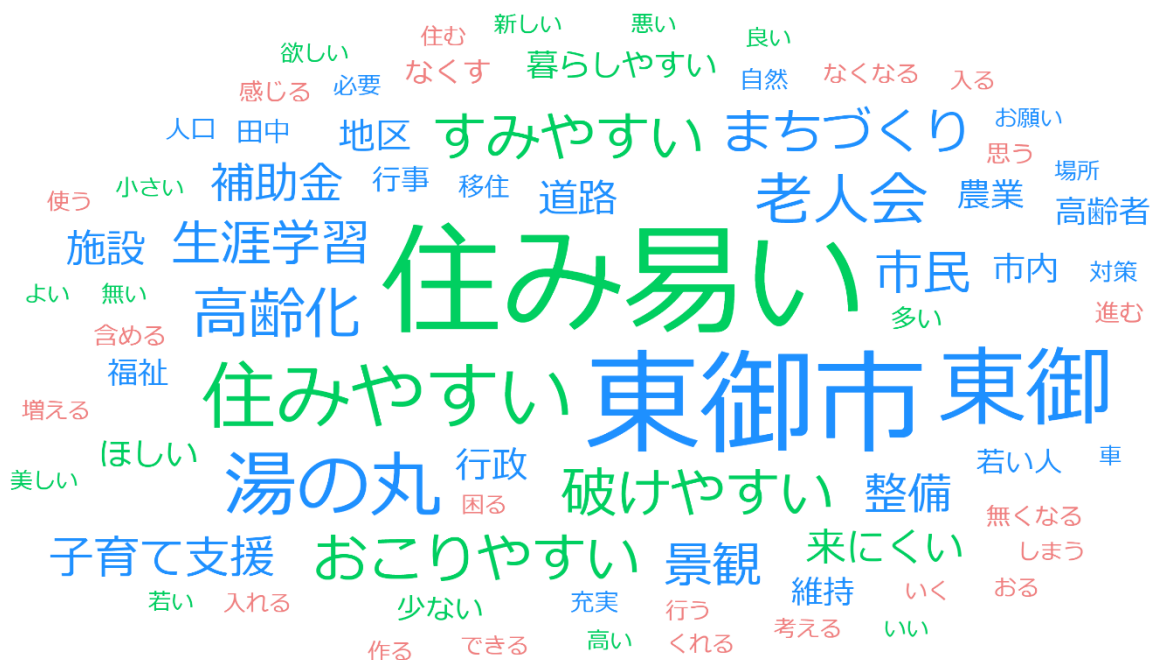
【ワードクラウドによる展開図】



(4) 祢津地区（意見件数：71人）

項目	概要
防災情報の伝達の改善	・「9月1日の防災訓練中止連絡は、区長経由でなく、防災ラジオで実施してほしい。」市民は中止の連絡が伝わりにくいと感じており、情報伝達の改善を求めています。
市民参加の必要性	・「今後は計画、立案段階での市民参加が必要。」市民は計画段階からの参加を重視しており、特に河川改修などの公共事業において市民の意見を反映させることを求めています。
子育て支援と医療の充実	・「子育て支援を唱えるならば、保育園、小中学校の給食費を無償に、病院窓口支払い500円をなくすなど思い切った方策をしないと効果は望めない。」市民は子育て支援や医療サービスの充実を強く求めています。
地域の魅力と環境保護	・「この景観を維持することが、この地に住む者の権利であり義務だと思います。」市民は自然環境の保護と地域の美しさを維持することを重要視しています。
公共交通機関の充実	・「公共交通機関をもっと充実させる必要がある。」市民は特に夜間の交通手段の不足を指摘し、経済活動や外食の機会を増やすための改善を求めています。

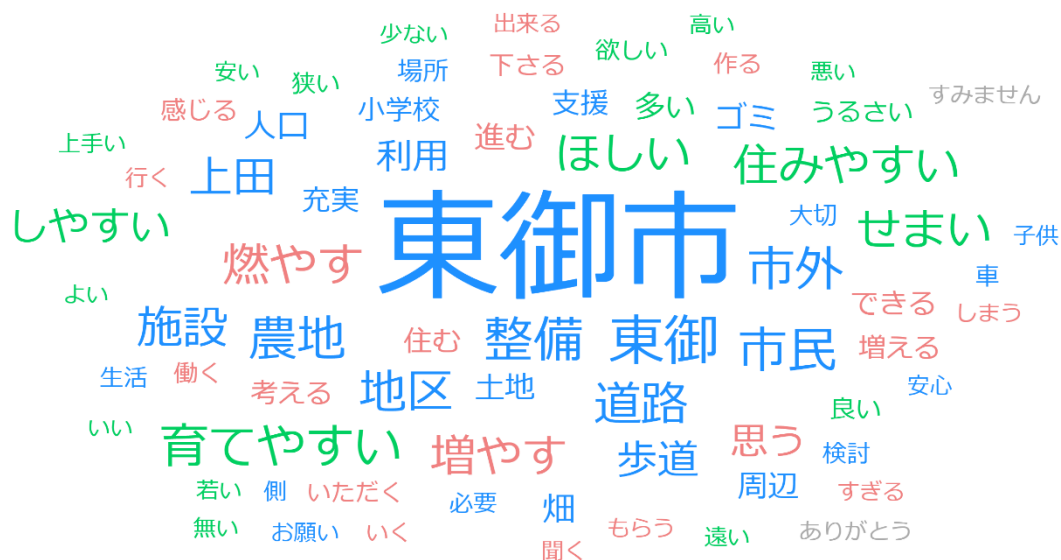
【ワードクラウドによる展開図】



(5) 和地区 (意見件数 : 95 人)

項目	概要
子育て支援の見直し	・「お金を支給する子育て支援はやめてほしい」との意見があり、補助金だけではなく、育てやすい環境の整備が求められています。
交通と移動手段の改善	・「車社会ですが高齢化が進み運転に不安を抱える方々が多くなっています」との声があり、公共交通機関の充実や道路の整備が求められています。
地域の活性化	・「田中駅の周りだけが発展している」との意見があり、他の地域の発展や、若者が集まるカフェや遊び場の設置が望まれています。
高齢者支援と福祉施設の増設	・「高齢者が増えており、自宅療養できなくなった時に入所できる施設を増してほしい」との要望があり、福祉施設の充実が求められています。
市民の声を反映したまちづくり	・「市民の生活に影響のある箱物等は事前に知らせ、話し合う時間を作るべきではないか」との意見があり、市民の意見を反映した透明性のある行政運営が求められています。

【ワードクラウドによる展開図】



3 【参考】第3次東御市総合計画にかかる市民意識調査

3-1 過年度アンケート調査の再集計について

今回の調査では、令和4年(2022年)9月に実施した「第3次東御市総合計画にかかる市民意識調査」で調査済みの質問事項を割愛しました。このため、今回の調査で割愛した質問項目を再集計しました。

3-2 過年度アンケート調査の概要

調査名	第3次東御市総合計画にかかる市民意識調査
調査対象者	東御市内在住の16歳以上の方 2,500人
対象者の抽出方法	無作為抽出
実施期間	配布：令和4年(2022年)9月12日 回収期限：令和4年(2022年)9月30日
配布・回収方法	配布：郵送による配布 回収：① 郵送による回答(回収) ② インターネット(Web)による回答(回収)
配布・回収数	配布数：2,500票 回収数：865票(回収率34.6%) ・郵送回収：648(74.9%) ・Web回答：217(25.1%)

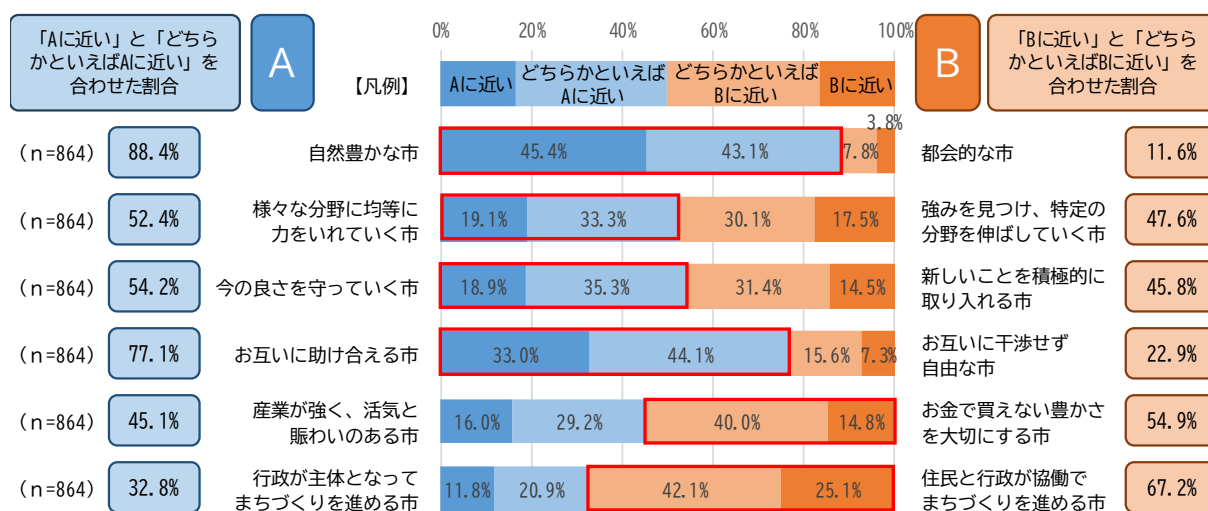
3-3 アンケート結果

(1) 理想の東御市イメージ【SA】

質問 (3)	東御市は10年後にどのような市になっているべきだと思いますか。	
	A	B
	自然豊かな市	都会的な市
	様々な分野に均等に力をいれていく市	強みを見つけ、特定の分野を伸ばしていく市
	今の良さを守っていく市	新しいことを積極的に取り入れる市
	お互いに助け合える市	お互いに干渉せず自由な市
	産業が強く、活気と賑わいのある市	お金で買えない豊かさを大切にする市
	行政が主体となってまちづくりを進める市	住民と行政が協働でまちづくりを進める市

① 単純集計

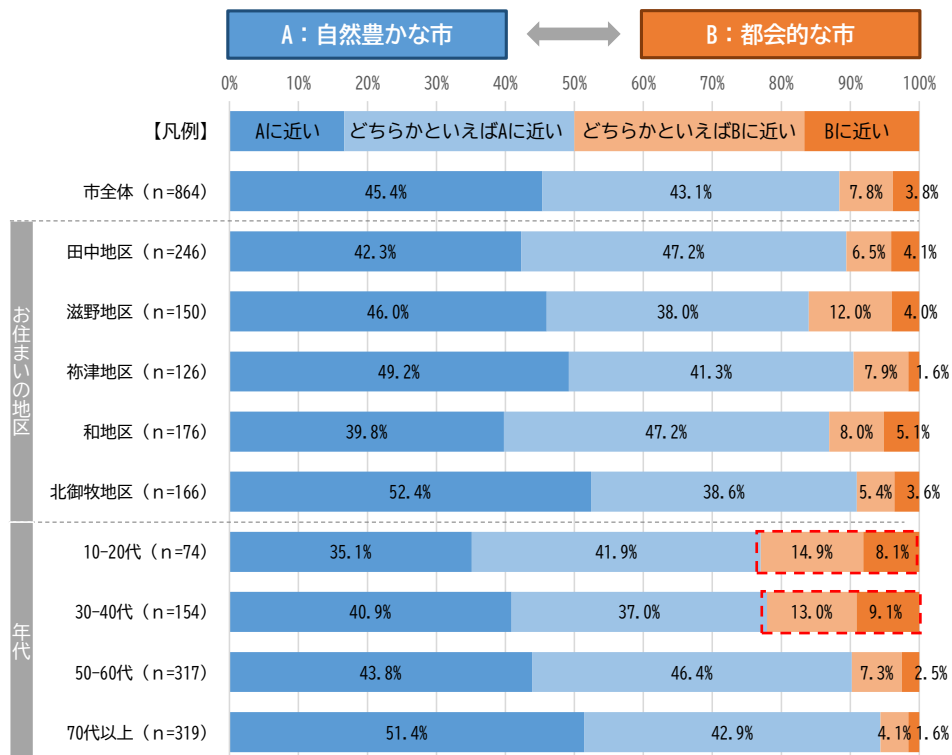
理想の東御市のイメージについては、「都会的な市」(11.6%)より「自然豊かな市」(88.4%)、「お互いに干渉せず自由」(22.9%)より「お互いに助け合える市」(77.1%)、「行政が主体となってまちづくりを進める市」(67.2%)より「住民と行政が協働でまちづくりを進める市」(32.8%)が優位となっています。



【質問 (3)】単純集計結果

② クロス集計：居住地区・年代

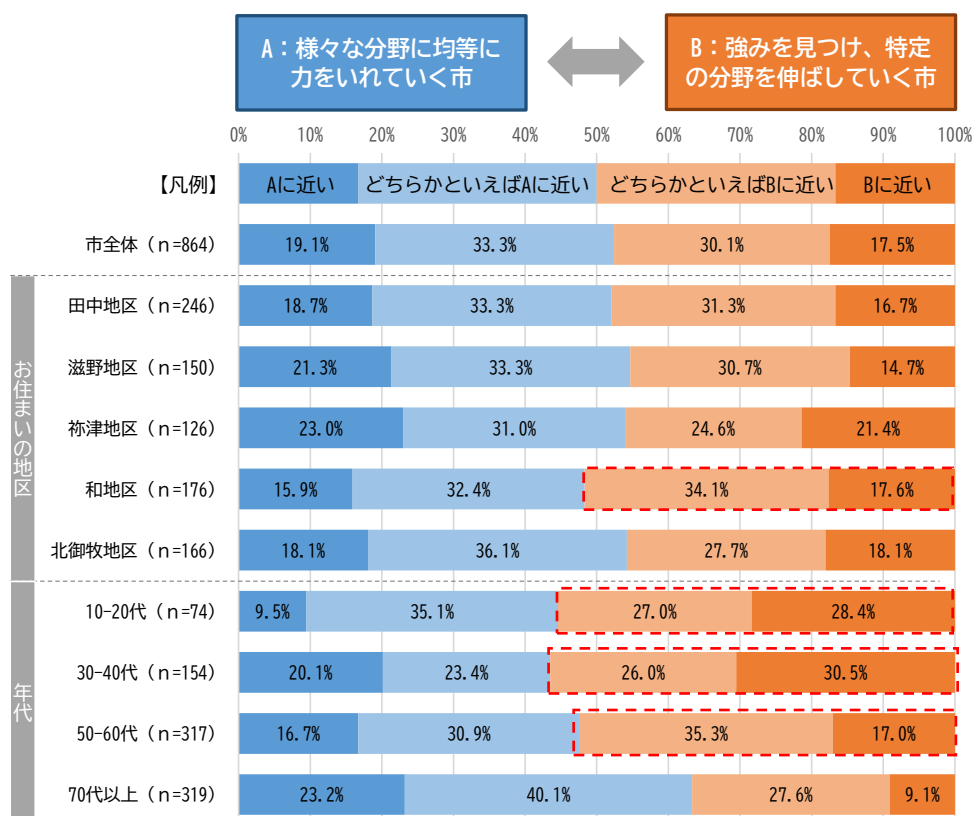
都市の姿についてみると、全体的に「自然豊かな市」が望ましい傾向となっています。年代別では10代から40代は「都会的な市」の割合がやや高くなっています。



【質問（3）】クロス集計結果

まちづくりの取り組み方では、田中地区、滋野地区、祢津地区、北御牧地区では「様々な分野に均等に力をいれていく市」がやや多く、和地区では「強みを見つけ、特定の分野を伸ばしていく市」が多くなっています。

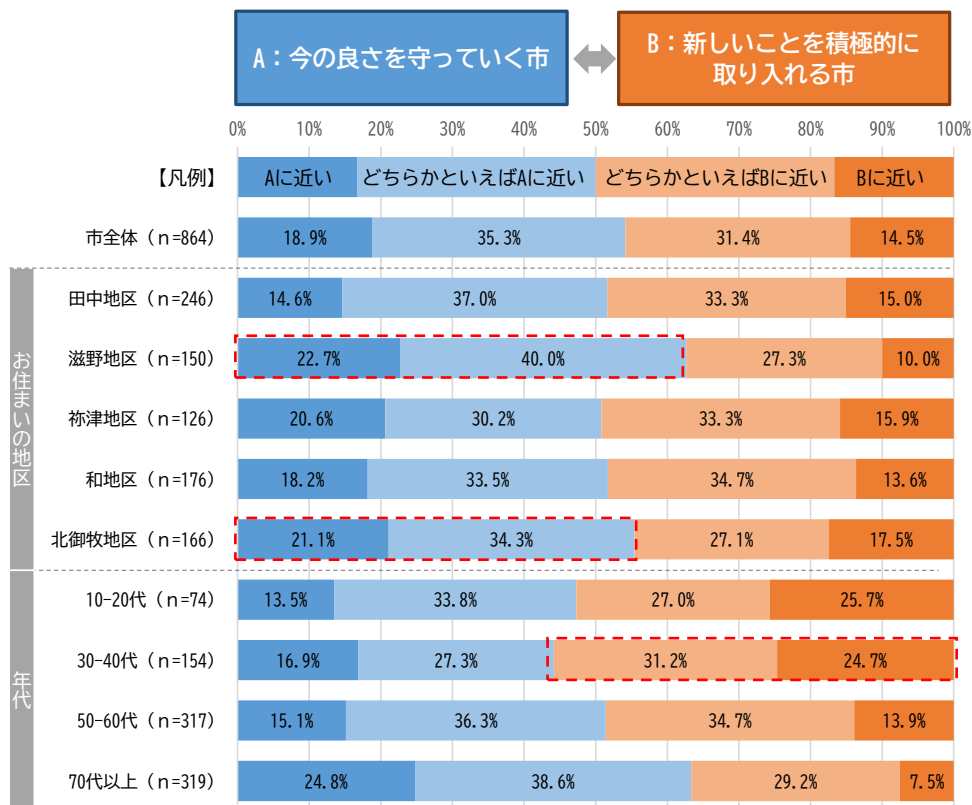
年齢別では、10代から60代にかけて「強みを見つけ、特定の分野を伸ばしていく市」の割合が高くなっています。



【質問（3）】クロス集計結果

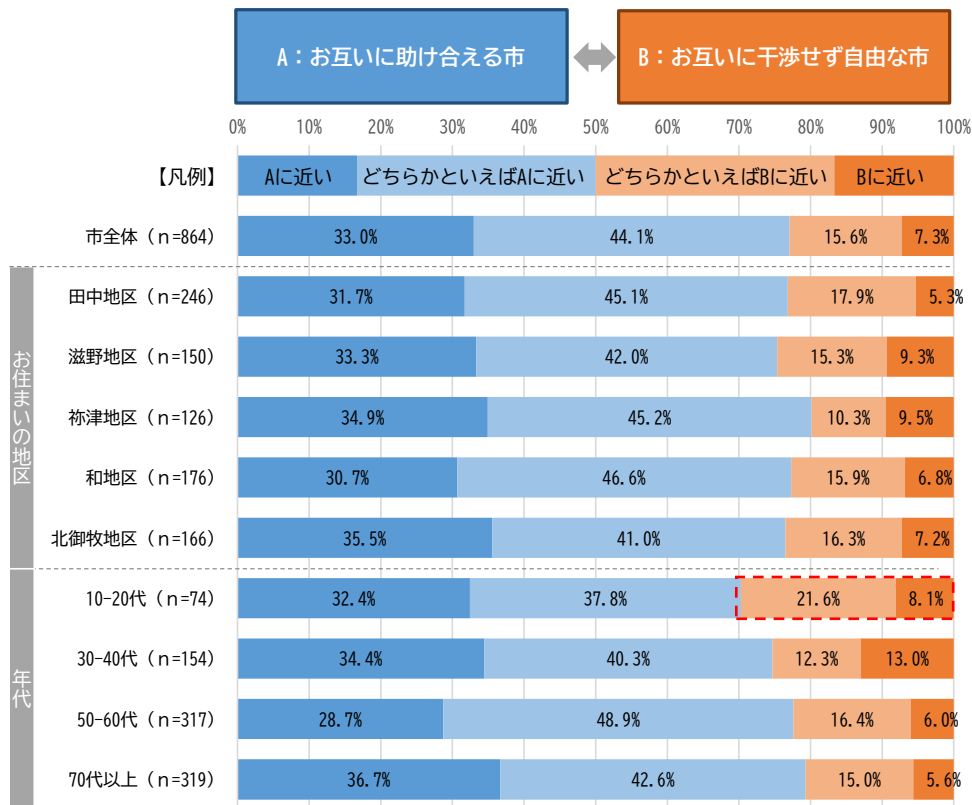
まちづくりの視点では、滋野地区や北御牧地区では「今の良さを守っていく市」が望まれる傾向が強く、他の地区では、概ね均衡しています。

年齢別では、30代から40代は「新しいことを積極的に取り入れる市」の割合が高く、70代以上は「今の良さを守っていく市」の割合が高くなっています。



【質問（3）】クロス集計結果

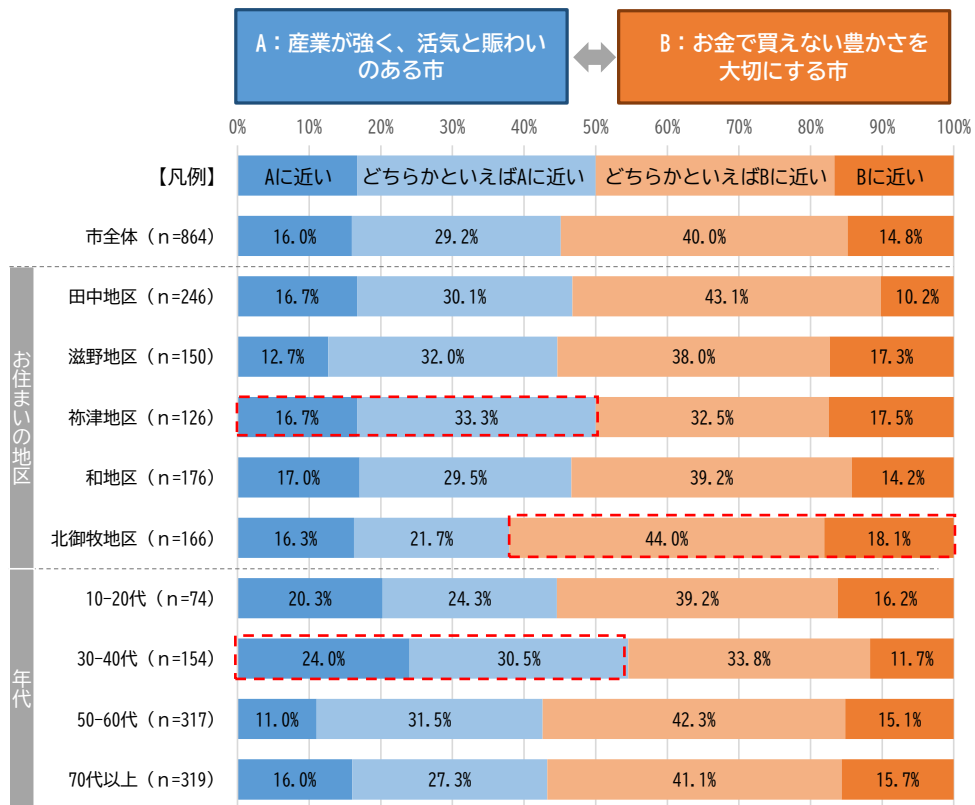
共助の関係については、全般的に「お互いに助け合える市」が望ましいとなっています。
 年齢別も同様の傾向ですが、10-20代では、「お互いに干渉せず自由な市」の割合がやや高くなっています。



【質問（3）】クロス集計結果

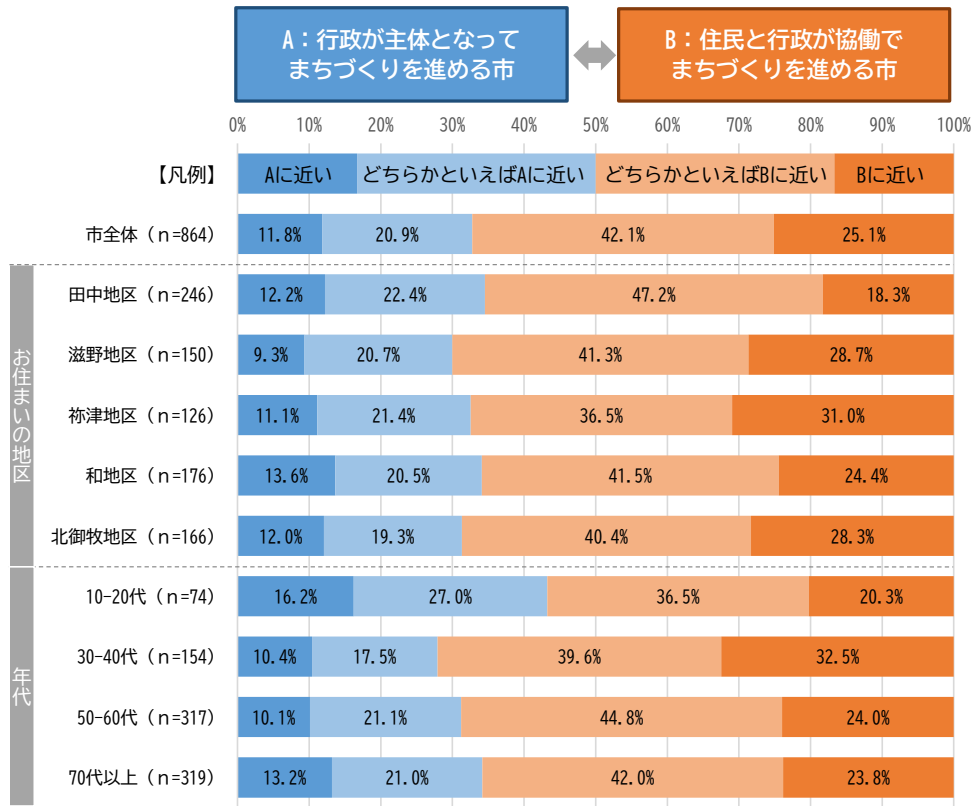
賑わい・豊かさの関係については、全般的に均衡した傾向ですが、祢津地区では「産業が強く、活気と賑わいのある市」がやや高く、北御牧地区では「お金で買えない豊かさを大切にする市」の割合が高い傾向です。

年齢別では、30～40代が「産業が強く、活気と賑わいのある市」の割合が高くなっています。



【質問 (3)】クロス集計結果

協働のまちづくりについては、「住民と行政が協働でまちづくりを進める市」が望まれています。



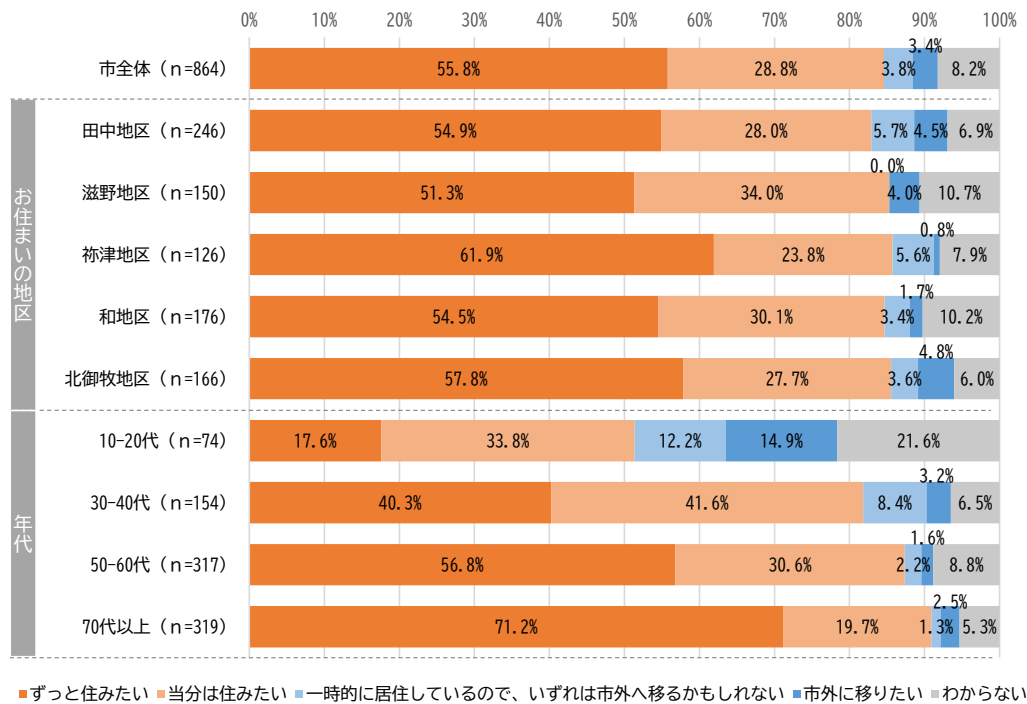
【質問（3）】クロス集計結果

定住意向【SA】

質問（４）	あなたは、これからもずっと東御市に住み続けたいと思いますか。
-------	--------------------------------

③ クロス集計：居住地区・年代

全体では「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」合わせて84.6%となっています。
 居住地別にみても定住意向は高い傾向です。また年代別では、10-20代は移りたい意向がやや高くなっています。また、高い年代ほど定住意向は高い傾向です。



【質問（４）】クロス集計結果

「市外へ移りたい主な理由」

分野	理由	回答数
環境分野	ゴミの分別が周りの市に比べて厳しいから	1
	道路の騒音がひどいから	1
建設・公共交通・水道分野	交通の便が悪いから	2
	公共交通が使いづらく、車に乗れなくなる時が不安だから	2
	坂道が多く不便だから	1
子育て・教育分野	子育て関連の支援に不満があるから	1
	子どもに対するサービス（塾等）が少ないから	1
産業振興分野	お店（スーパー等）が少ないから	4
行財政分野	税金が高いわりに、その恩恵を感じにくいから（一歩遅れていると感じる）	3
	高地プールは失政だと思うから	2
その他	東御市以外でも暮らしてみたいから	3
	都会に行きたいから	2
	故郷に帰りたいから	1
	子どものところに行きたいから	1

市外へ移りたい理由をみると、「交通の便が悪いから」「公共交通が使いにくい」など道路・交通の要因、「お店が少ない」、都市部への憧れ等がみられます。

4 資料編

4-1 アンケート依頼文

東御市のまちづくりに関するアンケート調査 (調査ご協力のお願い)

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、全国的に少子高齢化や人口減少などが進み、社会情勢は大きく変化しています。このような状況の中、「東御市が将来にわたって、住みやすいまちであるためにどのようなことをしていくべきか」ということを検討するため、都市計画に関する基本的な方針となる「東御市都市計画マスタープラン」の見直し及び「東御市立地適正化計画」の策定を進めていくことになりました。

これらの検討にあたり、市民の皆様のまちづくりに対するご意見やご提案などを把握し、計画に反映することを目的として、アンケート調査を実施いたします。

本調査は、市内在住の16歳以上の方から無作為に選ばせていただいた3,500人にご協力をお願いしています。回答は無記名で行い、集計は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答のうへ期限までに返信くださるようご協力をお願い申し上げます。

令和6年9月

東御市長 花岡 利夫

■ ご記入にあたってのお願い

1. アンケートの記入方法について

- ご回答は、宛名にあるご本人がご記入くださいますようお願いいたします。但し、何らかの事情により、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方、介護者の方が代わりにご答えいただいても結構です。なお、**記名は不要**です。
- 回答は、番号を選択していただくものと、ご記入いただくものがあります。()内には、具体的な内容をご記入ください。

2. アンケートの回答方法について

- 本アンケートには、「**A. 郵送による回答**」と「**B. インターネットによる回答**」の2つの回答方法があります。いずれの方法で回答して頂いても構いませんが、どちらか1つの方法にて回答いただきますようお願いいたします。

A. 郵送による回答

- ご記入が終わりましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、ポストにご投函ください。(切手は不要です)

B. インターネットによる回答

- パソコン又はスマートフォンで回答ページにアクセスしていただき、ご回答ください。(回答方法は裏面をご確認ください。)

【回答期限】
10月4日(金)まで
にご投函・ご回答
ください。

■ アンケートに関するお問い合わせ先

東御市 都市整備部 建設課 都市計画係 担当：所、竹花

【電話】0268-62-1111 (代表) / 0268-64-5914 (係直通)

【FAX】0268-64-5881

【メール】kensetsu@city.tomi.nagano.jp (建設課代表)

裏面もご確認ください

■ Web(インターネット)からの回答方法について

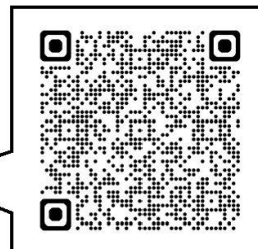
パソコン又はスマートフォン※¹による回答を希望される方は、下記の二次元コード又はURLより、アンケートサイトにアクセスしてご回答ください。

Webにより回答される方は、別紙「調査票」1ページ上段に記載されている4桁の整理番号のご入力をお願いいたします。

Webにてご回答いただいた場合は、同封されている調査票用紙での回答及び返送は不要です。

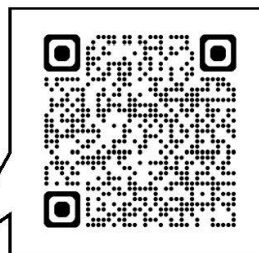
▼ アンケートサイト (Google フォーム)
<https://forms.gle/2VKP8R4nCfL3TaQK7>

※1 対応スマートフォン等 iPhone (iOS10 以降)、
Android 系 (Android 8.0 以降)



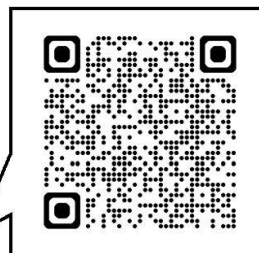
都市計画マスタープランとは

- ◇ 都市計画マスタープランは、おおむね 20 年後の都市の姿を展望しつつ、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的な方向性を示す計画であり、正式名称は、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」(都市計画法第 18 条の 2) といえます。
 - ◇ 東御市では、平成 20 年 6 月に東御市都市計画マスタープランを策定し、「人と自然が織りなす しあわせ交流都市 とうみ」の実現を目指して様々なまちづくりを進めてきました。
 - ◇ 社会情勢の変化や市内の土地利用の変化などを踏まえて、平成 27~28 年度に中間見直しを行い、東御市都市計画マスタープラン改訂版を平成 29 年 3 月に策定していますが、令和 7 年に計画期間が満了することから、計画の見直しに向けた検討を進めています。
 - ◇ 平成 29 年 3 月に策定した東御市都市計画マスタープラン改訂版(現行計画)は、東御市ホームページよりご覧いただけます。
- ▼ [東御市ホームページ](https://www.city.tomi.nagano.jp/category/toshikeikaku/101672.html) (トップページ > 市政全般 > 計画行政 > 都市計画)
<https://www.city.tomi.nagano.jp/category/toshikeikaku/101672.html>



立地適正化計画とは

- ◇ 全国的な人口減少や高齢化等を背景として、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』のまちづくりを推進していくことが重要となっています。こうした背景を受けて、行政と住民や民間事業者が一体となってコンパクトなまちづくりに取り組むため、平成 26 年 8 月に都市再生特別措置法が改正され、「立地適正化計画制度」が創設されました。
 - ◇ 立地適正化計画は、都市再生特別措置法に基づいて都市計画マスタープランの一部と見なされる計画であり、東御市では、都市計画マスタープランの見直しと立地適正化計画の策定に向けた検討を一体的に進めています。
 - ◇ 立地適正化計画の概要は、国土交通省ホームページよりご覧いただけます。
- ▼ [国土交通省ホームページ](https://www.mlit.go.jp/en/toshi/city_plan/compactcity_network.html) (都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画)
https://www.mlit.go.jp/en/toshi/city_plan/compactcity_network.html



今後、東御市ホームページなどを通じて、情報発信を行っていく予定です。

2. 住みやすさなどについて、お尋ねします。

質問 6 「あなたの居住地区」における「住みやすさ」について、どの程度満足しているか（満足度）、どの程度大切と考えているか（重要度）を教えてください。

（○を満足度・重要度に1つずつ付けてください。）

満足度について、「1 非常に満足」から「4 不満」の中で、該当する番号に○をしてください。
重要度も同様に○をしてください。

		満足度				重要度			
		1	2	3	4	1	2	3	4
		非常に満足	ほぼ満足	やや不満	不満	非常に大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない
【回答例】		1	②	3	4	1	2	③	4
土地利用・居住環境	1. ゆとりある住宅地が形成されている	1	2	3	4	1	2	3	4
	2. 住宅地において騒音がなく静かだ	1	2	3	4	1	2	3	4
	3. 住宅地における日当たりが良い	1	2	3	4	1	2	3	4
	4. 空き家・空き店舗が少ない	1	2	3	4	1	2	3	4
	5. 近所で生活に必要な買い物がしやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	6. 働く場所（工場・事業所）に行きやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	7. 宅地と農地のバランスが良い	1	2	3	4	1	2	3	4
道路・交通	8. お年寄りや障がい者でも安全に歩きやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	9. 自転車が安全に走りやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	10. 自動車やバイクが安全に走りやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	11. 市外に行きやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	12. みんなで使う駐車場の場所がわかりやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	13. 近くの駅まで行きやすい	1	2	3	4	1	2	3	4

満足度について、「1 非常に満足」から「4 不満」の中で、該当する番号に○をしてください。
重要度も同様に○をしてください。

		満足度				重要度			
		1	2	3	4	1	2	3	4
		非常に満足	ほぼ満足	やや不満	不満	非常に大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない
公園・緑地	14. 自然があふれている	1	2	3	4	1	2	3	4
	15. 川など水辺空間が身近にある	1	2	3	4	1	2	3	4
	16. スポーツ施設や公園が身近にある	1	2	3	4	1	2	3	4
	17. 子どもの遊び場が身近にある	1	2	3	4	1	2	3	4
	18. 公共施設の緑や街路樹が手入れされている	1	2	3	4	1	2	3	4
	19. 民間施設の緑がたくさんある	1	2	3	4	1	2	3	4
景観	20. 水辺や眺望などの風景が美しい	1	2	3	4	1	2	3	4
	21. 田園風景が美しい	1	2	3	4	1	2	3	4
	22. 寺社や文化財など歴史・文化的景観が美しい	1	2	3	4	1	2	3	4
	23. 駅周辺や街なかの都市景観が美しい	1	2	3	4	1	2	3	4
	24. 道路沿道の街並みが美しい	1	2	3	4	1	2	3	4
	25. 看板や材木などが景観を損ねていない	1	2	3	4	1	2	3	4
安全・安心	26. 河川氾濫や浸水対策が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	27. 土砂災害への対策が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	28. 地震への対策が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	29. 避難場所・避難路の整備が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	30. 地域での防災活動が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	31. まちの防犯対策が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
市民参画等	32. 近所の人と気軽に話せる	1	2	3	4	1	2	3	4
	33. 地域づくりに関する情報提供がされている	1	2	3	4	1	2	3	4
	34. 市民の意見がまちづくりに反映されている	1	2	3	4	1	2	3	4

質問7 「あなたの居住地区」において、快適な生活をするうえで、大切だと思うことを教えてください。(該当する番号を5つ選んで○を付けてください。)

1. 道路の整備	
2. 公園・緑地の整備	
3. スポーツやレクリエーション施設の整備	
4. バスなどの交通手段のさらなる充実	
5. 災害(地震、水害、崖崩れ等)に対する安全対策	
6. 空き地・空き家・空き店舗の解消	
7. ごみ・し尿処理対策	
8. 老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設の整備	
9. 交通事故に対する安全対策 [具体的な対策：① 道路の拡幅 ② 交差点の改良 ③ 歩道の設置 ④ その他()]	
10. 防犯対策 [具体的な対策：① 街灯の設置 ② 防犯カメラの設置 ③ 見回り ④ その他()]	
11. 特に課題はない	
12. その他()	

「9. 交通事故に対する安全対策」、
「10. 防犯対策」を選択した方は、
具体的な対策についても、該当する
番号1つに○を付けてください。

3. 日常の主な行き先や移動方法などについて、お尋ねします。

質問8 以下の(1)～(6)について、主な行き先や移動方法などを教えてください。

(1) 通勤(通学)

▼ 通勤(通学)している方は以下の質問にお答えください。

① 行き先はどこですか? (1つに○、()に記入)	1. 市内(勤務先の地区 :) 2. 市外(勤務先の市町村 :) 3. 通勤(通学)していない ※3を選んだ方は(2)へお進みください
② 主な移動方法は何ですか? (1つに○)	1. 徒歩・自転車 2. 自動車(自分で運転) 3. 家族等の送迎 4. 鉄道 5. バス、デマンド交通 6. その他()
③ 頻度はどのくらいですか? (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週1～2日 3. 月1～2日 4. その他()
④ そこに滞在している時間帯 は何時頃ですか? (該当する番号全てに○)	1. 午前中 2. 12～14時 3. 14～16時 4. 16～18時 5. 18時以降

(2) 食料品など日常の買い物(スーパーマーケットなど)

▼ 食料品など日常の買い物をしている方は以下の質問にお答えください。

① 行き先は主にどこですか? (1つに○、()に記入)	1. 市内(具体的な店舗名 :) 2. 市外(具体的な店舗名 :)
② 主な移動方法は何ですか? (1つに○)	1. 徒歩・自転車 2. 自動車(自分で運転) 3. 家族等の送迎 4. 鉄道 5. バス、デマンド交通 6. その他()
③ 頻度はどのくらいですか? (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週1～2日 3. 月1～2日 4. その他()
④ そこに滞在している時間帯 は何時頃ですか? (該当する番号全てに○)	1. 午前中 2. 12～14時 3. 14～16時 4. 16～18時 5. 18時以降

(3) 食料品以外の買い物（ホームセンター、衣料品、家電など）

▼ 食料品以外の買い物をしている方は以下の質問にお答えください。

① 行き先は主にどこですか？ (1つに○、()に記入)	1. 市内（具体的な店舗名：) 2. 市外（具体的な店舗名：)
② 主な移動方法は何ですか？ (1つに○)	1. 徒歩・自転車 2. 自動車（自分で運転） 3. 家族等の送迎 4. 鉄道 5. バス、デマンド交通 6. その他 ()
③ 頻度はどのくらいですか？ (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週1～2日 3. 月1～2日 4. その他 ()
④ そこに滞在している時間帯 は何時頃ですか？ (該当する番号全てに○)	1. 午前中 2. 12～14時 3. 14～16時 4. 16～18時 5. 18時以降

(4) 医療機関への通院

▼ 医療機関へ通院している方は以下の質問にお答えください。

① 通院先は主にどこですか？ (1つに○、()に記入)	1. 市内（具体的な通院先：) 2. 市外（具体的な通院先：)
② 主な移動方法は何ですか？ (1つに○)	1. 徒歩・自転車 2. 自動車（自分で運転） 3. 家族等の送迎 4. 鉄道 5. バス、デマンド交通 6. その他 ()
③ 頻度はどのくらいですか？ (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週1～2日 3. 月1～2日 4. その他 ()
④ そこに滞在している時間帯 は何時頃ですか？ (該当する番号全てに○)	1. 午前中 2. 12～14時 3. 14～16時 4. 16～18時 5. 18時以降

(5) 金融機関*の利用(入金・出金・振込) ※銀行、郵便局、農協などの窓口機能を有する金融機関

▼ 金融機関（入金・出金・振込）を利用している方は以下の質問にお答えください。

① 行き先は主にどこですか？ (1つに○、()に記入)	1. 市内（具体的な施設名：) 2. 市外（具体的な施設名：)
② 主な移動方法は何ですか？ (1つに○)	1. 徒歩・自転車 2. 自動車（自分で運転） 3. 家族等の送迎 4. 鉄道 5. バス、デマンド交通 6. その他 ()
③ 頻度はどのくらいですか？ (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週1～2日 3. 月1～2日 4. その他 ()
④ その場所に滞在している時 間帯は何時頃ですか？ (該当する番号全てに○)	1. 午前中 2. 12～14時 3. 14～16時 4. 16～18時 5. 18時以降

(6) 高齢者福祉施設(デイサービスなど)への通所

▼ 高齢者福祉施設へ通所している方は以下の質問にお答えください。

① 通所先は主にどこですか？ (1つに○、()に記入)	1. 市内（具体的な施設名：) 2. 市外（具体的な施設名：)
② 主な移動方法は何ですか？ (1つに○)	1. 徒歩・自転車 2. 自動車（自分で運転） 3. 家族等の送迎 4. 鉄道 5. バス、デマンド交通 6. その他 ()
③ 頻度はどのくらいですか？ (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週1～2日 3. 月1～2日 4. その他 ()
④ そこに滞在している時間帯 は何時頃ですか？ (該当する番号全てに○)	1. 午前中 2. 12～14時 3. 14～16時 4. 16～18時 5. 18時以降

4. 日常生活を支える施設のあり方について、お尋ねします。

質問 9 市役所から田中駅周辺における施設のあり方等について、次の各設問にお答えください。

(1) 公共施設※、駅、高校、専門学校などが集まる市役所から田中駅周辺で維持・充実すべきだと思う施設を教えてください。(該当する番号を5つ選んで○を付けてください。)

1. 小学校などの学校教育施設
2. 保育園などの子育て支援施設
3. 公民館などの社会教育施設
4. 公園やスポーツ施設
5. 老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設
6. 日常的な診療を受けることができる診療所・医院
7. 生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット
8. コンビニエンスストア
9. 銀行や郵便局、農協などの金融機関
10. その他 ()

※公共施設とは、国・県・市などが設置する学校、図書館、保健所など、公共的なサービスを提供する施設のことです。

(2) 市役所や田中駅周辺への行きやすさについて教えてください。

(該当する番号1つに○を付けてください。)

1. 行きやすい	2. 行きづらい (理由:)
----------	-----------------

質問 10 あなたの居住地区で、以下の施設を利用できているか教えてください。また、今後も住み続けるにあたって必要な施設を教えてください。

	①地区内の施設利用状況 (1つに○)	②地区内における施設の必要性 (1つに○)
(1) 小学校などの学校教育施設	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(2) 保育園などの子育て支援施設	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(3) 公民館などの社会教育施設	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(4) 公園やスポーツ施設	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(5) 老人福祉施設や憩いの場等、福祉・厚生施設	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(6) 日常的な診療を受けることができる診療所・医院	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(7) 生鮮食品や日用生活品が揃うスーパーマーケット	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(8) コンビニエンスストア	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(9) 銀行や郵便局、農協などの金融機関	1. 利用している 2. 利用していない	1. 必要 2. 必要ではない
(10) その他必要な施設 ()		

5. 安心・安全なまちづくりについて、お尋ねします。

質問 11 東御市では、洪水や土砂災害、地震等に係る災害危険箇所や、避難場所などをまとめた「東御市避難所・災害ハザードマップ」を作成し、公表しています。
あなたは避難所・災害ハザードマップを見たことがあるか教えてください。
(該当する番号 1 つに○を付けてください。)

1. 避難所・災害ハザードマップを見て、自宅付近の災害危険箇所を知っている
2. 避難所・災害ハザードマップを見ているが、自宅付近の災害危険箇所は知らない
3. 防災マップがどこで見られるか、わからない、知らない
4. その他 ()

質問 12 近年、頻発・激甚化する自然災害について、教えてください。

(1) 以下の中で、身近で危険な災害だと思っているものはどれですか。
(該当する番号 全 てに○を付けてください。)

1. がけ崩れ
2. 土石流
3. 河川の氾濫・洪水
4. 集中豪雨による浸水
5. 地震による建物の倒壊
6. その他 ()

(2) 災害が発生したときの避難場所と避難方法をどのように考えているか教えてください。

① 避難場所 (1つに○)	② 避難方法 (1つに○)
1. 指定避難所・避難場所	1. 徒歩
2. 市内の親戚や知人の家	2. 自転車・オートバイ
3. 市外の親戚や知人の家	3. 自家用車
4. その他 ()	4. その他 ()

(3) 防災・減災に必要な対策だと思うものを教えてください。
(該当する番号 全 てに○を付けてください。)

1. 災害時の避難場所、避難所などの防災拠点の整備・機能強化
2. 災害時の避難路やライフライン（水道、電気、ガスなど）の整備・機能強化
3. マイ・タイムライン（時系列で整理した自分自身の防災行動計画）作成や支援
4. コミュニティFMや緊急メールなどの情報伝達手段を活用した、迅速かつ正確な情報発信
5. 災害危険性の高いエリアにおける住宅などの新規開発の抑制
6. 災害危険性の高いエリアから安全なエリアへの住宅などの移転促進
7. 自力で避難することが困難な人が速やかに避難できる、支え合いの仕組みづくり
8. 各地区防災計画の策定や住民参加型訓練などの実施による自主防災組織の防災力強化
9. その他 ()

